

(様式第10)

阪 医 病 総 第 4 号
令 和 3 年 1 0 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人大阪大学
学長 西尾 章治郎 (印)

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和2年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
氏 名	国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

大阪大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号	電話(06) 6879-5111
--------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等	
① 呼吸器内科 ② 消化器内科 ③ 循環器内科 ④ 腎臓内科	
⑤ 神経内科 6 血液内科 7 内分泌内科 8 代謝内科	
9 感染症内科 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科 11 リウマチ科	
診療実績	
「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容はアレルギー疾患リウマチ科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科、「感染症内科」の診療内容は内科で提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
外科と組み合わせた診療科名	
① 呼吸器外科 ② 消化器外科 3 乳腺外科 4 心臓外科 5 血管外科 ⑥ 心臓血管外科 7 内分泌外科 ⑧ 小児外科	
診療実績 「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

① 精神科	② 小児科	③ 整形外科	④ 脳神経外科	⑤ 皮膚科	
⑥ 泌尿器科	7 産婦人科	⑧ 産科	⑨ 婦人科	⑩ 眼科	⑪ 耳鼻咽喉科
⑫ 放射線科	13 放射線診断科	14 放射線治療科	⑮ 麻酔科	⑯ 救急科	

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科 2 矯正歯科 3 口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 糖尿病・内分泌・代謝内科	2 アレルギー疾患リウマチ科	3 血液・腫瘍内科	4 老年内科	5 漢方内科
6 乳腺・内分泌外科	7 病理診断科	8 形成外科	9 リハビリテーション科	10 神経・精神科
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
52 床	床	床	床	1,034 床	1,086 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	495 人	477.97 人	972.9 人	看護補助者	105 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	2 人	0.00 人	2.0 人	理学療法士	21 人	臨床検査技師	93 人
薬剤師	86 人	0.00 人	86.0 人	作業療法士	5 人	検査衛生検査技師	2 人
保健師	0 人	0.00 人	0.0 人	視能訓練士	18 人	その他	0 人
助産師	49 人	0.00 人	49.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	1,062 人	13.8 人	1075.8 人	臨床工学士	35 人	医療社会事業従事者	17 人
准看護師	0 人	1.00 人	1.0 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	32 人
歯科衛生士	3 人	0.00 人	3.0 人	歯科技工士	0 人	事 務 職 員	372 人
管理栄養士	13 人	0.00 人	13.0 人	診療放射線技師	69 人	その他の職員	61 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	93 人	眼 科 専 門 医	31 人
外 科 専 門 医	114 人	耳鼻咽喉科専門医	19 人
精 神 科 専 門 医	13 人	放射線科専門医	73 人
小 児 科 専 門 医	40 人	脳神経外科専門医	23 人
皮 膚 科 専 門 医	16 人	整形外科専門医	31 人
泌尿器科専門医	19 人	麻 酔 科 専 門 医	23 人
産 婦 人 科 専 門 医	22 人	救 急 科 専 門 医	20 人
		合 計	537 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (土岐 祐一郎) 任命年月日 令和2年4月1日

平成20年～令和元年：医療クオリティ審議委員会委員

--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	764.6人	0.0人	764.6人
1日当たり平均外来患者数	2,253.0人	19.3人	2,272.4人
1日当たり平均調剤数	1,442.0剤		
必要医師数	209.0人		
必要歯科医師数	1.0人		
必要薬剤師数	26.0人		
必要(准)看護師数	460.0人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	595.32 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	29床	心電計	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
			人工呼吸装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	心細動除去装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
			その他の救急蘇生装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペースメーカー	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積	307.23 m ²	病床数	28床		
	[移動式の場合] 台数	台	病床数	床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床面積	55.00 m ²				
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	643.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、遠心分離機、自動分析装置		
細菌検査室	135.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット		
病理検査室	305.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー		
病理解剖室	65.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、保管庫、冷蔵庫		
研究室	12,140.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等OA機器、実験台、保管庫		
講義室	1,187.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数	7室	収容定員	953人
図書室	3,737.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数	-室	蔵書数	350,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.34%	逆紹介率	79.42%
算出根拠	A：紹介患者の数	17,059人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,854人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	773人	
	D：初診の患者の数	18,703人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
橋本 重厚	福島県立医科大学会津 医療センター 教授 同大学附属病院 医療安全管理部長		医療安全管理の専門家として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所 所長		医療に精通している法律の専門家として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML理事長		患者目線で医療について助言できる者として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
奈良 哲	大阪大学理事		本学におけるリスク管理担当理事として選定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
公表の方法	本学のHPに掲載

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
※実績なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷教会によるAISがAである患者に係るものに限る。)を呈するものに限る。)	1人
術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	1人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)	0人
周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺癌(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	0人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0人
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん(ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎・尿管摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 すでに腹腔鏡手が標準術式となっているが、転移の無い症例に対してロボット支援下で施行し、実用性、安全性、有効性を評価することを目的とする。			
医療技術名	ロボット支援下腹腔鏡下副腎摘除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 すでに腹腔鏡手が標準術式となっているが、転移の無い症例に対してロボット支援下で施行し、実用性、安全性、有効性を評価することを目的とする。			
医療技術名	腹腔鏡下卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)根治術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 初期卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)や、術前化学療法後に病変がない症例などを対象に、卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)根治術を腹腔鏡下で行い、その実用性、安全性、有効性、予後を評価することを目的とする。			
医療技術名	卵巣機能不全患者に対するDHEAを用いた卵巣機能改善	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 早発卵巣機能不全(早発閉経)や、卵巣刺激におけるPoor responderなどの卵巣機能不全患者に対し、DHEA(Dehydroepiandrosterone)の内服治療を行うことで、卵巣機能改善を図る。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する単孔式腹腔鏡手術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない炎症性腸疾患患者に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤内臓全摘術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない他臓器浸潤直腸癌、局所再発直腸癌に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	食道癌術後難治性逆流性食道炎に対する内視鏡的逆流防止弁形成術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 食道癌根治術後の逆流性食道炎は誤嚥性肺炎・二次発がんのリスクの上昇や睡眠障害など術後の予後悪化やQOL低下などをもたらす。それに対して消化管内視鏡下の縫合デバイスを用いた胃管逆流防止弁形成により難治性の逆流性食道炎の治療を行っている。			
医療技術名	心臓手術後の鬱血肝に対する腹腔鏡下肝切除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 Fontan手術などの心臓手術後の鬱血肝においてはしばしば肝細胞癌の発症が認められる。特殊循環症例に対する低侵襲手術として腹腔鏡下肝切除術を実施している。			
医療技術名	脳死・生体成人肝移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝移植は末期肝硬変または急性肝不全昏睡型に対して行われる高度医療である。			
医療技術名	脳死膵腎同時移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 慢性腎不全(透析状態)を合併したI型糖尿病患者に対して、膵腎同時移植を実施している。			
医療技術名	腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 低悪性度膵頭部腫瘍に対する低侵襲手術として、腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術を実施している。			
医療技術名	脳死下心臓移植	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			

特発性拡張型心筋症を代表する重症心不全患者に対して、脳死下心臓移植術を施行した。特発性拡張型心筋症や肥大型心筋症などの心筋症は指定難病とされており、脳死下心臓移植は高度の医療提供に該当する。

医療技術名	先天性心疾患心臓手術	取扱患者数	119人
当該医療技術の概要			
指定難病として登録されているファロー四徴症や単心室症など数多くの先天性心疾患に対する外科的治療を行なった。			
医療技術名	重症心不全患者に対する補助人工心臓装着術	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要			
重症心不全患者に対する左室補助人工心臓装着手術を施行した。特発性心筋症や二次性心筋症(サルコイドーシスなど)などの指定難病を対象疾患としており、高度の医療提供に該当する。			
医療技術名	1型糖尿病に対する Sensor-Augmented Pump (SAP) を用いた糖尿病治療	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
1型糖尿病患者では自己インスリン分泌が絶対的に不足しており、頻回の自己血糖測定結果に基づき、インスリン注射量を決定している。インスリン注入量をあらかじめプログラムし必要なインスリンを持続投与し得るpump機能に加え、sensorによる持続血糖モニタリングが可能なSAPを用いることで、基礎及び追加インスリン量設定を精密に行え、血糖管理が良好となる。			
医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要			
頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR(interventional radiology)治療を行う。			
医療技術名	4D-CTAを用いた脳腫瘍の血管および血流評価	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
320列CTを用いて全脳で時間情報を含む3D-CTAを撮影し、脳腫瘍の血管および血流評価を行う。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	131
2	筋萎縮性側索硬化症	64	57	特発性拡張型心筋症	317
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	肥大型心筋症	59
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	7
5	進行性核上性麻痺	43	60	再生不良性貧血	62
6	パーキンソン病	580	61	自己免疫性溶血性貧血	7
7	大脳皮質基底核変性症	18	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	10
8	ハンテントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	101
9	神経有棘赤血球症	2	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウース病	5	65	原発性免疫不全症候群	36
11	重症筋無力症	245	66	IgA腎症	45
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	97
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	162	68	黄色靱帯骨化症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	24	69	後縦靱帯骨化症	94
15	封入体筋炎	5	70	広範脊柱管狭窄症	11
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	65
17	多系統萎縮症	33	72	下垂体性ADH分泌異常症	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	102	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライソゾーム病	66	74	下垂体性PRL分泌亢進症	18
20	副腎白質ジストロフィー	8	75	クッシング病	21
21	ミトコンドリア病	19	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	3
22	もやもや病	22	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	68
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	205
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	25	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	114
30	遠位型ミオパチー	3	85	特発性間質性肺炎	62
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	74
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	15
34	神経線維腫症	91	89	リンパ脈管筋腫症	36
35	天疱瘡	35	90	網膜色素変性症	94
36	表皮水疱症	43	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	58
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	16
40	高安動脈炎	67	95	自己免疫性肝炎	25
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	292
42	結節性多発動脈炎	19	97	潰瘍性大腸炎	319
43	顕微鏡的多発血管炎	56	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	28	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	17	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	103	CFC症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	488	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	155	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	199	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	76	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	73	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	17	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	12	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
113	筋ジストロフィー	39	163	特発性後天性全身性無汗症	19
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	8
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	5
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オキシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	11
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	2
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	2	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	17	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	1
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリクス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	2	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	3
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	3
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	4
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	2	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	45	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	2	209	完全大血管転位症	5
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	10

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	5	260	シトステロール血症	5
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	10	263	脳腫黄色腫症	3
216	両大血管右室起始症	4	264	無βリポタンパク血症	1
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	61	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	30
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	17	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	2
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	7
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	4	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	1
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	4	296	胆道閉鎖症	12
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	28
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトースー1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	45

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	2	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
316	カルニチン回路異常症	1	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	7
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	16
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	病棟薬剤業務実施加算2
歯科外来診療環境体制加算1	データ提出加算
特定機能病院入院基本料	入退院支援加算
救急医療管理加算	認知症ケア加算
超急性期脳卒中加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
診療録管理体制加算1	精神疾患診療体制加算
医師事務作業補助体制加算1	精神科急性期医師配置加算
急性期看護補助体制加算	救命救急入院料3
看護職員夜間配置加算	救命救急入院料4
療養環境加算	特定集中治療室管理料1
重症者等療養環境特別加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
無菌治療室管理加算1	総合周産期特定集中治療室管理料
無菌治療室管理加算2	新生児治療回復室入院医療管理料
緩和ケア診療加算	小児入院医療管理料2
精神科身体合併症管理加算	短期滞在手術等基本料1
精神科リエゾンチーム加算	
栄養サポートチーム加算	・
医療安全対策加算1	・
感染防止対策加算1	・
患者サポート体制充実加算	・
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
ハイリスク妊娠管理加算	・
ハイリスク分娩管理加算	・
呼吸ケアチーム加算	・
後発医薬品使用体制加算3	・
病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	遺伝学的検査
糖尿病合併症管理料	骨髄微小残存病変量測定
がん性疼痛緩和指導管理料	BRCA1/2遺伝子検査
がん患者指導管理料ハ	がんゲノムプロファイリング検査
外来緩和ケア管理料	先天性代謝異常症検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
糖尿病透析予防指導管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
小児運動器疾患指導管理料	検体検査管理加算(I)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	検体検査管理加算(IV)
婦人科特定疾患治療管理料	国際標準検査管理加算
腎代替療法指導管理料	遺伝カウンセリング加算
外来放射線照射診療料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ニコチン依存症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	胎児心エコー法
ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
がん治療連携計画策定料	ヘッドアップティルト試験
ハイリスク妊産婦連携指導料2	人工臓臓検査、人工臓臓療法
薬剤管理指導料	長期継続頭蓋内脳波検査
医療機器安全管理料1	長期脳波ビデオ同時記録検査1
医療機器安全管理料2	脳波検査判断料1
精神科退院時共同指導料1及び2	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	単線維筋電図
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	脳磁図(自発活動を測定するもの)
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	脳磁図(その他のもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
神経学的検査	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
黄斑局所網膜電図	がん患者リハビリテーション料
全視野精密網膜電図	集団コミュニケーション療法料
ロービジョン検査判断料	精神科作業療法
コンタクトレンズ検査料1	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
内服・点滴誘発試験	医療保護入院等診療料
経気管支凍結生検法	口腔粘膜処置
画像診断管理加算3	レーザー機器加算
遠隔画像診断	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
ポジトロン断層撮影	多血小板血漿処置
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	硬膜外自家血注入
CT撮影及びMRI撮影	人工腎臓
冠動脈CT撮影加算	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
血流予備量比コンピューター断層撮影	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
外傷全身CT加算	磁気による膀胱等刺激法
心臓MRI撮影加算	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
乳房MRI撮影加算	CAD/CAM冠
頭部MRI撮影加算	手術時歯根面レーザー応用加算
全身MRI撮影加算	センチネルリンパ節加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	皮膚移植術(死体)
外来化学療法加算1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
連携充実加算	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
無菌製剤処理料	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	椎間板内酵素注入療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	同種死体肺移植術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	生体部分肺移植術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
角膜移植術(内皮移植加算)	胸腔鏡下弁形成術
羊膜移植術	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	経カテーテル大動脈弁置換術
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	胸腔鏡下弁置換術
網膜再建術	経皮的僧帽弁クリップ術
人工中耳植込術	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	補助人工心臓
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	小児補助人工心臓
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	同種心移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
同種心肺移植術	生体腎移植術
骨格筋由来細胞シート心表面移植術	膀胱水圧拡張術
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	腹腔鏡下仙骨腫固定術
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
生体部分肝移植術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
同種死体肝移植術	胎児胸腔・羊水腔シャント術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	無心体双胎焼灼術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	胎児輸血術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
生体部分小腸移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
同種死体小腸移植術	輸血管管理料 I
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	コーディネート体制充実加算
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	麻酔管理料 (I)
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	麻酔管理料 (II)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	放射線治療専任加算
同種死体腎移植術	外来放射線治療加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・角膜ジストロフィーの遺伝子解析(R2.4.1 保険収載)	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術(R2.4.1 保険収載)	・
・前眼部三次元画像解析(H31.4.1 保険収載)	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術(H31.4.1 保険収載)	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定(H31.4.1 保険収載)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	24回/年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 26 例 / 剖検率 10.8 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助金等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
1	ネオセルフを標的としたCAR T細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
2	神経・免疫・代謝におけるガイドンス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学講座	37,700,000	補	独立行政法人日本学術振興会
3	脊髄損傷後の機能回復を促進する脳活動の解明と制御	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	6,370,000	補	独立行政法人日本学術振興会
4	頭蓋内脳波を用いた嚙下の脳機能解明とブレインマシンインターフェース	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	14,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
5	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の自然史の解明	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	16,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
6	ヒト眼の形態形成における組織間の協調メカニズムの解明	西田 幸二	眼科学講座	15,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
7	がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	21,190,000	補	独立行政法人日本学術振興会
8	重症心不全を根治する“3D Mini Heart” 創成	澤 芳樹	心臓血管外科学講座	17,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
9	睡眠障害を持つ乳幼児に対する前向き介入研究	谷池 雅子	小児発達神経学領域	5,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
10	筋強直性ジストロフィーの包括的治療法確立	中森 雅之	神経内科学講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
11	難治性腸管炎症における自然リンパ球を介した腸管粘膜免疫制御機構の解明	飯島 英樹	消化器内科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
12	慢性炎症疾患におけるアラミン・SASPを標的とした新規治療法の開発	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
13	生活習慣病とアルツハイマー病を同時に標的とする新規治療法の基盤構築	山本 浩一	老年・総合内科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
14	蛋白質構造多形から迫る疾患バイオマーカーの開発と新規治療薬の開発	望月 秀樹	神経内科学講座	4,030,000	補	独立行政法人日本学術振興会
15	難治性がんに対する放射線と免疫チェックポイント阻害剤併用による新規治療法の開発	小川 和彦	放射線治療学講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
16	内軟骨性骨化モデルを用いた骨形成不全症の病態解析と薬効評価	大藪 恵一	小児科学講座	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
17	肝臓における細胞死を起点とした細胞間コミュニケーションと病態形成	竹原 徹郎	消化器内科学講座	4,940,000	補	独立行政法人日本学術振興会
18	内因性心筋炎症惹起分子制御機構の探索と心不全治療創薬への応用	大津 欣也	重症心不全内科治療学寄附講座	6,110,000	補	独立行政法人日本学術振興会
19	皮膚筋炎特異的自己抗原に対する免疫応答が皮膚筋炎の病態を形成する分子機序の解明	藤本 学	皮膚科学講座	7,790,000	補	独立行政法人日本学術振興会
20	アディポネクチンのエクソソーム産生制御とFavineの血管・血栓制御機構の解明	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
21	生体内組織形成術による管状自己組織を足場とした気管再生技術の開発	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	3,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会
22	エクソーム解析によるゲノムプロファイリングに基づいた乳癌個別化治療の開発	金 昇晋	乳腺・内分泌外科学講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
23	地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急医療改善の新たな試み	嶋津 岳士	救急医学講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
24	細胞ホーミング特性に着目した心筋の自己組織化機構解明とバイオ人工心臓構築への応用	李 鍾國	心血管再生医学共同研究講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
25	慢性炎症を基盤としたリプログラミングの可視化と腫瘍の解析	森井 英一	病態病理学講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
26	がん間質細胞をターゲットにした核医学治療の開発:新たながん治療戦略に向けて	渡部 直史	核医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
27	末梢循環性間葉系細胞の発生的起源探索と表皮水疱症剥離表皮再生メカニズムの解明	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
28	腫瘍組織内免疫の正/負因子の細分画化とがん種を越えた絶対評価の試み	和田 尚	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	4,030,000	補	独立行政法人日本学術振興会
29	上部消化管癌患者の予後向上を目指したグレリンによる周期栄養療法の開発	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
30	癌周囲微小環境を構成する癌関連線維芽細胞を標的とした新たな肺癌治療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
31	侵襲時再生治療に関する新たな発展:新規炎症増幅メカニズムの制御	小倉 裕司	救急医学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
32	力学刺激によるPGE2/NGF/MMP産生機構に注目した変形性膝関節症の病態解明	中田 研	スポーツ医学講座	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
33	2D-3D骨形状再構成プログラムと骨・関節疾患治療クラウドシステムの開発	村瀬 剛	整形外科科学講座	5,850,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
34	子宮頸部病変自動診断システムの開発～低医療資源国における子宮頸がん予防に向けて～	上田 豊	産科学婦人科学講座	4,290,000	補	独立行政法人日本学術振興会
35	順遺伝学手法による、脱ユビキチン化酵素の卵巣癌進展・子宮内膜症癌化制御機構の解明	木村 正	産科学婦人科学講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
36	トリプトファン代謝に関連した老化制御の機構解明とトランスレーショナルリサーチ	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
37	前頭側頭型認知症における「RNA代謝リレー障害」仮説の実証	森 康治	精神医学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
38	個別化医療を目指したNASH由来肝癌ドライバー遺伝子の網羅的な同定	小玉 尚宏	消化器内科学講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
39	CAR T細胞の標的として同定した新規急性骨髄性白血病細胞特異的抗原の特性解析	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	6,370,000	補	独立行政法人日本学術振興会
40	わが国における心停止ドナーからの心臓移植実現のための総合的研究	戸田 宏一	心臓血管外科学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
41	プロテオミクス解析を用いたICU関連筋力低下(ICU-AW)の病態解明	藤野 裕士	麻酔・集中治療医学講座	6,890,000	補	独立行政法人日本学術振興会
42	がん組織を用いたマルチオミクス解析による個別化医療開発プラットフォームの構築	植村 元秀	泌尿器癌免疫治療学共同研究講座	9,490,000	補	独立行政法人日本学術振興会
43	細胞骨格を制御することで瘢痕ゼロを実現する	久保 盾貴	形成外科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
44	タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症に対する新規診断・治療法の開発	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	5,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
45	新規AUG非依存性RAN翻訳の分子機構とその神経変性病態における役割	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	53,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
46	イメージングバイオマーカーとしての実効横緩和率の有用性および標準化に関する検討	大西 裕満	放射線医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
47	心不全患者の急性腎傷害の早期発見-新指標を用いての検討-	井口 直也	麻酔・集中治療医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
48	乳癌手術切除断端に対する生組織標本を用いた癌細胞の術中迅速診断の開発	多根井 智紀	乳腺・内分泌外科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
49	Leaky Gut syndromeを標的とした多発性硬化症病態の解明と治療開発	木下 允	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
50	α 線放出核種At-211の定位的脳内注入による難治性てんかんの治療	加藤 弘樹	核医学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
51	肺癌の組織診断および悪性度予測のための人工知能(深層学習)システムの確立	梁川 雅弘	放射線医学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
52	心筋線維芽細胞に着目した小児特発性心筋症の病態解明	石井 良	小児科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
53	先天性GPI欠損症に対する活性化葉酸療法の確立	富永 康仁	高次脳機能損傷学領域	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
54	ナビゲーションシステムを用いた小児期発症てんかんに対する反復経頭蓋磁気刺激療法	下野 九理子	高次脳機能損傷学領域	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
55	片側発症一卵性双生児の網羅的ゲノム解析による胆道閉鎖症の遺伝的素因の解明	別所 一彦	小児科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
56	軟骨無形成症の患者集団と疾患特異的iPS細胞による肥満とインスリン抵抗性の検討	北岡 太一	小児科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
57	マイクロRNAを用いた複合癌免疫療法の開発	西田 尚弘	先進薬物療法開発学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
58	デスゾーム関連心筋症の分子病態解明と治療標的の同定	彦惣 俊吾	重症心不全内科治療学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
59	左心不全に伴う肺高血圧、右心不全の発症・進展機序解明に基づく新たな治療戦略の確立	世良 英子	循環器内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
60	3D画像/バイオマーカーを用いたMitraClipによる左室逆流モデリングの検討	溝手 勇	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
61	末梢血を用いたがん免疫療法の効果予測診断法の開発	岩堀 幸太	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
62	リソソームストレスとしての腎疾患の病態解明とそれに基づく治療薬の探索	高島 義嗣	腎臓内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
63	HLAクラスII/ミスフォールド蛋白複合体抗体による慢性皮膚潰瘍の病態解明	荒瀬 規子	皮膚科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
64	血小板インテグリン活性化ダイナミクスを制御する分子機構の網羅的解析	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
65	老化に伴う造血幹細胞のリンパ球産生機能低下を制御する方法の開発	横田 貴史	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
66	全身性エリテマトーデスに対するtype I IFNを標的とした新規治療法の開発	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
67	肥満に伴う脂肪炎症症でのマクロファージのリソソーム関連分子myoferlinの機能	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
68	膵α細胞機能的多様性の同定とその病態生理学的解析	河盛 段	内分泌・代謝内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
69	膵β細胞への分化転換効率化に向けた試み	松岡 孝昭	内分泌・代謝内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
70	脂肪組織酸化ストレスと健康的脂肪組織肥大のSrebp1転写共役因子に着目した解析	奥野 陽亮	代謝血管学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
71	次世代新規脊髄腫瘍治療法の開発—低侵襲脱着式子宮内治療デバイスの開発	渡邊 美穂	小児成育外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
72	乳癌センチネルリンパ節におけるmicroRNA発現解析を用いた転移予測法の開発	三宅 智博	乳腺・内分泌外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
73	ペプチド探索による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する新規バイオマーカーの確立	今村 亮一	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
74	食道癌に対する化学+免疫療法の新規併用療法の確立に向けたバイオマーカー探索研究	牧野 知紀	消化器外科学1講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
75	Lgr5スプライシングバリエーションに着目した大腸癌の新規治療開発のための基礎研究	高橋 秀和	消化器外科学2講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
76	難治性胆道癌における腫瘍進展メカニズムの解析に基づく集学的治療法の開発と評価	小林 省吾	消化器外科学1講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
77	内視鏡的細胞移植法による重症心不全予防の開発	森 大輔	先進幹細胞治療学共同研究講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
78	急性呼吸不全において肺傷害の最小にする新しい人工呼吸法の開発	内山 昭則	麻酔・集中治療医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
79	非侵襲脳活動計測を用いた一次運動野刺激の疼痛認知抑制機構の解明	細見 晃一	脳神経機能再生学共同研究講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
80	安静時functional MRIによる頸髄症の新規予後予測法の開発	武中 章太	整形外科科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
81	体軸性脊椎関節炎に対する新規治療法の開発及び本邦での疾患関連遺伝子検索	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
82	免疫チェックポイント阻害剤の奏効予測バイオマーカー探索に向けた複合的アプローチ	加藤 大悟	泌尿器科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
83	夜間多尿動物モデルの確立と塩分負荷による膀胱求心性神経亢進の機構解明	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
84	網羅的遺伝子解析による精子成熟停止の新規機序解明と新規治療法の探索	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
85	ラット腎移植モデルにおけるシリコンナノ粒子を用いた新規水素発生法の治療効果	阿部 豊文	泌尿器科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
86	患者由来のエクソソームを用いた卵巣がん新治療の可能性の検討	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
87	メチルコバラミンと生体吸収徐放性メッシュシートによる顔面神経再生の研究	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
88	慢性炎症性眼疾患における新規疾患バイオマーカーとしてのミトコンドリアDNA	橋田 徳康	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
89	網膜内リモデリング現象による緑内障再生治療法開発	松下 賢治	眼科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
90	生体適合性架橋剤を用いた水疱性角膜症治療法の開発	相馬 剛至	眼科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
91	2光子励起顕微鏡を用いた網膜および視神経疾患における眼球深部動態観察	臼井 審一	眼科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
92	自己集合性ペプチドを用いた硝子体再建術	坂口 裕和	眼科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
93	バーチャルリアリティー機能を搭載した関節鏡ナビゲーションシステムの開発と臨床応用	岡 久仁洋	整形外科科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
94	視覚障害原因疾患に対する人工視覚の電気刺激による視機能回復の検討	西田 健太郎	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
95	発達障害の3歳未満における早期診断が児と養育者に与える影響の調査	中西 真理子	(小児科・子ども)環境関連	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
96	次世代シーケンス技術を活用した子宮肉腫のゲノム病理学的研究	前田 大地	先端ゲノム医療学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
97	多次元的解析手法によるがん免疫エフェクター細胞の分子細胞学的解明と新規治療開発	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
98	メタゲノム解析を用いた牛車腎気丸の抗サルコペニア効果における腸内細菌叢の検討	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
99	前頭側頭葉変性症のprodromal期の臨床特徴に関する研究	池田 学	精神医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
100	グルコーストランスポーター1欠損症における新規診断法の確立と簡便な食事療法の開発	青天目 信	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
101	髄芽腫における髄膜播種の機能解析とリキッドバイオプシーの可能性についての検討	木嶋 教行	脳神経外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
102	大腸癌微小環境における細胞死機構の解明と治療開発	林 義人	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
103	拡張相肥大型心筋症の分子基盤に介入する治療法の開発	肥後 修一朗	重症心不全内科 治療学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
104	トランスオミクスが紐解くCOPDの新規バイオマーカーと病態解明	武田 吉人	呼吸器・免疫内 科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
105	移植時生検を用いたドナーの腎予後予測～超解像度顕微鏡を用いた病理学的因子の探索	難波 倫子	腎臓内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
106	人工知能を用いて腎疾患を理解する	松井 功	腎臓内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
107	血小板インテグリン活性化の分子機構および血管病変形成における意義の解明	柏木 浩和	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
108	多発性骨髄腫の予後予測バイオマーカーとしてのニッチ細胞解析の有用性	一井 倫子	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
109	鉄過剰状態における造血幹細胞内鉄代謝制御の解明-ア ナモルシンを中心に-	柴山 浩彦	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
110	PNH治療のための最適ターゲットの同定	植田 康敬	血液・腫瘍内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
111	アディポネクチンによる腎保護作用機序の解明と血中T-カ ドヘリン測定の臨床的意義	前田 法一	代謝血管学寄附 講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
112	血管・脂肪組織由来新規分泌因子Favineの機能解析	小林 祥子	内分泌・代謝内 科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
113	肥満脂肪組織における代謝異常と臓器連関;プリン代謝お よびコリン代謝異常に着目して	西澤 均	内分泌・代謝内 科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
114	2型糖尿病患者の発症前最高体重と膵β細胞特性につい ての組織学的検討	福井 健司	内分泌・代謝内 科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
115	新規肺転移モデルを用いた小児肉腫における癌幹細胞お よび転移の制御に関する研究	野村 元成	小児成育外科学 講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
116	分子バーコードを用いた血中循環腫瘍DNA検出による乳 癌新規バイオマーカーの開発	加々良 尚文	乳腺・内分泌外 科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
117	Rubiconを介した膵癌治療抵抗性のメカニズム解明と新規 治療法の開発	後藤 邦仁	消化器外科学2 講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
118	エクソソームを介した肝細胞癌肝内転移機序解明による再 発バイオマーカーの同定	野田 剛広	消化器外科学2 講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
119	肺癌におけるケモカインを介したがん間質(CAF)との相互作用メカニズムの解明	秋田 裕史	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
120	術後化学療法を支援する人工知能システムの開発	佐藤 太郎	先進癌薬物療法開発学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
121	心機能回復のための心筋細胞における細胞極性因子aPKCの役割の解明	河村 拓史	心臓血管外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
122	大動脈解離に対する流体力学評価および病態バイオマーカーによる新規治療戦略の確立	金 啓和	心臓血管外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
123	AI技術を用いた大動脈解離に対する血管内治療後の予後予測アルゴリズムの開発	島村 和男	心臓血管外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
124	ネクロプトーシスを標的とした肺移植後虚血再灌流肺傷害に対する新規治療法の開発	狩野 孝	呼吸器外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
125	悪性神経腫瘍療法時の免疫応答とheterogeneityの関係	香川 尚己	脳神経外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
126	経頭蓋直流電気刺激を用いた急性期脳梗塞治療の有効性と作用機序に関する検討	中村 元	脳神経外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
127	Radiogenomicsによる膠芽腫の臨床経過予測モデルの構築	木下 学	脳神経外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
128	脊髄損傷急性期における細胞内ATPのリアルタイムモニタリング	大西 諭一郎	脳神経外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
129	前立腺癌における免疫細胞-サイトカインネットワークの解明及び治療法の開発	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
130	癌組織内制御性T細胞を標的とした尿路上皮癌に対する新規免疫療法の開発	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
131	マルチオミクス解析による腎がん新規治療標的の探索と治療選択アルゴリズム開発	氏家 剛	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
132	レクチンを用いた子宮内膜症発症を制御する糖鎖構造の解明	橋本 香映	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
133	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の新しい免疫学的治療バイオマーカーの開発	武本 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
134	セマフォリン4Aに着目した好酸球性副鼻腔炎に伴う嗅覚障害の病態解明	端山 昌樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
135	頭頸部扁平上皮癌特異的NOTCH/バズウェイの探求とその特性の解明	福角 隆仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
136	緑内障早期発見を目指した予測モデルに基づく光干渉断層計の新たな診断指標の確立	三木 篤也	眼科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
137	難治性網膜視神経疾患に対する慢性埋込み型電極を用いた神経保護効果の検討	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
138	埋め込み型知覚皮弁と脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた再建乳房知覚化の試み	富田 興一	形成外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
139	循環器検診における眼底細動脈硬化所見自動判定システム開発と予測能評価	川崎 良	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
140	non-AUG翻訳と細胞ストレス応答のパラダイムコンバージョン	森 康治	精神医学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
141	単一細胞解析技術と革新的マウスモデルを用いた肺癌転移機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
142	トリプレットリピート病のリピート短縮による根源的治療法の開発	中森 雅之	神経内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
143	シングルセルRNA-sequenceを用いた腎疾患発症・進展メカニズムの解明	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
144	細胞外小胞のRNAメチル化計測によるがんバイオマーカーの最高性能化と実用化	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
145	脂肪組織由来幹細胞積層シートを用いた慢性閉塞性肺疾患に対する新たな再生医療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
146	癌におけるRNA修飾異常の解明とエピトランスクリプトーム治療の開発	三宅 浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
147	高齢者閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規治療法とバイオマーカーの有用性の検討	本行 一博	老年・総合内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
148	LETの違いによる重粒子線のがん転移に対する影響	林 和彦	放射線治療学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
149	iPS細胞と3次元共培養によるHPGDS経路のシナプス刈込と自閉症への関与の解析	橘 雅弥	小児発達神経学領域	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
150	骨形成不全症に対する骨カップリングを標的とした新規治療薬の開発	大幡 泰久	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
151	慢性腎臓病患者における石灰化ストレスマーカーの確立	坂口 悠介	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
152	関節リウマチ患者における腸内細菌叢の解析	前田 悠一	呼吸器・免疫内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
153	GPIアンカー特異的切断酵素; GPI-PLDの生理病態学的意義の解明	藤島 裕也	内分泌・代謝内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
154	思春期特発性側弯症患者の3D骨形態解析による椎体内骨密度左右差の可逆性の検討	牧野 孝洋	整形外科科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
155	3次元的血管構造に基づいた新規病理診断法の開発	野島 聡	病態病理学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
156	造血幹細胞移植後の骨髄再構築過程と生着不全における責任細胞の分子病理学的解明	倉重 真沙子	病態病理学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
157	認知症疾患から探る見当識の神経基盤	鈴木 由希子	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
158	乳幼児期発症のてんかんにおける社会性発達の病態解明	岩谷 祥子	(小児科・子ども)環境関連	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
159	患者心筋線維芽細胞を用いた拘束型心筋症の病態解明と新たな治療ターゲットの同定	石田 秀和	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
160	汎用性の高いレセプトデータ・DPCデータを循環器疾患領域で活用するための研究	岡田 佳築	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
161	SLEの増悪に寄与する患者由来膜小胞の性状解析を基盤としたSLEの病態解明	加藤 保宏	呼吸器・免疫内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
162	ランレオチド治療効果予測による先端巨大症の個別化医療の確立	向井 康祐	内分泌・代謝内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
163	免疫チェックポイント阻害薬投与患者における1型糖尿病の発症予測の確立	藤田 有可里	内分泌・代謝内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
164	Total kill therapyを目指した癌の多様性維持機構の解明と制御	藤野 志季	消化器外科学1講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
165	膵がん術前治療における耐性獲得と機序の解明	岩上 佳史	消化器外科学2講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
166	GABAA受容体 $\alpha 5$ サブユニット選択的阻害薬が術後の認知機能と疼痛に及ぼす影響	井浦 晃	麻酔・集中治療医学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
167	天然抽出物を用いたハイスループットスクリーニングによる軟部肉腫の新規治療薬開発	王谷 英達	整形外科科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
168	慢性子宮内膜炎モデルの確立とテロサイトの病態への関与の解析	三宅 達也	産科学婦人科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
169	アネキシンA4アンチセンスオリゴによるプラチナ耐性卵巣癌の新規治療法の開発	中川 慧	産科学婦人科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
170	心筋虚血再灌流障害における自然免疫応答のメカニズムの解明と治療法の検討	種池 里佳	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
171	国際共同研究によるメカノバイオロジーを応用した細胞外小胞診断のための基盤構築	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
172	片側難聴児への補聴介入が社会的適応及び心理面に及ぼす影響	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
173	線条体の機能改善によるパーキンソン病治療法の開発	別宮 豪一	神経内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
174	センチネルリンパ節リアルタイムモニタリングによる新しい乳癌腋窩リンパ節治療の開発	島津 研三	乳腺・内分泌外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
175	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群の脳発達への影響の解明	毛利 育子	小児発達神経学領域	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
176	視神経脊髄炎におけるタイプ1インターフェロングネーチャーの解明	奥野 龍禎	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
177	サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関するIL-15の役割の解明	杉本 研	老年・総合内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
178	レボドパ誘発性ジスキネジアでのグリア介在性の神経可塑性の異常	馬場 孝輔	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
179	クロザピン抵抗性統合失調症のバイオマーカーの開発	藤本 美智子	精神医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
180	血液リキッドバイオプシーによる子宮頸癌放射線治療後の遺残・再発のモニタリング	磯橋 文明	放射線治療学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
181	骨石灰化におけるピロリン酸濃度とその調節機構の解明—網羅的代謝物遺伝子発現解析—	窪田 拓生	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
182	慢性肝疾患の進展における細胞内輸送の解析	阪森 亮太郎	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
183	肝細胞癌における間質細胞オートファジーを介した癌微小環境の制御機構の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
184	TNF- α 上昇が慢性膵炎病態形成に与える影響の解明	重川 稔	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
185	重症心不全症例における右室機能を三次元経胸壁心エコー図法で求めた新指標で評価する	竹田 泰治	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
186	クロマチン構造解析による新規サルコペニア治療薬の基盤創生	井上 和則	腎臓内科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
187	白斑におけるメラノサイト超選択的レジデントT細胞の特徴と相互維持機能の解明	種村 篤	皮膚科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
188	脂肪細胞由来代謝物による恒常性維持機構の解明	福原 淳範	肥満脂肪病態学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
189	Curebest 95GCのマイクロアレイ法からRNA-Seq法への移行研究	直居 靖人	乳腺・内分泌外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
190	血管擬態の阻害によるHER2陽性乳癌の新規治療法の開発	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
191	分子バーコードNGSによるリキッドバイオプシー: 胃癌免疫化学療法の病勢・効果予測	黒川 幸典	消化器外科学1講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
192	細胞特性を利用した大腸癌幹細胞分離による癌幹細胞理解と大腸癌幹細胞の治療標的化	植村 守	消化器外科学1講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
193	脂肪幹細胞・iPS細胞を用いた難治性呼吸器疾患に対する新規肺再生治療法の開発	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
194	脳深部刺激術におけるclosed-loop systemの応用と脳機能解析	谷 直樹	脳神経外科学講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
195	部分再開通における脳梗塞進展の機序解明と治療法の開発	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
196	損傷・修復半月板の3次元学的総合的解析および新たな縫合法の探索	前 達雄	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
197	ヒト滑膜由来幹細胞による軟骨再生治療におけるbFGFの治療促進効果についての検討	平尾 真	整形外科科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
198	ウルトラファインバブルによる新規難治性骨折・廃用性骨粗鬆症の予防・治療法の開発	蛭名 耕介	運動器再生医学共同研究講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
199	内軟骨性骨化過程の解明に向けた生体内イメージング手法の確立	海渡 貴司	整形外科科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
200	自己免疫疾患に続発する大腿骨頭壊死症の病態解明	安藤 渉	運動器医工学治療学寄附講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
201	生体と類似構造を有する三次元骨軟骨組織を用いた新規変形性関節症治療法の開発	下村 和範	整形外科科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
202	運動が夜間多尿に与える影響とその病態に基づいた治療法の開発	木内 寛	泌尿器科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
203	トランスポズスクリーニング手法を用いた子宮平滑筋肉腫の薬剤耐性の解明	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
204	補体活性化の妊娠高血圧症候群の病態への関与-補体系と血管新生系のクロストーク-	富松 拓治	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
205	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
206	偏中心回転刺激時のマウスの眼球運動解析	今井 貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
207	リキッドバイオプシーに基づく口腔癌の予防的頸部郭清	鈴木 基之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
208	SEMA7Aを介した好酸球・上皮クロストークによる好酸球性副鼻腔炎制御	前田 陽平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
209	リバーstransレーショナルリサーチによるぶどう膜炎新規診断法の探索	丸山 和一	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
210	深層学習を用いた甲状腺眼症の顔写真診断支援システムの作成	北口 善之	眼科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
211	中心静脈栄養における代謝異常・肝機能障害とエピソード因子の関連	田附 裕子	小児成育外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
212	MELF patternの網羅的遺伝子解析による類内膜癌の浸潤メカニズムの研究	田原 紳一郎	病態病理学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
213	がん組織の生体イメージングを用いた浸潤メカニズムおよび責任因子の解明	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
214	D-グルタミン酸代謝酵素D-グルタミン酸シクラゼのがん代謝における機能の解明	大島 健司	病態病理学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
215	安静時脳波を用いたレビー小体型認知症の診断・予後予測に関する有用性の実証研究	畑 真弘	精神医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
216	独居という生活環境が軽度認知障害患者の脳機能に及ぼす経時的影響について	末廣 聖	精神医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
217	間質性肺炎および肺気腫におけるO15-PETを用いた肺血流量測定	松永 恵子	医薬分子イメージング学共同研究講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
218	患者検体を用いて血中エクソソームPD-L1の放射線治療抵抗性への関わりを検討する	玉利 慶介	放射線治療学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
219	深層学習ネットワークを用いた、高リスク前立腺癌に対する個別化定位放射線治療の開発	平田 岳郎	放射線治療学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
220	C型慢性肝疾患における肝発がんおよび肝線維化に関する新規バイオマーカーの探索	田畑 優貴	消化器内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
221	食事由来酸化ステロール蓄積による糖尿病性心筋症進展メカニズムの解明	岡田 健志	循環器内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
222	免疫チェックポイント阻害薬投与後の1型糖尿病発症に関連する遺伝子の網羅的探索	藤田 真吾	内分泌・代謝内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
223	組織脱細胞化と自己由来膀胱細胞の分化誘導による機能的再生膀胱組織の開発	出口 幸一	小児成育外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
224	吸水性スポンジを用いたctDNAモニタリングによるGISTの治療耐性診断法の開発	山下 公太郎	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
225	炎症性腸疾患における自然リンパ球を介した自己免疫寛容とその破綻機構の解明	荻野 崇之	消化器外科学2講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
226	隣癌集学的治療の個別化を目指した門脈血中腫瘍由来エクソソーム内包遺伝子の解析	山田 大作	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
227	間質性肺炎の線維芽細胞におけるArl4cの機能解析	木村 賢二	呼吸器外科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
228	リコンビナントトロンボモジュリンが樹状細胞を介して敗血症に与える影響の解析	堀口 佑	麻酔・集中治療医学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
229	脳神経蘇生における脳循環の理解と機械学習を利用した治療戦略の開発	館野 丈太郎	救急医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
230	CRISPRスクリーニングによる放射線増感ターゲットの探索と前立腺癌への治療応用	波多野 浩士	泌尿器科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
231	網膜内層シナプスリモデリングの解明と緑内障治療への応用	河嶋 瑠美	眼科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
232	hiPS細胞シングルセル蛍光イメージングによる眼発生初期のRAX遺伝子の機能解明	小林 礼子	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
233	アディポネクチンと新たな生理活性内因子エクソソームに関する研究	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	10,400,000	補	独立行政法人日本学術振興会
234	先天性GPI欠損症の疾患登録システムの構築と血清バイオマーカー探索	谷河 純平	小児科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
235	p53活性化による肝発癌促進機序の検討	牧野 祐紀	消化器内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
236	ヒト胃癌リンパ節における免疫抑制機構の解明	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
237	症候・診断・予後データ解析による新たな傷病診断スコアの開発	片山 祐介	救急医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
238	原因不明脳梗塞の包括的病態解明および診断アルゴリズムの確立	藤堂 謙一	神経内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
239	サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関するIL-15の役割の解明	藤本 拓	老年・総合内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
240	サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関するIL-15の役割の解明	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
241	新規AUG非依存性RAN翻訳の分子機構とその神経変性病態における役割	森 康治	精神医学講座	11,050,000	補	独立行政法人日本学術振興会
242	後期学齢期にある人工内耳装用児の心理・社会的発達に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
243	新規核酸医薬を用いたアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	上田 豊	産科学婦人科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
244	腎芽腫における術前画像リスク因子と血清遊離核酸による診断を用いた新規治療法の開発	奥山 宏臣	小児育成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
245	創傷治癒過程における皮膚創部の酸化ストレス耐性獲得機構の解明	久保 盾貴	形成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
246	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
247	人工関節患者の筋骨格動態四次元認識システムの開発	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
248	脊髄損傷の早期修復を目指したアポトーシス細胞模倣型抗炎症ポリマーの開発	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
249	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	6,934,200	補	独立行政法人日本学術振興会
250	サルコペニア合併高齢者糖尿病に対する運動強度別介入が骨格筋指標に与える影響の解明	杉本 研	老年・総合内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
251	認知症介護者における介護ストレスと介護に対する意味付け	池田 学	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
252	認知症介護者における介護ストレスと介護に対する意味付け	橋本 衛	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
253	競技者のコンディショニング評価のための実践的低侵襲評価方法の開発	中田 研	スポーツ医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
254	高リスク前立腺癌におけるフコシル化タンパクの解析及び革新的治療法の開発	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
255	剖検心の網羅的遺伝子解析による心不全の新規バイオマーカー探索	前田 大地	先端ゲノム医療学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
256	画像・音声認識と料理データベースによる食事記録システム開発、及び疫学研究での応用	川崎 良	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
257	前立腺癌患者の高次脳機能に対する視線検出技術を用いた包括的機能評価	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
258	交通事故後高次脳機能障害: Advanced MRIによる認定サポートシステムの構築	森 悦朗	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
259	出産の危機状況を医療、女性の身体、子供の命の視点から解明するエスノグラフィ研究	木村 正	産科学婦人科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
260	放射性標識抗体を用いた高分解能PETによる膵がん超早期画像診断法の開発	下瀬川 恵久	医薬分子イメージング学寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
261	放射性標識抗体を用いた高分解能PETによる膵がん超早期画像診断法の開発	渡部 直史	核医学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
262	皮質脳波の長期超高密度多点計測による運動情報の解読とBMIへの応用	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
263	ヘッドマウントディスプレイを用いた視知覚矯正・補助フレームワークの構築	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
264	キネマティクスによる変形性関節症発生機序の解明と治療デバイス開発	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
265	パーキンソン病の包括的ゲノム解析による遺伝背景解明と応用	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
266	多領域検体・多層オミックス解析で多様性を凌駕する真の肝内胆管がん治療標的の同定	江口 英利	消化器外科学1講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
267	定量キラルメタボロミクスを実現する三次元LC分析基盤開発と腎・心不全の早期診断	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
268	変形性膝関節症患者における大腿四頭筋の筋量分布と筋内脂肪	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
269	敗血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	小倉 裕司	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
270	ミャンマーのカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌を分子疫学・地政学的視点で解明する	朝野 和典	感染制御学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
271	中性脂肪蓄積心血管症に対する特異的栄養療法の動脈硬化抑制効果に関する検討	平野 賢一	循環器内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
272	腎臓リハビリテーションにおける運動継続サポートシステムの開発と有効性評価	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
273	生命科学連携推進協議会	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	234,000	補	独立行政法人日本学術振興会
274	認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの多職種共同開発	池田 学	精神医学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
275	治療・診断統合による次世代ドラッグデリバリー可視化システムの実証	加藤 弘樹	核医学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
276	医用材料の生体内劣化に対する臨床的対策の構築	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	100,000	補	独立行政法人日本学術振興会
277	低侵襲ロボット支援解剖と人工知能(AI)を活用した医療関連死解析法構築	木戸 尚治	人工知能画像診断学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
278	成長期における頭蓋顔面骨に及ぼすレチノイン酸の役割の解析	富田 興一	形成外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
279	ライフスタイルと脳の働き -超高齢社会を生き抜くための心理科学-	橋本 衛	精神医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
280	シヌクレイノバチーにおける病態伝播マスター遺伝子の網羅的探索	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
281	肝胆膵領域癌における転移・浸潤・治療抵抗性に関する分子機構の解明	山田 大作	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
282	Warburg制御因子MPC1による早期脳転移機序の解明と応用	佐藤 太郎	先進癌薬物療法開発学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
283	Warburg制御因子MPC1による早期脳転移機序の解明と応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
284	線維芽細胞を標的とする肺線維症・間質性肺炎および肺癌の新たな治療戦略の探索	舟木 壮一郎	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
285	線維芽細胞を標的とする肺線維症・間質性肺炎および肺癌の新たな治療戦略の探索	新谷 康	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
286	抗EGFR抗体獲得耐性大腸癌におけるMUC1-Cを標的とした適応型治療の開発	植村 守	消化器外科学1講座	702,000	補	独立行政法人日本学術振興会
287	油脂の嗜好性が肥満を誘導する機構と肥満を抑制する機構	佐々木 勉	神経内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
288	遺伝子転写因子CRTCl欠損による雌性マウスの肥満誘導機構の解明	佐々木 勉	神経内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
289	学校における児童生徒の突然死の実態解明と発生予防に向けた疫学研究	中田 研	スポーツ医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
290	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	王谷 英達	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
291	外傷特異的なメモリー制御性T細胞免疫応答の解明と臨床応用への基盤研究	嶋津 岳士	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
292	外傷特異的なメモリー制御性T細胞免疫応答の解明と臨床応用への基盤研究	小倉 裕司	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
293	糖尿病網膜症の発症予防のためのワクチン治療の開発と新規糖尿病網膜症モデルの確立	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
294	体内動態を制御したAt-211標識アミノ酸による汎用的 α 線治療法の創出	渡部 直史	核医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
295	新興・再興感染症のリスク評価と危機管理機能の実装のための研究	森下 竜一	臨床遺伝子治療学寄附講座	10,000,000	補	厚生労働省
296	強直性脊椎炎に代表される脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	5,005,000	補	厚生労働省
297	医療安全に資する病院情報システムの機能を普及させるための施策に関する研究	松村 泰志	医療情報学	2,863,000	補	厚生労働省
298	特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	8,060,000	補	厚生労働省
299	中性脂肪蓄積心筋血管症の診療体制の構築	平野 賢一	循環器内科学	3,000,000	補	厚生労働省
300	認知症の家族のための「パーソナルBPSDケア電子ノート」と「疾患別認知行動療法プログラム」の開発と効果検証のための研究	池田 学	精神医学	15,000,000	補	厚生労働省
301	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	藤本 学	皮膚科学講座	8,999,000	補	厚生労働省
302	5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究－ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて－	嶋津 岳士	救急医学	9,564,000	補	厚生労働省
303	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	西田 幸二	眼科学	24,000,000	補	厚生労働省
304	新たなソーシャルキャピタルを醸成しつつ母子の健康向上に寄与する情報発信手法の開発	上田 豊	産科学婦人科学	9,360,000	補	厚生労働省
305	生まれ年度によるHPVワクチン接種環境の違いに着目した子宮頸がん罹患リスクの評価・子宮頸がん検診受診勧奨手法の開発とHPVワクチンの有効性評価	上田 豊	産科学婦人科学	9,997,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
306	感染症流行下における電話やオンラインによる非接触の妊産婦健診の安全性と質向上のための研究	木村 正	産科学婦人科学	10,400,000	補	厚生労働省
307	コロナ感染症蔓延下における精神科医を含む認知症初期集中支援チームの活動評価と有用性の研究	池田 学	精神医学	5,999,000	補	厚生労働省
308	新興・再興感染症のリスク評価と危機管理機能の実装のための研究	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	3,000,000	補	厚生労働省
309	特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	安藤 渉	運動器医工学治療学寄附講座	100,000	補	厚生労働省
310	職域がん検診における精度管理指標の測定・基準値設定と新指標測定法の開発・実用化に関する研究	松村 泰志	医療情報学	500,000	補	厚生労働省
311	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	大月 道夫	内分泌・代謝内科学	400,000	補	厚生労働省
312	多施設 SS-MIX2 標準化データベースからの臨床的表現型クラスティングとその臨床エビデンス創出手法の開発研究	松村 泰志	医療情報学	800,000	補	厚生労働省
313	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	望月 秀樹	神経内科学	1,600,000	補	厚生労働省
314	アルツハイマー病患者に対する生活行為工程分析に基づいたリハビリテーション介入の標準化に関する研究	池田 学	精神医学	500,000	補	厚生労働省
315	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	200,000	補	厚生労働省
316	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	植田 郁子	皮膚科学講座	200,000	補	厚生労働省
317	HIV陽性者に対する精神・心理的支援方策および連携体制構築に資する研究	池田 学	精神医学	1,600,000	補	厚生労働省
318	難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	奥山 宏臣	小児外科学	700,000	補	厚生労働省
319	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	松田 陽一	麻酔・集中治療医	200,000	補	厚生労働省
320	神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	金田 眞理	皮膚科学	1,000,000	補	厚生労働省
321	自己免疫疾患に関する調査研究	藤本 学	皮膚科学講座	1,000,000	補	厚生労働省
322	指定難病と小児慢性特定疾病に関連した先天性骨系統疾患の適切な診断の実施と医療水準およびQOLの向上をめざした研究	窪田 拓生	小児科学	650,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
323	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	500,000	補	厚生労働省
324	成人眼科検診による眼科疾患の重症化予防効果及び医療経済学的評価のための研究	川崎 良	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	500,000	補	厚生労働省
325	神経変性疾患領域の基盤的調査研究	望月 秀樹	神経内科学	700,000	補	厚生労働省
326	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	大家 義則	眼科学	500,000	補	厚生労働省
327	認知症の人やその家族の視点を重視した認知症高齢者にやさしい薬物療法のための研究	樂木 宏実	老年・総合内科学	700,000	補	厚生労働省
328	てんかんの地域診療連携体制の推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究	貴島 晴彦	脳神経外科学	250,000	補	厚生労働省
329	呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究	奥山 宏臣	小児外科学	300,000	補	厚生労働省
330	認知症に関する血液・髄液バイオマーカーの適正使用のための研究	森 康治	精神医学	300,000	補	厚生労働省
331	新たなソーシャルキャピタルを醸成しつつ母子の健康向上に寄与する情報発信手法の開発	荒堀 仁美	産科学婦人科学	200,000	補	厚生労働省
332	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	大月 道夫	内分泌・代謝内科学	400,000	補	厚生労働省
333	小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	別所 一彦	小児科学	150,000	補	厚生労働省
334	大規模イベント時の健康危機管理対応に資する研究	嶋津 岳士	救急医学	900,000	補	厚生労働省
335	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	250,000	補	厚生労働省
336	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	250,000	補	厚生労働省
337	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	海渡 貴司	整形外科	250,000	補	厚生労働省
338	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 英利	消化器外科学	200,000	補	厚生労働省
339	『AIの眼』による医療安全確保に関する研究	川崎 良	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	1,500,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
340	新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充/創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	2,000,000	補	厚生労働省
341	発達障害児(者)支援事業	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	14,495,000	委	堺市
342	キッズサポートセンターさかいにおける発達障害児支援業務	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	14,000,000	委	堺市
343	産官学連携プロジェクト高齢者健康寿命延伸実証研究	澤 芳樹	産学連携・クロスインベーションイニシアティブ	8,490,000	委	豊能町
344	クッシング症候群における薬物治療の実態解明	大月 道夫	内分泌・代謝内科学	200,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
345	フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	楽木 宏実	老年・総合内科学	600,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
346	高齢者の認知機能低下に配慮した至適血圧域の解明: 老年期にある健常者と軽度認知機能低下患者を対象とした、認知機能保持ないその改善を最終目的とした、適切な血圧管理法に関する研究	山本 浩一	老年・総合内科学	7,000,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
347	長期追跡調査と多面的評価を基盤とした骨粗鬆症性脊椎骨折の標準的治療方針の確立	海渡 貴司	整形外科	1,000,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
348	国立長寿医療研究センター・東京都健康長寿医療センターの共同事業による、高齢者ブレインバンク・バイオリソースセンターの構築並びに老化・認知症の病態研究と治療開発	別宮 豪一	神経内科学	2,000,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
349	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	300,000	委	国立国際医療研究センター
350	筋レポジトリの拡充とそれを活用した筋ジストロフィー関連疾患の病態解明と診断・治療法開発	中森 雅之	神経内科学	700,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
351	認知症・神経変性疾患の病態解明と治療・介護・予防法開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,300,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
352	ゲノム編集技術を用いたモデル動物作出による精神神経筋疾患の病態解明	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	500,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
353	脳神経疾患研究に資する霊長類モデル動物の作出と評価に関する基盤的研究	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	500,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
354	Cu-64標識化合物合成並びにPET薬物動態試験	渡部 直史	核医学	3,559,920	委	国立研究開発法人量子科学技術研究機構
355	CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	88,000	委	国立大学法人秋田大学
356	ジャパン・スポーツ・サイバーフィジカルシステム(JS-CPS)構築研究事業拠点	中田 研	スポーツ医学	39,231,000	委	スポーツ庁

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
357	救急電話相談事業による緊急度判定が救急搬送患者の予後に与える影響評価	嶋津 岳士	救急医学講座	16,019,000	委	消防庁
358	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(医学系研究科・熊ノ郷)	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	18,980,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
359	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(連合小児・谷池)	谷池 雅子	こころの発達神経科学(小児発達神経学)	24,089,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
360	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(医学系研究科・西田)	西田 幸二	眼科学	18,980,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
361	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(医学系研究科・今村)	今村 亮一	泌尿器科学	17,095,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
362	シヌクレイン細胞間伝搬機構の解明	池中 建介	神経内科学	10,400,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
363	エクソソームの生体内ダイナミクスの解明	望月 秀樹	神経内科学	17,160,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
364	皮質脳波計測の総括とrBCIの検証	貴島 晴彦	脳神経外科学	12,350,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
365	2細胞計測システムを用いた癌や免疫細胞特性の非侵襲的計測方法の確立	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学	16,900,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
366	安全・安心・スマートな長寿社会実現のための高度な量子アプリケーション技術の創出(課題6)	渡部 直史	核医学	9,909,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
367	NASH及び非B非C型肝炎の病態解明と治療標的探索	小玉 尚宏	消化器内科学	19,500,000	委	日本医療研究開発機構
368	C型肝炎ウイルス排除後の肝発癌などの肝病態進展機構および予測因子の解明	竹原 徹郎	消化器内科学	51,350,000	委	日本医療研究開発機構
369	C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	竹原 徹郎	消化器内科学	5,470,000	委	日本医療研究開発機構
370	B型肝炎ウイルス持続感染モデルを用いた病態解明及び創薬研究	竹原 徹郎	消化器内科学	134,480,000	委	日本医療研究開発機構
371	B型肝炎ウイルスの感染複製増殖機構解明による創薬基盤形成に関する研究	疋田 隼人	消化器内科学	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
372	中性脂肪蓄積心筋血管症の診療に直結するエビデンス創出研究	平野 賢一	循環器内科学	10,140,000	委	日本医療研究開発機構
373	脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	2,106,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
374	重症劣性栄養障害型表皮水疱症に対する非侵襲性かつ高効率な間葉系幹細胞遺伝子治療法の開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	25,740,000	委	日本医療研究開発機構
375	薬事申請をめざした治療法のない神経線維腫症1型の皮膚腫瘍に対する有効で安全な局所大量投与療法薬開発のための医師主導治験	金田 真理	皮膚科学	62,114,000	委	日本医療研究開発機構
376	神経保護因子Necdinの発現上昇による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法の創出	望月 秀樹	神経内科学	28,158,000	委	日本医療研究開発機構
377	新規ATG非依存性RAN翻訳を標的としたノンコーディングRNAの治療法開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療寄附講座	23,478,000	委	日本医療研究開発機構
378	脊椎関節炎を標的としたIL-17A ワクチンの開発 Development of IL-17A vaccine for spondyloarthritis	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	23,608,000	委	日本医療研究開発機構
379	好中球活性化制御分子を標的としたANCA関連血管炎の病態解明と治療法の開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	28,158,000	委	日本医療研究開発機構
380	前頭側頭型認知症の動物モデルを用いた候補治療薬の開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	14,800,000	委	日本医療研究開発機構
381	人工知能を用いたてんかん治療の最適化に関する研究開発	貴島 晴彦	脳神経外科	20,800,000	委	日本医療研究開発機構
382	安静時脳波により超早期認知症を検知・識別する人工知能の開発と検証	池田 学	精神医学	24,732,500	委	日本医療研究開発機構
383	難治性甲状腺がんに対する標的アルファ線核医学治療	渡部 直史	核医学	12,962,300	委	日本医療研究開発機構
384	隣がん患者を対象とした、新規LAT1阻害剤の安全性と有効性を探索する医師主導臨床治験	竹原 徹郎	消化器内科学	49,959,000	委	日本医療研究開発機構
385	患者レジストリ(Remudy)を活用した筋強直性ジストロフィーに対するエリスロマイシンの安全性及び有効性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験	中森 雅之	神経内科学	53,300,000	委	日本医療研究開発機構
386	家族性大腸腺腫症に対するWT1がんワクチン免疫療法第II相医師主導治験	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学	38,451,465	委	日本医療研究開発機構
387	難治性甲状腺がんに対する標的アルファ線核医学治療の治験開始に向けて	渡部 直史	核医学	6,470,984	委	日本医療研究開発機構
388	宮口腎虚概念に基づくフレイル治療選択に資する尺度(腎虚スコア)開発と牛車腎気丸エキス製剤のフレイル・サルコペニア効果に関する前向き研究	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	9,876,620	委	日本医療研究開発機構
389	腸内微生物叢の宿主共生と宿主相互作用機構の解明	飯島 英樹	消化器内科学	8,450,000	委	日本医療研究開発機構
390	幹細胞システムに基づく4次元眼組織モデリング機構とその破綻による疾患発症機序の解明	西田 幸二	眼科学	68,900,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
391	精巣内クレアチンの病態意義解明に基づく非侵襲的な精巣内造精能画像評価法と精巣内精子採取術ナビゲーションシステムの開発	福原 慎一郎	泌尿器科学	15,600,000	委	日本医療研究開発機構
392	好中球活性化制御分子のヒト肺癌における抗腫瘍免疫応答への関与の解明	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	24,700,000	委	日本医療研究開発機構
393	シート型ワイヤレス子宮筋電センサを用いた、早産および常位胎盤早期剥離の早期・鑑別診断法の開発～新生児脳障害の減少を目指して～	木村 正	産科婦人科学	4,367,500	委	日本医療研究開発機構
394	更年期障害の早期かつ客観的な診断が可能な新規パッチ式計測シートの研究開発	澤田 健二郎	産科学婦人科学	9,360,000	委	日本医療研究開発機構
395	乳児急性リンパ性白血病に対する国際共同第Ⅲ相試験に向けた多施設共同臨床試験による新規治療戦略の確立研究	宮村 能子	小児科学	7,323,290	委	日本医療研究開発機構
396	急性骨髄性白血病幹細胞を標的としたCAR T細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	11,700,000	委	日本医療研究開発機構
397	難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践疾患	宮川 繁	最先端再生医療学共同研究講座	68,780,000	委	日本医療研究開発機構
398	iPS再生組織・細胞移植における拒絶反応の免疫指標の確立と、誘導性抑制性T細胞を用いた再生組織の長期生着・免疫寛容の誘導	宮川 繁	最先端再生医療学共同研究講座	11,700,000	委	日本医療研究開発機構
399	iPS細胞由来角膜上皮細胞シートのFirst-in-human 臨床研究	西田 幸二	眼科学	63,160,500	委	日本医療研究開発機構
400	脂質代謝を標的とした新規癌治療法の開発	木村 正	産科学婦人科学	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
401	革新的ハイブリッド細胞療法による癌の個別化先進医療の研究開発	木村 正	産科学婦人科学	24,700,000	委	日本医療研究開発機構
402	iPS細胞を用いた心筋再生治療創成拠点	澤 芳樹	心臓血管外科学	327,660,000	委	日本医療研究開発機構
403	虚血性心筋症に対するヒト(同種)iPS細胞由来心筋細胞シートの臨床試験	澤 芳樹	心臓血管外科学	84,500,000	委	日本医療研究開発機構
404	外傷性骨折後変形治癒症例に対するカスタムメイド治療法の研究開発	村瀬 剛	整形外科	4,921,800	委	日本医療研究開発機構
405	関節内変形治癒骨折手術に対するカスタムメイド手術ガイド実用化のための医師主導治験	村瀬 剛	整形外科	46,969,000	委	日本医療研究開発機構
406	アルツハイマー病に対する医療費削減を目指した在宅型非侵襲脳刺激療法の探索的臨床研究	齋藤 洋一	脳神経機能再生学共同研究講座	39,000,000	委	日本医療研究開発機構
407	Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関する研究	水島 恒和	炎症性腸疾患治療学寄附講座	390,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
408	視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験	谷池 雅子	こころの発達神経科学講座	16,118,108	委	日本医療研究開発機構
409	コラーゲン半月板補填材を用いた新規半月板治療のヒト臨床研究から実用化研究	中田 研	スポーツ医学	28,030,870	委	日本医療研究開発機構
410	新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた分子ニードルCOVID-19粘膜免疫ワクチンの開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	6,500,000	委	日本医療研究開発機構
411	肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症(ALS)の画期的治療法開発	望月 秀樹	神経内科学	32,500,000	委	日本医療研究開発機構
412	レビー小体型認知症(DLB)の病原性蛋白質 α シヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発	望月 秀樹	神経内科学	2,690,000	委	日本医療研究開発機構
413	AIを用いた重症心筋症に対する再生医療のPrecision medicineの実践	宮川 繁	最先端再生医療学共同研究講座	19,500,000	委	日本医療研究開発機構
414	新型コロナウイルス(COVID-19)を標的としたワクチン実用化開発	中神 啓徳	健康発達医学	455,000,000	委	日本医療研究開発機構
415	新規消毒剤を用いた安価で簡便な感染制御法の確立	朝野 和典	感染制御学	7,597,200	委	日本医療研究開発機構
416	ワイヤレス体内埋込型ブレイン・マシン・インターフェース装置による意思伝達機能再建に関する検証的試験	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	73,190,000	委	日本医療研究開発機構
417	シヌクレイン抑制AmNA核酸によるパーキンソン病の治療研究	望月 秀樹	神経内科学	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
418	無虹彩症に生じる眼異常の発症機構の解明と治療法の開発	西田 幸二	眼科学	39,000,000	委	日本医療研究開発機構
419	新型コロナウイルス(COVID-19)を標的としたDNAワクチン臨床開発	中神 啓徳	健康発達医学	39,000,000	委	日本医療研究開発機構
420	新規消毒剤を用いた安価で簡便な感染制御法の確立	朝野 和典	感染制御学	14,950,000	委	日本医療研究開発機構
421	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の網羅的遺伝子・タンパク発現解析を用いた新規分子病態バイオマーカー開発と臨床応用	小倉 裕司	救急医学	33,150,000	委	日本医療研究開発機構
422	【A46-C・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	1,100,000	補	日本医療研究開発機構
423	【A72・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	平野 賢一	循環器内科学	3,960,000	補	日本医療研究開発機構
424	【A85-B・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	2,200,000	補	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
425	【A91・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	長野 清一	神経内科学	1,100,000	補	日本医療研究開発機構
426	【A129・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	井口 直也	麻酔・集中治療医学	3,300,000	補	日本医療研究開発機構
427	【A135・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	西田 幸二	眼科学	6,600,000	補	日本医療研究開発機構
428	【A136・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	2,200,000	補	日本医療研究開発機構
429	【A137・橋渡し(補助金)】戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	3,050,000	補	日本医療研究開発機構
430	呼吸安定性時間(Respiratory Stability Time:RST)を用いたCOVID-19患者に対する重症化指標に関する研究開発	澤 芳樹	心臓血管外科学	142,109,000	補	日本医療研究開発機構
431	SARS-CoV-2吸着カラムの開発	猪阪 善隆	腎臓内科学	289,900,000	補	日本医療研究開発機構
432	ナノポア技術と機械学習を用いた新型コロナウイルス検査法に関する研究	朝野 和典	感染制御学	11,800,000	補	日本医療研究開発機構
433	内視鏡システムからのエアゾル発生の危険性評価及び汎用型処置具アイソレータの開発	中島 清一	次世代内視鏡治療学共同研究講座	20,976,800	補	日本医療研究開発機構
434	AIナノポアによる新型コロナウイルス・スクリーニング検査法に関する研究開発	朝野 和典	感染制御学	21,800,000	補	日本医療研究開発機構
435	切離機能を有する世界初の内視鏡用軟性バイポーラ凝固鉗子の研究開発	中島 清一	次世代内視鏡治療学共同研究講座	30,000,000	補	中小企業庁
436	感染治療機能を有する複合材料製人工股関節の研究開発	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	5,920,200	補	中小企業庁
437	iPS細胞等による分化製造プロセスにおける高効率な大量細胞凝集塊分散技術ならびに自動化装置の研究開発	澤 芳樹	心臓血管外科学	5,200,000	補	中小企業庁
438	世界的健康問題の解決に向けた医学研究グローバルリーダー育成プログラム	朝野 和典	感染制御学	1,000,000	補	文部科学省
439	優秀な若手・外国人研究者の育成・獲得と研究環境の充実事業	前田 悠一	呼吸器・免疫内科学講座	4,000,000	補	文部科学省
440	治療薬開発へつながるダウン症候群の神経病態発症原理の解明	北畠 康司	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
441	膝関節外傷と障害の予防法開発に向けた荷重下水平方向の下肢筋力評価と強化法の開発	木村 佳記	医療(リハビリテーション部)	1,222,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
442	レジリエントな手術チームのシステムダイナミクスの解明	中島 和江	中央クオリティ	1,131,000	補	独立行政法人日本学術振興会
443	治療薬開発へつながるダウン症候群の神経病態発症原理の解明	北島 康司	総合周産期母子医療センター	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
444	プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳内酸素飽和度の推移に基づいた脳循環の解明	塩崎 忠彦	高度救命救急センター	5,837,000	補	独立行政法人日本学術振興会
445	重症病態での腸内細菌叢を介した免疫システム解明と腸内細菌叢再構築のための治療戦略	清水 健太郎	高度救命救急センター	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
446	リアルワールドデータ品質評価指標の構築と臨床研究への応用	山田 知美	未来医療開発部	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
447	公的資金が投入されている医療の公共性と公共財としての在り方に関する研究	森井 大一	感染制御部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
448	敗血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	松浦 裕司	高度救命救急センター	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
449	ICTを活用したデータマネジメント業務の標準化・効率化モデル構築	神宮司 希和子	未来医療開発部	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
450	スタッフの教育を加味した勤務スケジュールの最適化モデルと支援システムの構築	日高 国幸	医療(放射線部)	1,920,314	補	独立行政法人日本学術振興会
451	固相抽出法によるF-18標識薬剤用ディスプレイサブル合成システムの構築	仲 定宏	放射線部	925,673	補	独立行政法人日本学術振興会
452	頭部衝撃波外傷に関する研究	松浦 裕司	高度救命救急センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
453	腸内細菌が敗血症における免疫制御機構に与える影響の解明	坂口 了太	集中治療部	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
454	注視する目・見つけ合う目:救急医療のマルチモーダル分析国際共同研究	中村 京太	中央クオリティマネジメント部	130,029	補	独立行政法人日本学術振興会
455	新規実験システムを用いた血小板インテグリン制御分子の多角的解析とその応用	富山佳昭	輸血部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
456	がん化学療法の精密医療の実現化	坂井 大介	がんゲノム医療センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
457	Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	坂井 大介	がんゲノム医療センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
458	骨髄由来抑制細胞(MDSC)による頭部外傷後神経炎症の抑制効果に関する研究	細見 早苗	高度救命救急センター	2,154,909	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
459	LEDを用いた光音響法による胎児等の血中酸素飽和度測定とその有効性	瀧内 剛	総合周産期母子医療センター	921,842	補	独立行政法人日本学術振興会
460	看護業務量推定のための方法論の構築	谷浦 葉子	看護管理室(看)	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
461	ジャンパー膝に対する力学的負荷を用いた新たな運動療法の開発	木村 佳記	医療(リハビリテーション部)	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
462	骨格筋型ミオシン軽鎖キナーゼをターゲットとした新規筋弛緩薬の開発	大矢 良平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,299,108	補	独立行政法人日本学術振興会
463	新たな病態概念に基づいたダウン症候群の中樞神経系病変の解析	南原 利彦	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
464	Bリンパ球が誘導する免疫寛容におけるクロマチン構造調整蛋白SATB1の機能解明	小澤 孝幸	血液・腫瘍内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
465	糖尿病下膵β細胞機能回復のための標的因子の探求	下 直樹	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
466	熱中症性脳症におけるHMGB1の関与と病態の解明	島崎 淳也	高度救命救急センター	1,739,620	補	独立行政法人日本学術振興会
467	シリコンパウダー経口摂取による水素生成とラット腎虚血再灌流傷害に対する保護効果	川村 正隆	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
468	中性脂肪蓄積心血管症における心筋脂肪酸代謝(t-123 BMIPP)の評価法	神谷 貴史	医療(放射線部)	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
469	もやもや病感受性遺伝子RNF213変異が脳梗塞をおこす機序の解明と治療戦略の探索	岡崎 周平	脳卒中センター	845,000	補	独立行政法人日本学術振興会
470	核医学治療応用に向けた新規加速器製造放射性核種の開発	大江 一弘	未来医療開発部	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
471	がんの特異性の高いFBPAとFDGのPETを用いた免疫療法効果判定と副作用予測	巽光朗	放射線部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
472	腫瘍低酸素部位特異的に集積するAt-211標識薬剤の開発	大江 一弘	未来医療開発部	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
473	超高磁場MRI:多素子並列RF励起技術の安全性確立と局所超高分解能撮像への展開	山田 幸子	医療(放射線部)	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
474	急性腎障害におけるリポファジーの役割解明と治療への応用	高橋 篤史	血液浄化部	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
475	同種造血幹細胞移植後の免疫再構築と同種免疫応答におけるSTAP蛋白の役割	西東 秀晃	血液・腫瘍内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
476	免疫チェックポイント機構による心不全の病態制御機構の解明	河村 愛	卒後教育開発センター	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
477	高齢者施設の種類と特徴に応じた救急・災害医が関与した災害計画と訓練手法の開発	射場 治郎	高度救命救急センター	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
478	地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク構築の有効性検討	北村 温美	中央クオリティマネジメント部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
479	ミャンマーのカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌を分子疫学・地政学的視点で解明する	明田 幸宏	感染制御部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
480	ミャンマーのカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌を分子疫学・地政学的視点で解明する	濱口 重人	感染制御部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
481	卵巣癌においてLSRが制御する脂質代謝経路の解析と抗LSR抗体による阻害の検証	平松 宏祐	総合周産期母子医療センター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
482	CRISPRノックアウトライブラリーを用いた大腸癌転移機構の解明	石川 慧	消化器外科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
483	脳磁図を用いた言語記憶力検査法の開発	荒木 俊彦	医療(臨床検査部)	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
484	筋強直性ジストロフィーの骨格筋障害機構解明	蓮池 裕平	神経内科・脳卒中科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
485	TDP-43発現低下における、fth I mRNAへの影響の解析	神野 隼輝	神経内科・脳卒中科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
486	Dual-energy仮想非造影CTによる革新的な放射線治療計画法の開発と実用化	山田 幸子	医療(放射線部)	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
487	ヒト内軟骨性骨化モデルに於ける成長軟骨帯形成メカニズムの解明	木村 武司	女性・母子・泌尿生殖科	1,981,400	補	独立行政法人日本学術振興会
488	糖尿病に伴発癌の発癌機序解明および早期診断マーカー同定	佐藤 克彦	内視鏡センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
489	非古典的NK細胞経路を介した胆管癌進展のメカニズムの解明と胆管癌治療への応用	塩出 悠登	未来医療開発部	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
490	肝星細胞オートファジーの癌微小環境を通じた肝癌細胞増殖機序の解明	明神 悠太	消化器内科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
491	房室結節・洞結節に対する“クワイオマッピング”の有用性に関する検証	中野 智彰	循環器内科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
492	冠微小血管障害に基づく新規拡張相肥大型心筋症診断指標の探索	宮脇 大	移植医療部	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
493	心不全患者の予後を心筋病理組織画像から機械学習で予測する	土肥 智晴	未来医療開発部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
494	(若手研究_19-21 塚本 泰正) 非侵襲・低侵襲モダリティを用いた成人先天性心疾患における心肝連関の病態評価	塚本 泰正	内分泌・代謝内科学	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
495	CKD合併症におけるCaSRの病態生理学的意義の探索	島田 果林	腎臓内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
496	腎尿管における糖新生とオートファジー不全の関わり	酒井 晋介	腎臓内科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
497	ファブリー病におけるマルベリー細胞定量的評価法の開発とその臨床的価値	余西 洋明	腎臓内科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
498	血液透析患者の閉塞性動脈硬化症に対するマグネシウム製剤の効果の検討	岡 樹史	腎臓内科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
499	STAPファミリー蛋白によるBcr-Abl分子活性化機構の解明とその治療的応用	戸田 淳	輸血部	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
500	交互積層法を用いた血管化膵組織の構築	高市 翔平	消化器外科	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
501	胃癌Nivolumab治療におけるARID1A遺伝子変異の意義	萩 隆臣	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
502	胆汁酸およびアルコールが食道扁平上皮発癌に及ぼす影響	市原 もも子	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
503	Notchシグナルと食道癌抗癌剤耐性のメカニズムの解明と臨床応用にむけて	松浦 記大	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
504	消化管間葉系肉腫におけるGPX4阻害剤の有効性とそのメカニズムの解明	石田 智	消化器外科	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
505	腸管内におけるTim3単独発現細胞-大腸がん新規免疫治療に向けて-	北風 雅敏	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
506	膵癌におけるHDAC1の発現意義とEMT抑制をターゲットとした新規治療法の開発	山本 慧	消化器センター	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
507	先天性心疾患合併重症心不全に対する自家骨格筋由来筋芽細胞シートの有効性評価	荒木 幹太	ハートセンター	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
508	重症心不全における腸内フローラの探索による逆行性感染症の防止の検討	中江 昌郎	心臓血管外科(一外)	2,012,077	補	独立行政法人日本学術振興会
509	回転浮遊培養システムを用いたiPS細胞由来3次元心筋組織の維持培養法の開発	中里 太郎	心臓血管外科(一外)	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
510	静水圧加圧三次元積層シートによる先天性肺動脈狭窄に対する脱細胞パッチの開発	金谷 知潤	心臓血管外科(一外)	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
511	右心不全に対するiPS細胞由来心筋細胞シートの有効性の検討	渡邊 卓次	心臓血管外科(一外)	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
512	生体多光子励起イメージング技術を利用した胸部腫瘍の新規低侵襲診断装置の開発	谷口 聖治	呼吸器外科(一外)	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
513	腹臥位中における自発呼吸温存の効果の解明	吉田 健史	集中治療部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
514	コリン作動性抗炎症経路による神経免疫系を介した全身炎症の制御機序の解明	松原 庸博	高度救命救急センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
515	深層学習によるてんかんの脳波・脳磁図の自動診断	藤田 祐也	脳神経外科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
516	脊髄損傷後の自律神経機能障害による臓器機能低下の評価	中島 伸彦	脳神経外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
517	尿路上皮癌血中遊離DNA断片によるAIを活用した診断とその遺伝子変異の臨床応用	中野 剛佑	泌尿器科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
518	新規動物モデルを用いた夜間多尿の治療戦略の探索	関井 洋輔	泌尿器科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
519	精索静脈瘤の男性不妊に及ぼす機序の解明と新規治療薬としてのシリコンナノ粒子の応用	稲垣 裕介	泌尿器科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
520	直線加速度刺激装置を用いたP2X2受容体ノックアウトマウスでの耳石器機能の研究	原田 祥太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
521	根尖性歯周炎における根尖病変の治癒促進を目的とした高周波根尖療法に関する臨床試験	松井 沙織	歯科治療室	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
522	(若手研究_19-20内橋 俊大) 武装型第三代がん治療用HSV-1と免疫療法の併用効果および安全性の検討	内橋 俊大	歯科治療室	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
523	内耳有毛細胞の生体イメージング	清水 康太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
524	保存期CKD患者の冠動脈石灰化における薬剤介入効果予測バイオマーカーの検索	土井 洋平	腎臓内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
525	大阪府のレセプト特定健診一体型ビッグデータに基づく効率的な特定健診の運用の提案	尾崎 晋吾	血液浄化部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
526	医療リアルワールドデータを活用したシスプラチン腎障害に対する新規予防法の開発	奥田 真弘	薬剤部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
527	機械学習を用いた画像診断レポートからの情報抽出と利活用に関する研究	武田 理宏	医療情報部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
528	ビタミンD補充によるサルコペニア治療の可能性を探る	赤坂 憲	卒後教育開発センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
529	連続インピーダンスを用いた穿刺針位置確認システムの開発:ロボット支援との融合	大瀧 千代	集中治療部	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
530	119番通報に人工知能を応用した新たな消防通信指令支援システムの開発に関する研究	入澤 太郎	高度救命救急センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
531	敗血症の炎症最適化のためのマーカーと分子病態分類の解明:HIVEP1の臨床応用	松本 寿健	高度救命救急センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
532	悪性髄膜腫に対するWT1ペプチドワクチン療法の開発	平山 龍一	未来医療開発部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
533	ホメオティック遺伝子HoxBの骨形成における機能解析	名井陽	未来医療開発部	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
534	(基盤(C).20-22_岡崎 利彦)低温度帯におけるエンドトキシン不活化を実現する革新的気相式滅菌デバイスの開発	岡崎 利彦	未来医療開発部	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
535	間葉系幹細胞の臨床応用へ向けた品質管理と評価マーカーの探索	岡本 美奈	未来医療開発部	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
536	抗CD3抗体活性の解明と新規治療法の創出	森田 将史	腎臓内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
537	抗炎症薬による生体侵襲時の腫瘍増殖抑制効果のメカニズム解明	小林 登	消化器外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
538	脳腫瘍に対するWT1経口がんワクチンの効果と腫瘍内浸潤リンパ球の検討	皆川 光	小児科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
539	エクソソームを活用した第三世代EGFR-TKI耐性化バイオマーカーの探索	新谷 拓也	薬剤部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
540	神経疾患における脳内胆汁酸の役割の解明	杉山 慎太郎	神経内科・脳卒中科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
541	老化促進マウスを用いたパーキンソン病理における老化	佐木山 裕史	神経内科・脳卒中科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
542	アストロサイトイメージングによるNMOの病態評価	甲田 亨	未来医療開発部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
543	拡張型心筋症の病態解明を目指した非侵襲的心筋性状・代謝MRイメージング法の開発	上田 淳平	放射線部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
544	エクソソームプロファイリングによるダウン症候群の肺高血圧症発症病態の解明	杉辺 英世	総合周産期母子医療センター	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
545	骨形成不全症におけるヒト臍帯由来間葉系幹細胞の治療効果	齊藤 広幸	未来医療開発部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
546	ダウン症候群における病態責任遺伝子の同定を可能にする革新的な細胞モデルの確立	吉松 秀隆	総合周産期母子医療センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
547	WT1蛋白を基軸にした小児急性骨髄性白血病に対する免疫応答のバイオマーカー探索	五百井 彩	小児科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
548	大腸癌におけるMAPK経路阻害時の代替機構と薬剤耐性メカニズムの解明	野瀬 陽平	栄養マネジメント部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
549	非アルコール性脂肪肝炎の病態形成における ω -6脂肪酸代謝異常の意義	坂根 貞嗣	消化器内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
550	圧ガイドワイヤーを用いた拡張型心筋症における微小血管障害の関与の解明	鈴木 康太	心臓血管外科(一外)	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
551	冠動脈疾患患者の予後を光干渉断層画像から機械学習で予測する	中村 大輔	ハートセンター	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
552	在宅心不全患者見守りに向けた、「歩容」指標の研究開発	小西 正三	医療情報部	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
553	重症虚血肢に対する細胞シート技術を応用した細胞塊注入法の再生治療効果の検討	三宅 啓介	心臓血管外科(一外)	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
554	オートファジー抑制因子Rubiconの阻害による老化制御の試み	中村 隼	血液浄化部	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
555	人工知能を用いて解明する腎病理組織変化の本態	松本 あゆみ	血液浄化部	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
556	血球分化障害をきたす機能未知の遺伝子の解析	中井 りつこ	血液・腫瘍内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
557	小児固形腫瘍の初代培養方法の確立と臨床応用に向けた開発研究	塚田 遼	小児外科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
558	細胞積層法を用いたiPS細胞由来高機能三次元組織グラフトの実現	美濃地 貴之	消化器外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
559	難治性胆道癌における癌悪性化に伴う周囲免疫反応の推移に関わる検討	吉原 輝一	消化器外科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
560	大腸癌における新規標的タンパク、MTDH/SND1タンパクの機能解析について	在田 麻美	消化器外科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
561	大腸癌微小環境における自然リンパ球の役割の解明	竹田 佑	消化器外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
562	食道扁平上皮癌の治療抵抗性改善薬としての人工環状RNA医薬の開発	阪野 佳弘	消化器外科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
563	重症下肢虚血に対するNotch遺伝子改変ヒト間葉系幹細胞移植による血管再生療法	前田 修作	手術部	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
564	人工知能アルゴリズムによる音響解析を用いたLVAD診断システムの構築	三隅 祐輔	心臓血管外科(一外)	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
565	Super ECMを用いた新しい心筋再生療法の開発	佐村 高明	心臓血管外科(一外)	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
566	新規細胞死フェロトーシスを標的とした肺移植後虚血再灌流障害に対する治療法の開発	松井 優紀	呼吸器外科(一外)	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
567	特発性肺線維症の線維芽細胞が高分泌するPeriostinが肺癌へ与える影響の研究	大和 寛幸	呼吸器外科(一外)	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
568	CKAP4 Sandwich-ELISAを用いた新規肺癌血清マーカーの開発	名越 章裕	呼吸器外科(一外)	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
569	タゲノム及びメタボローム解析による重症病態の腸内環境デザインの開発	村津 有紗	高度救命救急センター	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
570	内細菌叢の変化を用いたくも膜下出血後早期脳損傷の新規予防法と治療法の開発	川端 修平	脳神経外科	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
571	第一次爆傷による単独軽症頭部外傷によって局所および全身に惹起される反応	戸上 由貴	高度救命救急センター	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
572	脂肪特異的Atg5KOマウスを用いた敗血症病態におけるオートファジーの機能解明	蛸原 健	高度救命救急センター	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
573	難治性髄芽腫に対する分子標的治療開発の試み	中川 智義	脳神経外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
574	ワーラー変性における細胞内エネルギー代謝の病態解明	竹中 朋文	脳神経外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
575	ゲノム・タンパク統合解析による腎癌PD-L1発現機構解明と治療選択マーカー確立	洪 陽子	泌尿器科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
576	膀胱細菌叢をターゲットとした過活動膀胱の根治療法の開発	岡田 紘一	前立腺センター	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
577	膀胱癌特異的エクソソームタンパクによる癌微小環境調節機序の解明と診断キット開発	富山 栄輔	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
578	糖転移酵素による糖鎖修飾に着目したECRS難治化の病態解明	中谷 彩香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
579	BMP8Bを介した骨芽細胞による好酸球性副鼻腔炎難治メカニズムの解明	小幡 翔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
580	耳真珠腫のsingle cell RNA解析及び保存的治療薬の開発	清水 康太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
581	腸癌における三次リンパ組織形成ならびに抗腫瘍免疫誘導機構の解明	伊藤 善郎	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
582	Notchシグナルと食道癌転移のメカニズムの解明と臨床応用にむけて	杉本 智樹	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
583	脂肪組織における多機能性分子Myoferlinの病態生理機能及び個体老化への関与	野里 陽一	総合診療部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
584	骨転移に対する新規血液バイオマーカーGDPP発現メカニズムの解明	山道 岳	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
585	膵異所性脂肪蓄積と関連する生活習慣因子の解明	馬殿 恵	未来医療開発部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
586	候・診断・予後データ解析による新たな傷病診断スコアの開発	片山 祐介	高度救命救急センター	339,696	補	独立行政法人日本学術振興会
587	神経病理学的背景に基づいたアルツハイマー病関連因子の探索	竹屋 泰	老年・高血圧内科	1,247,590	補	独立行政法人日本学術振興会
588	エクソソームの最新プロテオミクスによる気管支喘息の新規バイオマーカー探索	木庭 太郎	呼吸器内科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
589	造血幹細胞抗原ESAMの欠損が胎生期に致死的な赤血球造血不全をきたすメカニズム	上田 智朗	血液・腫瘍内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
590	白血病幹細胞の不均一性とゆらぎの解析と白血病治療への応用	新開 泰宏	血液・腫瘍内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
591	ミトコンドリアDNAの動態制御による新規癌治療戦略の開発	田中 晃司	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
592	次世代フローサイトメーターを用いた膵癌特異的免疫応答の網羅的解析と臨床意義の検討	東口 公哉	消化器外科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
593	イムノスコアを用いた食道癌化学療法による免疫微小環境評価の標準化と臨床応用	野間 俊樹	消化器外科	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
594	Mac-2bpが腫瘍関連マクロファージを介して膵がんの治療抵抗性を導く機序の解析	光藤 傑	消化器外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
595	53タンパク質分解を標的とした抗腫瘍効果を持つ新規化合物のスクリーニング	徳山 信嗣	消化器外科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
596	cular surfaceの安定化に関わるマイクロバイオームのメタゲノム解析	浅尾 和伸	眼科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
597	HOXA5制御を介した脱癌幹細胞化による大腸癌治療抵抗性の克服	波多 豪	消化器外科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
598	療層別化に向けた原因不明自己免疫性脳炎single-cell病態解析	石倉 照之	神経内科・脳卒中科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
599	Field changeの網羅的遺伝子発現解析による膀胱癌再発メカニズムの解明	林 裕次郎	泌尿器科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
600	Clonal hematopoiesis による腫瘍微小環境の変化と放射線抵抗性	立川 章太郎	放射線治療科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
601	肺炎球菌の経鼻保菌から肺炎への進展様式の解明	濱口 重人	感染制御部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
602	脳ニューロンアトラスによる神経変性疾患モデルの一細胞解像度全脳病態解析	三谷 智樹	卒後教育開発センター	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
603	HPV陽性中咽頭癌に対する個別化治療に向けたct-DNAモニタリングの意義	田中 秀憲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
604	頸部扁平上皮癌を高悪性化させるRNAスプライシングバリエーションの同定	北村 公二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
605	室補助人工心臓に関連した脳梗塞の脳血管内治療一実態解明から安全性向上へ	北野 貴也	脳卒中センター(神内)	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
606	新型コロナウイルス感染症に対する院内および施設内感染対策の確立に向けた研究	森井 大一	感染制御部	1,500,000	補	厚生労働省
607	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)およびインフルエンザの診断における鼻咽頭拭い液・鼻かみ鼻汁液・唾液検体を用いた迅速抗原	山岸 義晃	未来医療開発部	4,000,000	補	厚生労働省
608	キャッスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究	水木 満佐央	血液・腫瘍内科	200,000	補	厚生労働省
609	血液凝固異常症等に関する研究	富山佳昭	輸血部	1,200,000	補	厚生労働省
610	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	山田 知美	未来医療開発部	500,000	補	厚生労働省
611	難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	上野豪久	小児外科	200,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
612	医療機関における医療安全および業務効率化に資する医薬品・医療機器のトレーサビリティ確立に向けた研究	武田 理宏	医療情報部	1,000,000	補	厚生労働省
613	令和2年度次世代医療機器連携拠点整備等事業	中島 清一	消化器外科	10,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
614	臨床研究中核病院の活用による革新的医薬品・医療機器等の創出促進に向けた先進的AROモデルの構築	土岐 祐一郎	医学部附属病院	262,269,499	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
615	異分野融合型研究の推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	澤 芳樹	心臓血管外科	50,050,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
616	戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	澤 芳樹	心臓血管外科	109,221,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
617	近畿地区認定臨床研究審査委員会(CRB)の質向上と運用改善に関する研究	山本 洋一	未来医療開発部	5,070,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
618	臨床研究総合促進事業	土岐 祐一郎	医学部附属病院	50,914,000	補	厚生労働省
619	ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究	明田 幸宏	感染制御部	1,300,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
620	再製造単回使用医療機器の洗浄工程における清浄性評価に関する研究	高階 雅紀	材料部	1,300,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
621	脊髄腫瘍胎児手術の先進医療への展開	遠藤 誠之	胎児診断治療センター	30,901,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
622	難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	大月 道夫	糖尿病・内分泌・代謝内科	260,000	委	独立行政法人国立病院機構京都医療センター
623	AI基盤拠点病院の確立	土岐祐一郎	AI医療センター	120,000,000	委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
624	治療効果測定におけるPETとその他の画像診断との比較検討に関する研究	巽 光朗	放射線部	600,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
625	グローバルに拡散するカルバペネム耐性菌の分布と伝播様式解析および耐性菌ゲノムデータ	明田 幸宏	感染制御部	26,650,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
626	コンゴ民主共和国における社会実装へのトランスレーショナルリサーチ拠点形成	中谷 大作	未来医療開発部	1,300,000	委	公立大学法人大阪
627	二重盲検比較試験の実施、継続試験の実施、評価及び長期安全性情報のPMDA提出	水木 満佐央	血液・腫瘍内科	400,000	委	国立大学法人長崎大学
628	統計学的検討	山田 知美	未来医療開発部	390,000	委	国立大学法人三重大学

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
629	至適治療法の開発とプロトコル作成	山田 知美	未来医療開発部	1,300,000	委	国立大学法人 三重大学
630	中央IRB促進事業(職種特異的・横断的コアコンピテンシーの連携を活かした効率的な多職種協調型教育プログラムの作成)	岩崎 幸司	未来医療開発部	1,000,000	委	公立大学法人大阪
631	有害事象発生時の科学的な細胞検証を通じて細胞治療の安全性向上を目指す臨床用細胞保管・検査拠点構築	西田 幸二	眼科	18,826,600	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
632	再生医療等臨床研究推進拠点病院の確立	土岐 祐一郎	医学部附属病院	20,033,780	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
633	再生医療等臨床研究を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの実現	西田 幸二	眼科	28,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
634	中央IRB促進事業(研究支援者としてのプロジェクトマネージャー(調整管理実務担当者を含む)育成プログラムの開発に関する研究)	岩崎 幸司	未来医療開発部	919,854	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
635	感染症分野における日本とアジア諸国の国際研究開発協力を促進する臨床研究・治験プラットフォーム形成と実証事業	中田 研	未来医療開発部	33,970,947	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
636	中央IRB促進事業(コンピテンシーに基づくアカデミア所属データマネージャーの教育プログラム開発)	山本 尚子	未来医療開発部	910,000	委	国立大学法人東北大学
637	ARO機能推進事業 シーズ開発実績に裏付けられたARO機能のリソース次元縮約と可視化に関する研究	真田 昌嗣	未来医療開発部	1,300,000	委	国立大学法人九州大学
638	cT1-2NO-2胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	土岐 祐一郎	消化器外科(二外)	30,000	委	静岡県立静岡がんセンター
639	StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	水島 恒和	消化器外科(二外)	33,000	委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
640	肝生検病理診断基準均一化	森井 英一	病理部	460,000	委	市立貝塚病院
641	泉州地区の骨髄疾患を対象とする病理学的検討	森井 英一	病理部	850,000	委	市立岸和田市民病院
642	「生体弁置換術後心房細動患者の抗血栓療法に関するレジストリー」(前向き観察研究)	坂田 泰史	循環器内科	432,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
643	フロロベタピル(18F)注射液を用いたアミロイドイメージングによる診断インパクト臨床研究	池田 学	神経科・精神科	679,250	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
644	再発又は難治性のCD30陽性皮膚原発悪性リンパ腫を対象としたプレントキシマブ・ベドチンの有効性及び安全性を確認する多施設共同第Ⅱ相医師主導治験	清原 英司	皮膚科	4,488,575	委	岡山大学病院
645	PSEN1(Presenilin1)遺伝子変異アルツハイマー病に対するTW-012Rの安全性と有効性を検討する二重盲検比較試験および非盲検継続投与試験	池田 学	神経科・精神科	1,485,000	委	国立大学法人京都大学

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
646	人工心肺システム「BR13030」を用いた急性重症心不全／急性重症呼吸不全患者に対する補助循環法の安全性および有効性に関する多施設共同単一群試験(治験識別番号: NCVC-ECMO_01)	澤 芳樹	心臓血管外科	5,280,000	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
647	血中循環腫瘍DNA陽性の治療切除後結腸・直腸がん患者をたいしょうとしたFTD/TPI療法とプラセボとを比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験	植村 守	消化器外科	1,000,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
648	アドレノメデュリンを用いたCOVID-19による機械換気を要する肺炎の重症化予防－医師主導治験phaseⅡ	藤野 裕士	集中治療部	502,000	委	宮崎大学医学部附属病院
				4,979,248,170		

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入す

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別	PubMed ID
1	Yokoi K, Nakamura D, Mizote I, et al	循環器内科	Comparison of Intravascular Ultrasound and Optical Coherence Tomography Images of Calcified Lesions During Rotational Atherectomy.	JACC Cardiovasc Interv. 2021 Feb 22;14(4):474- 475	Others	33516692
2	Sunaga A, Hikoso S, Yamada T, et al	循環器内科	Abdominal obesity, and not general obesity, is associated with a lower 123I MIBG heart-to- mediastinum ratio in heart failure patients with preserved ejection fraction.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2021 Mar 14	Original Article	33715034
3	Ozu K, Minamiguchi H, Konishi S, et al.	循環器内科	Inappropriate detection of an intraventricular conduction delay as a lead failure due to an increase in the sensing integrity counter in a patient with a cardiac resynchronization therapy-defibrillator.	HeartRhythm Case Rep. 2020 Oct 24;7(1):39-42	Case report	33505853
4	Taneike M, Nishida M, Nakanishi K, et al	循環器内科	Alpha-Klotho is a novel predictor of treatment responsiveness in patients with heart failure.	Sci Rep. 2021 Jan 21;11(1):2058	Original Article	33479413
5	Kohama Y, Higo S, Masumura Y, et al	循環器内科	Adeno-associated virus-mediated gene delivery promotes S-phase entry-independent precise targeted integration in cardiomyocytes	Sci Rep. 2020 Sep 18;10(1):15348	Original Article	32948788
6	Li J, Lee JK, Miwa K, et al.	循環器内科	Scaffold-Mediated Developmental Effects on Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes Are Preserved After External Support Removal.	Front Cell Dev Biol. 2021 Feb 15;9:591754.	Original Article	33659246
7	Yokoi K, Otsuka F, Mizote I, et al.	循環器内科	In Vivo Intracoronary Imaging Assessment of Cardiac Allograft Vasculopathy With Histopathologic Confirmation	JACC Cardiovasc Interv . 2020 Oct 12;13(19):2305-2307	Others	32861631
8	Tsuda M, Mizote I, Mukai T, et al.	循環器内科	Aortic root rupture during balloon-expandable transcatheter aortic valve replacement in a patient without recognized risk factors for aortic root rupture	Eur Heart J Case Rep. 2020;4(3):1-4	Case report	32617490
9	Tahata Y, Hikita H, Mochida S, et al.	消化器内科	Sofosbuvir plus velpatasvir treatment for hepatitis C virus in patients with decompensated cirrhosis: a Japanese real-world multicenter study	J Gastroenterol. 2021 Jan;56(1):67-77.	Original Article	33001338
10	Takehara T, Chayama K, Kurosaki M, et al.	消化器内科	JNJ-4178 (adafosbuvir, odalasvir, and simeprevir) in Japanese patients with chronic hepatitis C virus genotype 1 or 2 infection with or without compensated cirrhosis: the Phase IIa OMEGA-3 study.	J Gastroenterol. 2020 Jun;55(6):640-652.	Original Article	32065330

11	Inoue T, Ishihara R, Nishida T, et al.	消化器内科	Prophylactic clipping not effective in preventing post-polypectomy bleeding for < 20-mm colon polyps: A multicenter, open-label, randomized controlled trial.	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Feb;36(2):383-390.	Original Article	32511792
12	Sakaue T, Okuno Y, Mukai K, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Coincidence of Large Adrenal Cyst and Prominent Hyporeninemic Hyperaldosteronism.	Case Rep Endocrinol. 2021 Feb 20;2021:8860498. (オンライン)	Case report	33688442
13	Tsugawa-Shimizu Y, Fujishima Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Increased vascular permeability and severe renal tubular damage after ischemia-reperfusion injury in mice lacking adiponectin or T-cadherin.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2021 Feb 1;320(2):E179-E190.	Original Article	33284092
14	Sakaue T, Okuno Y, Mukai K et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Coincidence of Large Adrenal Cyst and Prominent Hyporeninemic Hyperaldosteronism	Case Rep Endocrinol. 2021 Feb 20;2021:8860498.	Case report	33688442
15	Okuno Y, Kawata S, Shimizu Y et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Oral contraceptive disturbed recovery of adrenal function after adrenalectomy in Cushing syndrome: A case report	Intern Med. 2021 Mar 15;60(6):901-903.	Case report	33055479
16	Kobayashi S, Tanigawa J, Kondo H et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Endocrinological Features of Hartsfield Syndrome in an Adult Patient With a Novel Mutation of FGFR1.	J Endocr Soc. 2020 Apr 2;4(5):bvaa041.	Case report	32373773
17	Saiki A, Otsuki M, Tamada D et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Diabetes mellitus itself increases cardio-cerebrovascular risk and renal complications in primary aldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab. 2020 Jul 1;105(7):dgaal77	Original Article	32275055
18	Naoto Katakami, Kazuo Omori, Naohiro Taya, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Plasma metabolites associated with arterial stiffness in patients with type 2 diabetes	Cardiovascular Diabetology. 2020 Jun ; 11;19(1):75. (オンライン)	Original Article	32527273
19	Naoto Katakami, T Mita, M Takahara, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Baseline characteristics of patients with type 2 diabetes initiating second-line treatment in Japan	Diabetes Theraphy. 2020 Jul ; 11(7):1563-1578. (オンライン)	Original Article	32504219
20	Naoto Katakami, Tomoya Mita, Hidenori Yosii, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Tofogliflozin does not delay progression of carotid atherosclerosis in patients with type 2 diabetes: a prospective, randomized, open-label, parallel-group comparative study	Cardiovascular Diabetology. 2020 Jul ; 9;19(1):110. (オンライン)	Original Article	32646498
21	Naoto Katakami, Tomoya Mita, Hidenori Yosii, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Effect of Tofogliflozin on arterial stiffness in patients with type 2 diabetes: prespecified sub-analysis of the prospective, randomized, open-label, parallel-group comparative UTOPIA trial	Cardiovascular Diabetology. 2021 Jan ; 4;20(1)1:4 (オンライン)	Original Article	33397376
22	Mitsuyoshi Takahara, Osamu Iida, Yoshimitsu Soga, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Presentation Pattern of Lower Extremity Endovascular Intervention versus Percutaneous Coronary Intervention	J Atheroscler Thromb. 2020 Aug; 27 (8): 761-768	Original Article	31748468

23	Mitsuyoshi Takahara, Osamu Iida, Yoshimitsu Soga, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Heterogeneity of Age and Its Associated Features in Patients with Critical Limb Ischemia	Ann Vasc Dis. 2020 Sep; 13(3): 300-307	Original Article	33384734
24	Takahara, M. Fukuda, M. Matsuzawa, Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Effect of tasteless calorie-free gum chewing before meal on postprandial plasma glucose, insulin, glucagon, and gastrointestinal hormones in Japanese men without diagnosed glucose metabolism disorder: a pilot randomized crossover trial	Diabetol Int. 2020 Oct; 11(4): 394-402	Original Article	33088648
25	Mitsuyoshi Takahara, Yoshimitsu Soga, Masahiko Fujihara, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Inverse association of diabetes and dialysis with the severity of femoropopliteal lesions and chronic total occlusion: a cross-sectional study of 2056 cases	BMC Cardiovascular Disorders. 2020 Dec; 20: 514	Original Article	33297956
26	Mitsuyoshi Takahara, Osamu Iida, Yoshimitsu Soga, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Current and Past Obesity in Japanese Patients with Critical Limb Ischemia Undergoing Revascularization	J Atheroscler Thromb. 2021 Jan; 28(1):44-51	Original Article	32188794
27	Hiroyo Ninomiya, Naoto Katakami, Mitsuyoshi Takahara, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Psychosocial conditions and the progression of diabetic nephropathy in Japanese with type 2 diabetes mellitus	Diabetology International. 2021 Jan ; 12(3):336-341	Original Article	34150442
28	Hirota Watanabe, Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Glycemic control of people with diabetes over months after the 2018 North Osaka Earthquake	Diabetology International. 2020 May; ; 26:12(1):80-86	Original Article	33479583
29	Shiroyama T, Hirata H, Nagatomo I, et al.	呼吸器内科	Pulmonary metastases of lung adenocarcinoma mimicking COVID-19 pneumonia.	J Thorac Dis. 2020 Oct;12(10):6125-6126.	Original Article	33209447
30	Taro Koba, Yoshito Takeda, Ryohei Narumi, et al.	呼吸器内科	Proteomics of serum extracellular vesicles identifies a novel COPD biomarker, fibulin-3 from elastic fibres	ERJ Open Res . 2021 Mar 22;7(1):00658-2020.	Original Article	33778046
31	Takayuki Niitsu Takayuki Shiroyama Kotaro Miyake et al.	呼吸器内科	Combined small cell lung carcinoma harboring ALK rearrangement: A case report and literature review	Thorac Cancer . 2020 Dec;11(12):3625-3630.	Original Article	33103386
32	Yuya Shirai, Suguru Honda, Katsunori Ikari, et al.	呼吸器内科	Association of the RPA3-UMAD1 Locus with Interstitial Lung Diseases Complicated with Rheumatoid Arthritis in Japanese.	Ann Rheum Dis. 2020 Oct;79(10):1305-1309.	Others	32737115
33	Fukushima K, Kitada S, Komukai S, et al.	呼吸器内科	First line treatment selection modifies disease course and long-term clinical outcomes in Mycobacterium avium complex pulmonary disease.	Sci Rep . 2021 Jan 13;11(1):1178.	Original Article	33441977
34	Abe Y, Fukushima K, Hosono Y, et al.	呼吸器内科	Host immune response and novel diagnostic approach to ntm infections.	Int J Mol Sci . 2020 Jun 18;21(12):4351	Review	32570978

35	Fukushima K, Satoh T, Kida H, et al.	呼吸器内科	Revisiting cell death responses in fibrotic lung disease: Crosstalk between structured and non-structured cells.	Diagnostics (Basel) . 2020 Jul 21;10(7):504	Review	32708315
36	Fukushima K, Kitada S, Abe Y, et al.	呼吸器内科	Long-term treatment outcome of progressive mycobacterium avium complex pulmonary disease.	J Clin Med . 2020 May 2;9(5):1315.	Original Article	32370226
37	Fukushima K, Miki M, Matsumet al.oto Y,	呼吸器内科	The impact of adjuvant surgical treatment of nontuberculous mycobacterial pulmonary disease on prognosis and outcome	Respir Res . 2020 Jun 16;21(1):153.	Original Article	32546152
38	Yuko Abe , Kiyoharu Fukushima , Yuki Hosono et al.	呼吸器内科	Host Immune Response and Novel Diagnostic Approach to NTM Infections.	Int J Mol Sci. 2020 Jun 18;21(12):4351.	Review	3257097
39	Koba, Taro; Takeda, Yoshito; Narui; Shiromizu et al.	呼吸器内科	Proteomics of serum extracellular vesicles identifies a novel COPD biomarker, fibulin-3 from elastic fibres.	ERJ Open Res . 2021 Mar 22;7(1):00658-2020.	Original Article	33778046
40	Shirai Y, Honda S, Ikari K, et al.	呼吸器内科	Association of the RPA3-UMAD1 locus with interstitial lung diseases complicated with rheumatoid arthritis in Japanese.	Ann Rheum Dis . 2020 Oct;79(10):1305-1309.	Others	32737115
41	Koba T, Hirata H, Takeda Y, et al.	呼吸器内科	Unusual Intestinal Lesions of Generalized Lymphatic Anomaly.	Intern Med. 2020 May 15;59(10):1333-1334.	Original Article	32074576
42	Ogawa T, Okumura R, Nagano K et al.	免疫内科	Oral intake of silica nanoparticles exacerbates intestinal inflammation.	Biochem Biophys Res Commun. 2021 Jan 1;534:540-546.	Original Article	33239174
43	Yamaguchi Y, Maeda Y, Shibahara T et al.	免疫内科	Recovery from prolonged thrombocytopenia in patients with TAFRO syndrome: case series and literature review.	Mod Rheumatol Case Rep. 2020 Jul;4(2):302-309.	Original Article	33087016
44	Oguro E, Kato Y, Takamatsu H et al.	免疫内科	A case of SAPHO syndrome with the lesions limited to the skull.	Rheumatol Adv Pract. 2020 Jul 14;4(2):rkaa034.	Case report	32968707
45	Kuzuya K, Morita T, Kumanogoh A.	免疫内科	Efficacy of mycophenolate mofetil as a remission induction therapy in antineutrophil cytoplasmic antibody: associated vasculitis-a meta-analysis.	RMD Open. 2020 Apr;6(1):e001195.	Others	32371435
46	Fujii K, Tanaka S, Hasegawa T et al.	免疫内科	Tet DNA demethylase is required for plasma cell differentiation by controlling expression levels of IRF4.	Int Immunol. 2020 Sep 30;32(10):683-690.	Original Article	32583857

47	Ichii M, Hosen N.	血液・腫瘍内科	Current Understanding of Myelomatous Mesenchymal Stromal Cells Extended through Advances in Experimental Methods.	Cancers (Basel). 13(1):E25, 2020.	Review	33374627
48	Toda J, Ichii M, Oritani K et al.	血液・腫瘍内科	Signal-transducing adaptor protein-1 is required for maintenance of leukemic stem cells in CML.	Oncogene. 39(34): 5601-5615, 2020.	Original Article	32661325
49	Toda J, Maeda T, Akuta K et al.	血液・腫瘍内科	Limbic encephalitis with antibodies to N-methyl-D-aspartate (NMDA)-type glutamate receptor after allogeneic transplantation.	Int J Hematol 112(2): 254-257, 2020.	Case report	32200528
50	Nozaki K, Sugahara H, Ueda S et al.	血液・腫瘍内科	Pretreatment serum soluble interleukin-2 receptor level predicts survival in patients with newly diagnosed follicular lymphoma.	Leukemia and Lymphoma. 61(9): 2113-2121, 2020.	Others	32366194
51	Nozaki K, Yokota T, Itotagawa E et al.	血液・腫瘍内科	Whole-exome sequencing identified mutational profile of a case with T-cell chronic lymphocytic leukemia.	Clin Case Rep 8(11): 2251-2254, 2020.	Case report	33235770
52	Keiichi Nakata, Shigeo Fuji, Midori Koike et al.	血液・腫瘍内科	Successful treatment strategy in incorporating mogamulizumab and cord blood transplantation in aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma: a case report.	Blood cell therapy. 3(1):6-10, 2020.	Case report	不明
53	Kusakabe S, Fukushima K, Yokota T et al.	血液・腫瘍内科	Enterococcus: A predictor of ravaged microbiota and poor prognosis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant. 26(5): 1028-1033, 2020.	Original Article	32018061
54	Yasuhiro Nagate, Sachiko Ezoe, Jiro Fujita et al.	血液・腫瘍内科	Ectonucleotidase CD39 is highly expressed on ATLL cells and is responsible for their immunosuppressive function.	Leukemia . volume 35: 107-118, 2021	Original Article	32203145
55	Hirohiko Shibayama, Morio Matsumoto, Hiroshi Kosugi et al.	血液・腫瘍内科	Subcutaneous delivery of daratumumab in Japanese patients with relapsed/refractory multiple myeloma.	International Journal of Hematology. 113: 112-121, 2021	Original Article	32915384
56	Hideaki Saito, Michiko Ichii, JunToda et al.	血液・腫瘍内科	Graft-versus-host disease develops in mice transplanted with lymphocyte-depleted bone marrow cells from signal-transducing adaptor protein-2 transgenic mice.	Biochem Biophys Res Commun . 2021 Jan 22:537:118-124.	Original Article	33388414
57	Michiko Ichii, Kenji Oritani, Jun Toda	血液・腫瘍内科	Signal-transducing adaptor protein-2 delays recovery of B lineage lymphocytes during hematopoietic stress.	Haematologica . 2021 Feb 1:106(2):424-436	Original Article	31974192
58	Nakamaru R, Nakagami H, Rakugi H, et al	老年・高血圧内科	Future Directions of Therapeutic Vaccines for Chronic Diseases	Circ J . 2020 Oct 23;84(11):1895-1902.	Original Article	32908041

59	Nakamaru R, Nakagami H, Hayashi H, et al	老年・高血圧内科	A novel angiotensin II peptide vaccine without an adjuvant in mice.	J Hypertens. 2021 Jan;39(1):181-189.	Original Article	32667158
60	Yokoyama S, Kawai T, Yamamoto K,	老年・高血圧内科	RAGE ligands stimulate angiotensin II type I receptor (AT1) via RAGE/AT1 complex on the cell membrane	Sci Rep. 2021 Mar 11;11(1):5759.	Original Article	33707701
61	Morishita R, Shimamura M, Takeya Y, et al	老年・高血圧内科	Combined Analysis of Clinical Data on HGF Gene Therapy to Treat Critical Limb Ischemia in Japan	Curr Gene Ther. 2020;20(1):25-35.	Original Article	32416690
62	Keisuke Hagihara, Katsufumi Kajimoto, Satoshi Osaga et al.	漢方内科	Promising Effect of a New Ketogenic Diet Regimen in Patients with Advanced Cancer.	Nutrients. 2020 May;12(5):1473	Original Article	32438645
63	Kainuma S, Mitsuno M, Toda K, et al.	心臓血管外科	Surgical Ablation Concomitant with Non-mitral valve surgery for Persistent Atrial Fibrillation	Ann Thorac Surg. 2021 Feb 2:S0003-4975(21)00183-1.	Original Article	33545152
64	Kudo T, Kuratani T, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Total endovascular aortic repairs using branched devices for arch and thoracoabdominal aneurysms	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Jan;69(1):114-117.	Case report	32556902
65	Kawamura A, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	An evaluation of the long-term patency of the aortocoronary bypass graft anastomosed to a vascular prosthesis	Eur J Cardiothorac Surg. 2020 Oct 1;58(4):832-838.	Original Article	32968791
66	Kainuma S, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Restrictive mitral annuloplasty with or without coronary artery bypass grafting in ischemic mitral regurgitation	ESC Heart Fail. 2020 Aug;7(4):1560-1570.	Original Article	32400096
67	Handa K, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Surgical Results for Infective Endocarditis Complicated With Cardiogenic Shock	Circ J. 2020 May 25;84(6):926-934.	Others	32295976
68	Nakamura Y, Saito S, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Intraoperative hemoglobin level and primary graft dysfunction in adult heart transplantation	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Nov;68(11):1260-1269.	Original Article	32300940
69	Nakamura Y, Yoshioka D, Asanoi H, et al.	心臓血管外科	Effect of a reduced donor heart right ventricular distensibility on post-heart transplant haemodynamics	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2021 Jan 1;32(1):141-149.	Others	33232450
70	Handa K, Hata H, Toda K, et al.	心臓血管外科	Orthotopic heart transplantation with reconstruction of persistent left superior vena cava	Surg Case Rep. 2020 Apr 15;6(1):71.	Original Article	32297140

71	Tominaga Y, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Total percutaneous biventricular assist device implantation for fulminant myocarditis	J Artif Organs . 2021 Jun;24(2):254-257.	Case report	32748246
72	Inoue K, Kainuma S, Kashiwagi E, et al.	心臓血管外科	Post-sternotomy Internal Mammary Artery Pseudoaneurysm	JACC Cardiovasc Interv. 2021 Feb 22;14(4):e37-e38.	Original Article	33516689
73	Kudo T, Kuratani T, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Determining the Optimal Proximal Landing Zone for TEVAR in the Aortic Arch: Comparing the Occurrence of the Bird-Beak Phenomenon in Zone 0 vs Zones 1 and 2	J Endovasc Ther. 2020 Jun;27(3):368-376.	Original Article	32242769
74	Domae K, Miyagawa S, Toda K, et al.	心臓血管外科	New treatment strategy for severe heart failure: combination of ventricular assist device and regenerative therapy	J Artif Organs. 2021 Mar;24(1):1-5.	Review	32564158
75	Maeda K, Kuratani T, Pak K, et al.	心臓血管外科	Development of a new risk model for a prognostic prediction after transcatheter aortic valve replacement	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Jan;69(1):44-50.	Original Article	32656706
76	Suzuki K, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	The effect of adjunctive antibiotic oral therapy on the recurrence of infective endocarditis after valve surgeries	Semin Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Sep 23:S1043-0679(20)30303-8.	Original Article	32979481
77	Yoshioka D, Shimamura K, Sengoku K, et al.	心臓血管外科	Transapical Off-Pump Mitral Valve Repair With NeoChord Implantation - First 2 Cases in Japan	Circ J. 2020 Oct 23;84(11):2033.	Others	32968036
78	Miyake K, Nakamura T, Fujimura H, et al.	心臓血管外科	Efficacy of the Decalcification of Heavily Calcified Femoral Bifurcation Lesions Using a Cavitron Ultrasonic Surgical Aspirator	Ann Vasc Surg. 2020 Nov;69:274-284.	Original Article	32479872
79	Miyake K, Nakamura T, Fujimura H, et al.	心臓血管外科	Role of bypass with preoperatively diagnosed small caliber veins in chronic limb-threatening ischemia	Ann Vasc Surg. 2021 Feb 4:S0890-5096(21)00100-X.	Original Article	33549802
80	Matsumoto R, Shibuya T, Saijo F, et al.	心臓血管外科	Successful Repair of Superior Mesenteric Artery Aneurysm with Reconstruction of Branches	Ann Vasc Dis. 2020 Dec 25;13(4):450-453.	Original Article	33391570
81	Shintani Y, Funaki S, Ueno T, et al.	呼吸器外科	Emergency Surgical Resection of Primary Pulmonary Artery Sarcoma Without Blood Transfusion	Ann Thorac Surg. 2020 Nov;110(5):e395-e397.	Case report	32360387
82	Ose N, Y Takeuhi, Kitahara N, et al.	呼吸器外科	Analysis of pulmonary nodules caused by nontuberculous mycobacteriosis in 101 resected cases: Multi-center retrospective study	J Thorac Dis. 2021 Feb; 13(2): 977-985.	Original Article	33717570

83	Kanou T, Minami M, Wada N, et al.	呼吸器外科	Usefulness of a preoperative inflammatory marker as a predictor of asymptomatic acute rejection after lung transplantation: a Japanese single-institution study	J Thorac Dis. 2020 Sep; 12(9): 4754-4761.	Original Article	33145048
84	Yamato H, Funaki S, Shimamura K, et al.	呼吸器外科	Salvage surgery for stage IVa thymic carcinoma combined with aortic arch resection - case report	J Cardiothorac Surg . 2020 Oct 7;15(1):305.	Case report	33028405
85	Kanzaki R, Susaki Y, Takami K, et al.	呼吸器外科	Long-Term Outcomes of Pulmonary Metastasectomy for Uterine Malignancies: A Multi-institutional Study in the Current Era.	Ann Surg Oncol. 2020 Oct;27(10):3821-3828.	Others	32274663
86	Yamamoto Y, Kanzaki R, Ose N, et al.	呼吸器外科	Lung Cancer Surgery for Patients on Hemodialysis: A Decade of Experience at Multicenter Institutions.	Ann Thorac Surg. 2020 May;109(5):1558-1565.	Others	31962110
87	Fujiwara A, Funaki S, Fukui E, et al.	呼吸器外科	Effects of pirfenidone targeting the tumor microenvironment and tumor-stroma interaction as a novel treatment for non-small cell lung cancer	Sci Rep. 2020 Jul 2;10(1):10900.	Original Article	32616870
88	Takaomi Hagi, Yukinori Kurokawa, Tsuyoshi Takahashi, et al.	消化器外科	Molecular barcode sequencing for highly sensitive detection of circulating tumor DNA in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Oncology . 2020;98(4):222-229.	Original Article	31846968
89	Kei Yamamoto, Tomoki Makino, Eiichi Sato, et al.	消化器外科	Tumor-infiltrating M2 macrophage in pretreatment biopsy sample predicts response to chemotherapy and survival in esophageal cancer	Cancer Sci . 2020 Apr;111(4):1103-1112.	Original Article	31981293
90	Takahiko Nishigaki, Tsuyoshi Takahashi, Satoshi Serada, et al.	消化器外科	Anti-glypican-1 antibody-drug conjugate is a potential therapy against pancreatic cancer.	Br J Cancer . 2020 Apr;122(9):1333-1341.	Original Article	32152502
91	Shinji Tokuyama, Hidekazu Takahashi, Norikatsu Miyoshi, et al.	消化器外科	A rare case of pelvic bronchogenic cyst treated by laparoscopic surgery	Asian J Endosc Surg . 2020 Apr;13(2):227-230.	Original Article	30945471
92	Kiminori Yanagisawa, Masayasu Toratani, Ayumu Asai, et al.	消化器外科	Convolutional Neural Network Can Recognize Drug Resistance of Single Cancer Cells	Int J Mol Sci . 2020 Apr 30;21(9):3166	Original Article	32365822
93	Yuki Yokota, Takehiro Noda, Shogo Kobayashi, et al.	消化器外科	A case report of Fontan procedure-related hepatocellular carcinoma: pure laparoscopic approach by low and stable pneumoperitoneum	BMC Surg . 2020 Apr 21;20(1):80	Original Article	32316959
94	Atsunari Kawashima, Takayuki Kanazawa, Yujiro Kidani, et al.	消化器外科	Tumour grade significantly correlates with total dysfunction of tumour tissue-infiltrating lymphocytes in renal cell carcinoma	Sci Rep . 2020 Apr 10;10(1):6220.	Original Article	32277125

95	Shinya Kidogami, Tomohiro Iguchi, Kuniaki Sato, et al.	消化器外科	SF3B4 Plays an Oncogenic Role in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res . 2020 May;40(5):294-2946	Original Article	32366446
96	Tadayoshi Hashimoto, Tomoki Makino, Makoto Yamasaki, et al.	消化器外科	The pattern of residual tumor after neoadjuvant chemotherapy for locally advanced esophageal cancer and its clinical significance.	Ann Surg . 2020 May;271(5):875-884.	Original Article	30829694
97	Tadayoshi Hashimoto, Yukinori Kurokawa, Tsuyoshi Takahashi, et al.	消化器外科	What is the most useful body composition parameter for predicting toxicities of preoperative chemotherapy for gastric cancer?	Surg Today . 2020 May;50(5):509-515.	Original Article	31712913
98	Satoshi Nagaoka, Daisaku Yamada, Hidetoshi Eguchi, et al.	消化器外科	The blockade of interleukin-33 released by hepatectomy would be a promising treatment option for cholangiocarcinoma	Cancer Sci . 2021 Jan;112(1):347-358.	Original Article	33098728
99	Tadayoshi Hashimoto, Tomoki Makino, Makoto Yamasaki, et al.	消化器外科	The pattern of residual tumor after neoadjuvant chemotherapy for locally advanced esophageal cancer and its clinical significance.	Ann Surg . 2020 May;271(5):875-884.	Original Article	30829694
100	Makoto Yamasaki, Kotaro Yamashita, Takuro Saito, et al.	消化器外科	Tracheal resection and anterior mediastinal tracheostomy in the multidisciplinary treatment of esophageal cancer with tracheal invasion	Dis Esophagus . 2020 May 15;33(5):doz101.	Original Article	32055845
101	Hidetoshi Eguchi, Koichi Kawamoto, Masanori Tsujie, et al.	消化器外科	A prospective, multi-center phase I study of postoperative enoxaparin treatment in patients undergoing curative hepatobiliary-pancreatic surgery for malignancies.	Dig Surg . 2020;37(1):81-86.	Others	31185468
102	Atsuyo Ikeda, Takayuki Ogino, Hisako Kayama, et al.	消化器外科	Human Nkp44b Group 3 Innate Lymphoid Cells Associate with Tumor-Associated Tertiary Lymphoid Structures in Colorectal Cancer	Cancer Immunol Res . 2020 Jun;8(6):724-731.	Original Article	32229590
103	Kazuhiro Saso, Norikatsu Miyoshi, Shiki Fujino, et al.	消化器外科	Dipeptidyl Peptidase 9 Increases Chemoresistance and is an Indicator of Poor Prognosis in Colorectal Cancer	Ann Surg Oncol . 2020 Oct;27(11):4337-4347.	Original Article	32734369
104	Nobuyoshi Ohara, Hidekazu Takahashi, Shinsuke Katsuyama, et al.	消化器外科	Electrical Contraction of the Anal Sphincter for Intraoperative Visualization of Anal Function	Minim Invasive Ther Allied Technol . 2020 Jun 10;1-10.	Original Article	32520648
105	Kazuya Iwamoto, Hidekazu Takahashi, Daisuke Okuzaki, et al.	消化器外科	Syntenin-1 promotes colorectal cancer stem cell expansion and chemoresistance by regulating prostaglandin E2 receptor	Br J Cancer . 2020 Sep;123(6):955-964. 955-964	Original Article	32595209
106	Yuki Ushimaru, Yukinori Kurokawa, Tsuyoshi Takahashi, et al.	消化器外科	Is Laparoscopic Gastrectomy More Advantageous for Elderly Patients Than for Young Patients with Resectable Advanced Gastric Cancer?	World J Surg . 2020 Jul;44(7):2332-2339.	Original Article	32236729

107	Masaru Sasaki, Norikatsu Miyoshi, Shiki Fujino, et al.	消化器外科	The Geriatric Nutritional Risk Index predicts postoperative complications and prognosis in elderly patients with colorectal cancer after curative surgery	Sci Rep . 2020 Jul 1;10(1):10744.	Original Article	32612136
108	Yu Takeda, Shogo Kobayashi, Masatoshi Kitakaze, et al.	消化器外科	Immuno-Surgical Management of Pancreatic Cancer with Analysis of Cancer Exosomes	Cells . 2020 Jul 9;9(7):1645	Review	32659892
109	Yoshito Tomimaru, Nariaki Fukuchi, Shigekazu Yokoyama, et al.	消化器外科	Optimal timing of laparoscopic cholecystectomy after gallbladder drainage for acute cholecystitis: A multi-institutional retrospective study	J Hepatobiliary Pancreat Sci . 2020 Aug;27(8):451-460.	Others	32460406
110	Yuki Ushimaru, Atsushi Ohigawa, Kotaro Yamashita, et al.	消化器外科	Real-time ureteral identification with novel, versatile and inexpensive catheter	Surg Endosc . 2020 Aug;34(8):3669-3678.	Original Article	31907660
111	Shinya Urakawa, Makoto Yamasaki, Tomoki Makino, et al.	消化器外科	The impact of ICOS+ regulatory T cells and Helicobacter pylori infection on the prognosis of patients with gastric and colorectal cancer: potential prognostic benefit of pre-operative eradication therapy	Cancer Immunol Immunother . 2021 Feb;70(2):443-452.	Original Article	32803278
112	Zhe Jin, Shogo Kobayashi, Kunihito Gotoh, et al.	消化器外科	The Prognostic Impact of Leucine-Rich α -2-Glycoprotein-1 in Cholangiocarcinoma and Its Association With the IL-6/TGF- β 1 Axis	J Surg Res . 2020 Aug;252:147-155	Original Article	32278969
113	Hidekazu Takahashi, Takashi Takeda, Yujiro Nishizawa, et al.	消化器外科	Phase I Study of the Administration of Low-dose Perioperative Human Atrial Natriuretic Peptide in Patients With Resectable Colorectal Cancer	Anticancer Res . 2020 Sep;40(9):5301-5307.	Others	32878821
114	Takaomi Hagi, Yukinori Kurokawa, Ryohei Kawabata, et al.	消化器外科	Multicentre biomarker cohort study on the efficacy of nivolumab treatment for gastric cancer	Br J Cancer . 2020 Sep;123(6):965-972.	Others	32616848
115	Shohei Takaichi, Yoshifumi Iwagami, Shogo Kobayashi, et al.	消化器外科	Minimally Invasive Approach for Pancreatic Solid Pseudopapillary Neoplasm and Initially Undiagnosed Slowly Progressing Liver Tumor: A Case Report	Pancreas . 2020 Sep;49(8):e70-e72.	Case report	32833948
116	Yohei Nose, Yoshinori Kagawa, Taishi Hata, et al.	消化器外科	Neutropenia is an indicator of outcomes in metastatic colorectal cancer patients treated with FTD/TPI plus bevacizumab: a retrospective study	Cancer Chemother Pharmacol . 2020 Sep;86(3):427-433.	Original Article	32816155
117	Taigo Kato, Eisuke Tomiyama, Yoko Koh, et al.	消化器外科	A Potential Mechanism of Anticancer Immune Response Coincident With Immune-related Adverse Events in Patients With Renal Cell Carcinoma	Anticancer Res . 2020 Sep;40(9):4875-4883.	Original Article	32878775
118	Yukinori Kurokawa, Kotaro Yamashita, Ryohei Kawabata, et al.	消化器外科	Prognostic value of postoperative C-reactive protein elevation versus complication occurrence: a multicenter validation study	Gastric Cancer . 2020 Sep;23(5):937-943.	Others	32314097

119	Tomoki Makino, Takeo Hara, Yuichiro Doki	消化器外科	ASO Author Reflections: Peritumoral Lymphatic Vessels as a Predictor of Response to Chemotherapy and Survival in Esophageal Cancer.	Ann Surg Oncol . 2020 Oct;27(10):3770-3771.	Original Article	32314160
120	Mitsuru Kinoshita, Shogo Kobayashi, Kunihito Gotoh, et al.	消化器外科	Heterogeneity of Treg/Th17 According to Cancer Progression and Modification in Biliary Tract Cancers via Self-Producing Cytokines	Dig Dis Sci . 2020 Oct;65(10):2937-2948	Original Article	31853779
121	Takeo Hara, Tomoki Makino, Makoto Yamasaki, et al.	消化器外科	Peritumoral Lymphatic Vessels Associated with Resistance to Neoadjuvant Chemotherapy and Unfavorable Survival in Esophageal Cancer.	Ann Surg Oncol . 2020 Oct;27(10):3762-3769.	Original Article	32328984
122	Shinsuke Katsuyama, Yasuhiro Miyazaki, Satoru Kobayashi, et al.	消化器外科	Novel, infection-free, advanced hemostatic material: physical properties and preclinical efficacy.	Minim Invasive Ther Allied Technol . 2020 Oct;29(5):283-292.	Original Article	31187670
123	Masaru Sasaki, Norikatsu Miyoshi, Shiki Fujino, et al.	消化器外科	The meiosis-specific cohesin component stromal antigen 3 promotes cell migration and chemotherapeutic resistance in colorectal cancer	Cancer Lett . 2021 Jan 28;497:112-122.	Original Article	33039558
124	Yoshifumi Watanabe, Tsunekazu Mizushima, Shiki Fujino, et al.	消化器外科	Long-term outcome of patients with Crohn's disease on home parenteral nutrition	Nutrition . 2020 Oct;78:110903.	Original Article	32736298
125	Kiminori Yanagisawa, Masamitsu Konno, Hao Liu, et al.	消化器外科	A Four-Dimensional Organoid System to Visualize Cancer Cell Vascular Invasion	Biology (Basel) . 2020 Oct 27;9(11):361.	Original Article	33120912
126	Yuki Ushimaru, Kiyokazu Nakajima, Masashi Hirota, et al.	消化器外科	The endoluminal pressures during flexible gastrointestinal endoscopy.	Sci Rep . 2020 Oct 23;10(1):18169.	Others	33097772
127	Momoko Ichihara, Masataka Ikeda, Mamoru Uemura, et al.	消化器外科	Feasibility and safety of laparoscopic lateral lymph node dissection for locally recurrent rectal cancer and risk factors for re-recurrence.	Asian J Endosc Surg . 2020 Oct;13(4):489-497.	Original Article	31854108
128	Ryugo Teranishi, Norikatsu Miyoshi, Kansuke Kido, et al.	消化器外科	Single-incision laparoscopic colectomy for ascending colon tumor with relapsing polychondritis.	Asian J Endosc Surg . 2020 Oct;13(4):569-573.	Case report	32012468
129	Tomoki Makino, Takaomi Hagi, Yuichiro Doki	消化器外科	Response to Comment on: "Pathological Regression of Lymph Nodes Better Predicts Long-Term Survival in Esophageal Cancer Patients Undergoing Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgery".	Ann Surg . 2020 Nov 17. doi: 10.	Original Article	33214452
130	Hidetoshi Eguchi, Yoshifumi Iwagami, Katsunori Matsushita, et al.	消化器外科	Randomized clinical trial of pancreaticogastrostomy versus pancreaticojejunostomy regarding incidence of delayed gastric emptying after pancreaticoduodenectomy	Langenbecks Arch Surg . 2020 Nov;405(7):921-928.	Original Article	32901299

131	Shiki Fujino, Norikatsu Miyoshi, Masayuki Ohue, et al	消化器外科	A new fat-dissociation method to detect lymph nodes in colorectal cancer: a prospective randomized study	ci Rep . 2020 Nov 19;10(1):20205.	Others	33214579
132	Shogo Kobayashi, Hiroshi Wada, Akira Tomokuni, et al.	消化器外科	Invasion category-oriented lymph node metastases of cholangiocarcinoma and the prognostic impact	Langenbecks Arch Surg . 2020 Nov;405(7):989-998	Original Article	32812064
133	Ryohei Yukimoto, Shiki Fujino, Norikatsu Miyoshi, et al.	消化器外科	A case report of anal canal cancer with pagetoid spread requiring differential diagnosis	Int J Surg Case Rep . 2020;75:198-202	Case report	32961459
134	Shuko Iwatani, Shinichiro Shinzaki, Takahiro Amano, et al.	消化器外科	Oligosaccharide-dependent anti-inflammatory role of galectin-1 for macrophages in ulcerative colitis	J Gastroenterol Hepatol . 2020 Dec;35(12):2158-2169	Original Article	32424849
135	Tadafumi Asaoka, Shogo Kobayashi, Takehiko Hanaki, et al.	消化器外科	Clinical significance of preoperative CA19-9 and lymph node metastasis in intrahepatic cholangiocarcinoma.	Surg Today . 2020 Oct;50(10):1176-1186.	Original Article	32221659
136	Miya Haruna, Michinari Hirata, Kota Iwahori, et al.	消化器外科	Docetaxel Upregulates HMGB1 Levels in Non-small Cell Lung Cancer.	Biol Pharm Bull . 2020;43(3):399-403.	Original Article	32115500
137	Satoshi Nagaoka, Daisaku Yamada, Hidetoshi Eguchi, et al	消化器外科	The blockade of interleukin 33 released by hepatectomy would be a promising treatment option for cholangiocarcinoma	Cancer Sci . 2021 Jan;112(1):347-358.	Original Article	33098728
138	Tomo Ishida, Tsuyoshi Takahashi, Yasuhiro Miyazaki, et al	消化器外科	Laparoscopic gastrectomy for heart failure patients with left ventricular assist devices.	Asian J Endosc Surg . 2021 Jan;14(1):81-84.	Case report	32567244
139	Yoshiki Taniguchi, Yukinori Kurokawa, Tsuyoshi Takahashi, et al.	消化器外科	Impacts of Preoperative Psoas Muscle Mass and Visceral Fat Area on Postoperative Short- and Long-Term Outcomes in Patients with Gastric Cancer.	World J Surg . 2021 Mar;45(3):815-821	Original Article	33179125
140	Masaru Sasaki, Tsuyoshi Takahashi, Soichiro Funaki, et al.	消化器外科	A case of diaphragmatic hernia incarceration after a heart transplant operation	Asian J Endosc Surg . 2021 Jan;14(1):116-119.	Case report	32452156
141	Tetsuhiro Yoshinami, Naofumi Kagara, Daisuke Motooka, et al.	乳腺・内分泌外科	Detection of ctDNA with Personalized Molecular Barcode NGS and Its Clinical Significance in Patients with Early Breast Cancer	Translational Oncology 2020 Aug 13;8:100787	Original Article	32473569
142	Masafumi Shimoda, Seung Jin Kim, Yukiko Tokuda, et al.	乳腺・内分泌外科	Effect of Computer-aided Detection System Use on the Duration of MRI-guided Biopsy of the Breast	Anticancer Resarch 2020 Nov 40;11:6437-6441	Original Article	33109582

143	Tetsuhiro Yoshinami, Kei Koizumi, Shigenori E Nagai, et al.	乳腺・内分泌外科	Dose-dense adjuvant chemotherapy: a systematic review and meta-analysis of the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline, 2018 edition	Breast Cancer 2020 May 27;3:334-339	Others	31916188
144	Okuyama H, Saka R, Takama Y, et al.	小児外科	Thoracoscopic repair of esophageal atresia	Surg Today . 2020 Sep;50(9):966-973.	Original Article	31612332
145	Okuyama H, Tsukada R, Tazuke Y, et al.	小児外科	Thoracoscopic Costal Cartilage Excision Combined with the Nuss Procedure for Patients with Asymmetrical Pectus Excavatum	J Laparoendosc Adv Surg Tech A . 2021 Jan;31(1):95-99	Original Article	33227219
146	Lo PC, Eguchi H, Sakai R, et al.	小児外科	Reactions to Porcine Cells With or Without β 4GalNT2	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1916-1918.	Original Article	32482451
147	Saka R, Tazuke Y, Ueno T, et al.	小児外科	Laparoscopy-Assisted Transscrotal Orchidopexy for Palpable Undescended Testis: Initial Results	J Laparoendosc Adv Surg Tech A . 2020 Oct;30(10):1131-1136.	Original Article	32746698
148	Saka R, Sakai T, Kanaya T, et al.	小児外科	Thoracoscopic repair of diaphragmatic hernia following ventricular assist device implantation	Surg Case Rep . 2020 Jul 11;6(1):170.	Original Article	32654033
149	Saka R, Tazuke Y, Ueno T, et al.	小児外科	Does the "Endoscopic Surgical Skill Qualification System" Reduce Serious Intraoperative Complications in the Field of Pediatric Surgery?	J Laparoendosc Adv Surg Tech A . 2020 Dec;30(12):1282-1285.	Others	32856991
150	Matsuura R, Tazuke Y, Ueno T, et al.	小児外科	Can plain chest X-ray replace computed tomography for the follow-up of children who have undergone the Nuss procedure?	Surg Today . 2020 Oct;50(10):1249-1254.	Original Article	32458233
151	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	Safety and Efficacy of Everolimus Rescue Treatment After Pediatric Living Donor Liver Transplantation.	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1829-1832.	Original Article	32571711
152	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	Serum Trough Concentration and Effects of Mycophenolate Mofetil Based on Pathologic Findings in Infants After Liver Transplantation.	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1855-1857	Original Article	32571709
153	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	Beta-D-Glucan Levels With Use of an Anti-adhesion Barrier Film in Pediatric Living Donor Liver Transplantation.	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1818-1820	Original Article	32571708
154	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	One Year of Preemptive Valganciclovir Administration in Children After Liver Transplantation.	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1852-1854.	Others	32571698

155	Masahata K, Ichikawa C, Makino K, et al.	小兒外科	Long-term functional outcome of sacrococcygeal teratoma after resection in neonates and infants: a single-center experience.	Pediatr Surg Int . 2020 Nov;36(11):1327-1332.	Original Article	32990839
156	Masahata K, Usui N, Nagata K, Terui K, et al.	小兒外科	Risk factors for pneumothorax associated with isolated congenital diaphragmatic hernia: results of a Japanese multicenter study.	Pediatr Surg Int . 2020 Jun;36(6):669-677.	Others	32346849
157	Masahata K, Ichikawa C, Higuchi K, et al.	小兒外科	A Rare Case of Immature Sacrococcygeal Teratoma With Lymph Node Metastasis in a Neonate	J Pediatr Hematol Oncol . 2020 Dec 14.	Original Article	33323883
158	Eguchi H, Maeda A, Matsuura R, et al.	小兒外科	Human CD200 suppresses the HL-60 mediated xenocytotoxicity.	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1910-1912.	Original Article	32444126
159	Noguchi Y, Maeda A, Wang HT, et al.	小兒外科	Human CD31 on swine endothelial cells induces SHP-1 phosphorylation in macrophages.	Transplant Proc . Jul-Aug 2020;52(6):1913-1915.	Original Article	32402461
160	Maeda A, Eguchi H, Nakahata K, et al.	小兒外科	The strategy for suppression of macrophage-mediated rejection in xenotransplantation.	Transplantation . 2020 Apr;104(4):675-681	Review	31634326
161	Ohshima K, Morii E.	病理診断科	Metabolic Reprogramming of Cancer Cells during Tumor Progression and Metastasis	Metabolites. 2021 Jan 2;11(1):28.	Review	33401771
162	Luo W, Tahara S, Kawasaki K, et al	病理診断科	The expression of trefoil factor 3 is related to histologic subtypes and invasiveness in lung adenocarcinoma	Oncol Lett. 2021 Jan;21(1):63.	Original Article	33281974
163	Tone M, Tahara S, Nojima S, et al	病理診断科	HTR3A is correlated with unfavorable histology and promotes proliferation through ERK phosphorylation in lung adenocarcinoma	Cancer Sci. 2020 Oct;111(10):3953-3961.	Original Article	32736413
164	Matsui T, Tamoto R, Iwasa A, et al	病理診断科	Nonlinear Optics with Near-Infrared Excitation Enable Real-Time Quantitative Diagnosis of Human Cervical Cancers	Cancer Res. 2020 Sep 1;80(17):3745-3754.	Original Article	32718995
165	Hori Y, Hirose K, Aramaki-Hattori N, et al	病理診断科	Fibro-adipose vascular anomaly (FAVA): three case reports with an emphasis on the mammalian target of rapamycin (mTOR) pathway	Diagn Pathol. 2020 Jul 25;15(1):98.	Case report	32711543
166	Kawasaki K, Nojima S, Hijiki S, et al	病理診断科	FAM111B enhances proliferation of KRAS-driven lung adenocarcinoma by degrading p16	Cancer Sci. 2020 Jul;111(7):2635-2646.	Original Article	32418298

167	Hori Y, Ozeki M, Hirose K, et al	病理診断科	Analysis of mTOR pathway expression in lymphatic malformation and related diseases	Pathol Int. 2020 Jun;70(6):323-329.	Original Article	32067331
168	Tahara S, Kohara M, Honma K, et al	病理診断科	Detection of synovial sarcoma with an atypical fusion transcript by using SS18-SSX and SSX antibodies	Pathol Int. 2020 Sep;70(9):689-691.	Case report	32564448
169	Kazuichi Maruyama, Kazuhito Yoneda, Sunao Sugita et al.	眼科	CTLA-2 Alpha Is a Potent Inhibitor of Angiogenesis in Murine Ocular Tissue	Antioxidants (Basel) . 2021 Mar 15;10(3):456.	Original Article	33804126
170	Kaori Sayanagi, Chikako Hara, Yoko Fukushima et al.	眼科	Flow pattern and perforating vessels in three different phases of myopic choroidal neovascularization seen by swept-source optical coherence tomography angiography	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2021 Sep;259(9):2615-2624.	Original Article	33687562
171	Takeshi Morimoto, Takashi Fujikado, Hiroyuki Kanda et al.	眼科	Testing of Newly Developed Wide-Field Dual-Array Suprachoroidal-Transretinal Stimulation Prosthesis in Dogs	Transl Vis Sci Technol . 2021 Mar 1;10(3):13.	Original Article	34003947
172	Yuichi Yasukura, Taku Wakabayashi, Hirokazu Sakaguchi et al.	眼科	Simultaneous bilateral choroidal neovascularization associated with Staphylococcus aureus infective endocarditis: A case report	Am J Ophthalmol Case Rep . 2021 Feb 18;22:101037.	Case report	33681530
173	Rumi Kawashima, Kenji Matsushita, Ryo Kawasaki et al.	眼科	Efficacy and safety of 5-fluorouracil in infrared monitor guided bleb revision	BMC Ophthalmol . 2021 Feb 8;21(1):75.	Original Article	33557751
174	Jun Ito, Chikako Hara, Kohji Nishida et al.	眼科	Structural En Face OCT Angiography Image of Avulsed Retinal Vessels and Vitreal Neovascularization	Ophthalmol Retina . 2020 Dec;4(12):1157.	Original Article	33279009
175	Santaro Noguchi, Koichi Baba, Naoyuki Maeda et al.	眼科	Comparison of semicircular and bent tips regarding regional differences in oscillation amplitude under various torsional power settings	J Cataract Refract Surg . 2020 Oct;46(10):1381-1386.	Original Article	33060473
176	Yukiko Nagahara, Motokazu Tsujikawa, Ryota Koto et al.	眼科	Corneal Opacity Induced by Light in a Mouse Model of Gelatinous Drop-Like Corneal Dystrophy	Am J Pathol . 2020 Dec;190(12):2330-2342.	Original Article	33011110
177	Kanako Nampei, Yoshinori Oie, Shoko Kiritoshi et al.	眼科	Comparison of ocular surface squamous neoplasia and pterygium using anterior segment optical coherence tomography angiography	Am J Ophthalmol Case Rep . 2020 Aug 27;20:100902.	Case report	32995664
178	Shigeru Sato, Takeshi Morimoto, Sayaka Tanaka et al.	眼科	Novel mutation identified in Leber congenital amaurosis - a case report	BMC Ophthalmol . 2020 Jul 31;20(1):313.	Case report	32736544

179	Kenji Matsushita, Rumi Kawashima, Koji Uesugi et al.	眼科	Assessment of a self-assembling peptide gel, SPG-178, in providing a clear operative field for trabeculectomy surgery for glaucoma in an animal model	Sci Rep . 2020 Jul 9;10(1):11326.	Original Article	32647319
180	Shinichi Usui, Yasushi Ikuno, Tomoko Asai et al.	眼科	Effect of peripapillary tilt direction and magnitude on central visual field defects in primary open-angle glaucoma with high myopia	Jpn J Ophthalmol . 2020 Jul;64(4):414-422.	Original Article	32572718
181	Yoshiko Hashikawa, Ryuhei Hayashi, Masaru Tajima et al.	眼科	Generation of knockout rabbits with X-linked severe combined immunodeficiency (X-SCID) using CRISPR/Cas9	Sci Rep . 2020 Jun 19;10(1):9957.	Original Article	32561775
182	Shimpei Komoto 1, Yoshinori Oie 1, Satoshi Kawasaki et al.	眼科	Quantitative Analysis of the Association Between Follow-Up Duration and Severity of Limbal Stem Cell Deficiency or Visual Acuity in Aniridia	Invest Ophthalmol Vis Sci . 2020 Jun 3;61(6):57.	Original Article	32589199
183	Nobuhiko Shiraki, Taku Wakabayashi, Yasushi Ikuno et al.	眼科	Fovea-Sparing versus Standard Internal Limiting Membrane Peeling for Myopic Traction Maculopathy: A Study of 102 Consecutive Cases	Ophthalmol Retina . 2020 Dec;4(12):1170-1180.	Original Article	32470651
184	Kenji Matsushita, Rumi Kawashima, Kohji Nishida et al.	眼科	Development of an Infrared Monitor-Guided Bleb Revision Procedure	Case Rep Ophthalmol . 2020 Jun 25;11(2):234-241.	Case report	32774286
185	So Goto, Naoyuki Maeda, Toru Noda et al.	眼科	Change in optical axial length after cataract surgery: segmental method vs composite method	J Cataract Refract Surg . 2020 May;46(5):710-715.	Original Article	32358265
186	Shinya Watanabe, Yoshinori Oie, Atsuya Miki et al.	眼科	Correlation Between Angle Parameters and Central Corneal Thickness in Fuchs Endothelial Corneal Dystrophy	Cornea . 2020 May;39(5):540-545.	Original Article	31842041
187	Ayumi Matoba, Yoshinori Oie, Honami Tanibuchi et al.	眼科	Anterior segment optical coherence tomography and in vivo confocal microscopy in cases of mucopolysaccharidosis	Am J Ophthalmol Case Rep . 2020 Apr 30;19:100728.	Case report	32405572
188	Yoko Fukushima, Koichi Nishiyama, Hiroshi Kataoka et al.	眼科	RhoJ integrates attractive and repulsive cues in directional migration of endothelial cells	EMBO J . 2020 Jun 17;39(12):e102930.	Original Article	32347571
189	Satoko Araki, Shizuka Koh, Daijiro Kabata et al.	眼科	Effect of long-term rigid gas-permeable contact lens wear on keratoconus progression	Br J Ophthalmol . 2021 Feb;105(2):186-190.	Original Article	32317253
190	Shizuka Koh, Ryota Inoue, Shinnosuke Sato et al.	眼科	Quantification of accommodative response and visual performance in non-presbyopes wearing low-add contact lenses	Cont Lens Anterior Eye . 2020 Jun;43(3):226-231.	Original Article	31327577

191	Umatani M, Ogawa M, Hosokawa K, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Feasibility of Gastroesophageal Manometry for Continuously Evaluating the Degree of Expiratory Effort During Successful Crescendo Phonation	J Voice. 2021 Mar 8;S0892-1997(21)00056-4.	Original Article	33707030
192	Kitamura K, Nimura K, Ito R, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Evaluation of HPV16 E7 expression in head and neck carcinoma cell lines and clinical specimens.	Sci Rep. 2020 Dec 17; 10(1):22138	Original Article	33335126
193	Hosokawa K, Iwahashi T, Iwahashi M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Significant Influence of Hoarseness Levels in Connected Speech on the Voice-Related Disability Evaluated Using Voice Handicap Index-10.	J Voice. 2020 Dec 26;S0892-1997(20)30439-2.	Original Article	33376022
194	Umeda N, Hayama M, Nakamura A, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	An Unusual Case of Maxillary Sinus Cholesterol Granuloma Showing FDG Uptake on PET/CT.	Clin Nucl Med. 2021 Feb 1;46(2):e131-e132.	Case report	33031237
195	Kishikawa T, Maeda Y, Nii T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Increased levels of plasma nucleotides in patients with rheumatoid arthritis.	Int Immunol. 2021 Jan 28;33(2):119-124.	Original Article	32866240
196	Kishikawa T, Ogawa K, Motooka D, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A Metagenome-Wide Association Study of Gut Microbiome in Patients With Multiple Sclerosis Revealed Novel Disease Pathology.	Front Cell Infect Microbiol. 2020 Dec 11;10:585973.	Original Article	33363050
197	Adachi K, Maeda Y, Hayama M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Skull Base Metastasis of Breast Cancer With Oculomotor and Trochlear Nerve Palsy.	Ear Nose Throat J. 2020 Oct 9;145561320963676.	Case report	33035131
198	Tanaka H, Takemoto N, Horie M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Circulating tumor HPV DNA complements PET-CT in guiding management after radiotherapy in HPV-related squamous cell carcinoma of the head and neck.	Int J Cancer. 2021 Feb 15;148(4):995-1005.	Original Article	32895945
199	Maeda Y, Takeda K, Hayama M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Experience with online lectures about endoscopic sinus surgery using a video conferencing app.	Auris Nasus Larynx. 2020 Dec;47(6):1083-1085.	Letter	32792117
200	Tsuruta Y, Maeda Y, Kitaguchi Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A Case of Endonasal Endoscopic Surgery for Intraorbital Metastasis of Gastric Ring Cell Carcinoma.	Ear Nose Throat J. 2020 Jul 22;145561320943372.	Case report	32697105
201	Umatani M, Ogawa M, Iwahashi T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Feasibility of a Neck-Surface Accelerometer for Estimating the Amount of Acoustic Output During Phonation Regardless of the Difference in the Mouth Configuration.	J Voice. 2020 Jul 9;S0892-1997(20)30222-8.	Original Article	32654866
202	Cho H, Kishikawa T, Tokita Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prevalence of human papillomavirus in oral gargles and tonsillar washings.	Oral Oncol. 2020 Jun;105:104669.	Original Article	32259682

203	Nakahara E, Uemura K, Ando W, Hamada H, Takao M, Sugano N.	整形外科	Effect of a modular neck hip prosthesis on anteversion and hip rotation in total hip arthroplasty for developmental dysplasia of the hip.	J Artif Organs. 2020 Sep;23(3):255-261.	Original Article	32124092
204	Takashima K, Sakai T, Amano S, Hamada H, Ando W, Takao M, Hamasaki T, Nakamura N, Sugano N.	整形外科	Does a computed tomography-based navigation system reduce the risk of dislocation after total hip arthroplasty in patients with osteonecrosis of the femoral head? A propensity score analysis.	J Artif Organs. 2020 Sep;23(3):247-254.	Original Article	32072330
205	Sugano N, Ando W, Fukushima W.	整形外科	Cluster of SARS-CoV-2 infections linked to music clubs in Osaka, Japan: asymptotically infected persons can transmit the virus as soon as 2 days after infection.	J Infect Dis. 2020 Oct 13;222(10):1635-1640.	Original Article	32840606
206	Hamada H, Takao M, Ando W, Sugano N.	整形外科	Incidence and determinants of antelexion impairment after rotational acetabular osteotomy.	J Orthop Res. 2020 Aug;38(8):1787-1792.	Original Article	31989697
207	Takashima K, Nakahara I, Uemura K, Hamada H, Ando W, Takao M, Sugano N.	整形外科	Clinical outcomes of proximal femoral fractures treated with a novel carbon fiber-reinforced polyetheretherketone intramedullary nail.	Injury. 2020 Mar;51(3):678-682.	Others	31959356
208	Takenaka S, Kashii M, Iwasaki M, et al.	整形外科	Risk factor analysis of surgery-related complications in primary cervical spine surgery for degenerative diseases using a surgeon-maintained database.	Bone Joint J. 2021 Jan;103-B(1):157-163.	Others	33380205
209	Makino T, Takenaka S, Sakai Y, et al.	整形外科	Comparison of Short-Term Radiographical and Clinical Outcomes After Posterior Lumbar Interbody Fusion With a 3D Porous Titanium Alloy Cage and a Titanium-Coated PEEK Cage	Global Spine J. 2020 Nov 18:2192568220972334.	Original Article	33203254
210	Sakai Y, Takenaka S, Makino T, et al.	整形外科	Postoperative T1 tilt is a risk factor for postoperative distal adding-on in Lenke type 1 adolescent idiopathic scoliosis: A preliminary report.	Medicine (Baltimore). 2020 May 22;99(21):e19983.	Others	32481263
211	Makino T, Takenaka S, Sakai Y, et al.	整形外科	Factors related to length of hospital stay after two-stage corrective surgery for adult spinal deformity in elderly Japanese	J Orthop Sci. 2021 Jan;26(1):123-127.	Original Article	32220467
212	Takenaka S, Kan S, Seymour B, Makino T, et al.	整形外科	Resting-state Amplitude of Low-frequency Fluctuation is a Potentially Useful Prognostic Functional Biomarker in Cervical Myelopathy	Clin Orthop Relat Res. 2020 Jul;478(7):1667-1680.	Original Article	32011371
213	Katsuda K, Arase N, Nakagawa Y, et al.	皮膚科	Case of granuloma annulare after using tocilizumab.	J Dermatol • 2020 Apr;47(4):e117-e119.	Case report	32011748
214	Arase N, Wataya-Kaneda M, Murota H, et al.	皮膚科	Genotype and phenotype analysis of patients with pediatric cutaneous mastocytosis, especially wild-type KIT patients.	J Dermatol • 2020 Apr;47(4):426-429.	Original Article	32077120

215	Inoue E, Arase N, Hanaoka Y, et al.	皮膚科	Beneficial effect of PDE4 inhibitor in the patient with Pityriasis rubra pilaris type V having novel CARD14 mutations.	Dermatol Ther • 2021 Jan;34(1):e14714.	Case report	33368948
216	Kume M, Kiyohara E, Aoyama R, et al	皮膚科	Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma with rapid liver infiltration after spontaneous resolution of the primary lesion	J Dermatol. 2020 May; 47(5) e190-e191 (オンライン)	Case report	32141106
217	Kume M, Nakagawa Y, Kiyohara E, et al	皮膚科	A case of zonisamide-induced toxic epidermal necrolysis with acute respiratory failure	Allergol Int; 2020 Oct; 69(4) 642-644	Case report	32439282
218	Kume M, Kiyohara E, Matsumura Y, et al	皮膚科	Ganglioside GD3 May Suppress the Functional Activities of Benign Skin T Cells in Cutaneous T-Cell Lymphoma	Front Immunol; 2021 Mar; 12 651048 (オンライン)	Original Article	33859643
219	Kotobuki Y, Tonomura K, Fujimoto M	皮膚科	Transcriptional intermediary factor 1 (TIF1) and anti-TIF1γ antibody-positive dermatomyositis.	Immunol Med • 2021 Mar;44(1):23-29.	Original Article	32649853
220	Tashima H, Tomita K, Kurita , et al.	形成外科	Efficacy of Low Power, Pure Cut Mode of Monopolar Electrosurgery and Quilting Sutures for Preventing Seroma Formation After Latissimus Dorsi Myocutaneous Flap Harvest.	Ann Plast Surg. 2021 Mar 1;86(3):265-267	Original Article	33555680
221	Maitani K, Tomita K, Tashima H, et al.	形成外科	Successful Salvage of Pedicled Latissimus Dorsi Flap after Venous Thrombosis by Selective Thrombolytic Therapy.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2020 Dec 17;8(12):e3299 (オンライン)	Case report	33425609
222	Otani N, Tashima H, Tomita K, et al.	形成外科	Latissimus Dorsi-lumbar Artery Perforator Chimeric Flap with Intra-flap Crossover Anastomosis for Breast Reconstruction.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2020 Nov 23;8(11):e3222. (オンライン)	Original Article	33299696
223	Nomori M, Tomita K, Taminato M, et al.	形成外科	Salvage of Mastectomy Flap Necrosis by Skin Graft Harvested from Contralateral Breast.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2020 Jul 24;8(7):e3022. (オンライン)	Original Article	32802689
224	Tomita K, Taminato M, Nomori M, et al.	形成外科	A Simple and Scarless Method for Inframammary Fold Correction Using a Barbed Suture.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2020 Jun 16;8(6):e2930. (オンライン)	Original Article	32766074
225	Gajanan S. Revankar, Noriaki Hattori, Yuta Kajiyama, et al	神経内科・脳卒中科	Ocular fixations and presaccadic potentials to explain pareidolias in Parkinson' s disease.	Brain Commun . 2020 Jun 4;2(1):fcaa073.	Original Article	32954309
226	Nagano S, Jinno J, Abdelhamid RF, et al	神経内科・脳卒中科	TDP-43 transports ribosomal protein mRNA to regulate axonal local translation in neuronal axons.	Acta Neuropathologica. 2020 Nov;140(5):695-713.	Original Article	32803350

227	Shimizu M, Okuno T, Kinoshita M, et al	神経内科・脳卒中科	Mitochondrial DNA enhance innate immune responses in neuromyelitis optica by monocyte recruitment and activation.	Sci Rep . 2020 Aug 6;10(1):13274.	Original Article	32764561
228	Ikenaka K, Ishigaki S, Iguchi Y, et al	神経内科・脳卒中科	Characteristic Features of FUS Inclusions in Spinal Motor Neurons of Sporadic Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Journal of Neuropathology and Experimental Neurology. 2020 Apr 1;79(4):370-377	Original Article	32142134
229	Todo K, Iwata T, Doijiri R,	神経内科・脳卒中科	Frequent Premature Atrial Contractions in Cryptogenic Stroke Predict Atrial Fibrillation Detection with Insertable Cardiac Monitoring.	Cerebrovascular Diseases 2020;49(2):144-150.	Original Article	32023609
230	Hideshima M, Beck G, Yamadera M, et al	神経内科・脳卒中科	A clinicopathological study of ALS with L126S mutation in the SOD1 gene presenting with isolated inferior olivary hypertrophy.	Neuropathology. 2020 Apr;40(2):191-195.	Case report	31863610
231	Kitano T, Sasaki T, Gon Y, et al	神経内科・脳卒中科	The Effect of Chemotherapy on Stroke Risk in Cancer Patients.	Thrombosis and Haemostasis. 2020 Apr;120(4):714-723.	Original Article	32289866
232	Aguirre C, Ikenaka K, Mochizuki H.	神経内科・脳卒中科	Two New Polymorphs in H50Q Determined by CryoEM Suggest a Mechanism That Explains Its Faster Kinetics In Vitro.	Movement Disorders. 2020 Jun;35(6):935-936.	Original Article	32469438
233	Higashida K, Okazaki S, Todo K, et al	神経内科・脳卒中科	A multicenter study of transient global amnesia for the better detection of magnetic resonance imaging abnormalities.	European Journal of Neurology. 2020 Nov;27(11):2117-2124.	Others	32558010
234	Kimura Y, Miwa K, Takasugi J, et al	神経内科・脳卒中科	Total small vessel disease score and functional outcomes following acute intracerebral hemorrhage.	Journal of Stroke and Cerebrovascular Disease. 2020 Aug;29(8):105001.	Original Article	32689644
235	Choong CJ, Okuno T, Ikenaka K, et al	神経内科・脳卒中科	Alternative mitochondrial quality control mediated by extracellular release.	Autophagy. 2020 Dec 10:1-13.	Original Article	33218272
236	Beck G, Zhang J, Fong K, et al	神経内科・脳卒中科	Striatal ΔFosB gene suppression inhibits the development of abnormal involuntary movements induced by L-Dopa in rats.	Gene Ther . 2021 Mar 11 (オンライン)	Original Article	33707771
237	Kanki H, Sasaki T, Matsumura S, et al	神経内科・脳卒中科	CREB Coactivator CRTC2 Plays a Crucial Role in Endothelial Function.	The Journal of Neuroscience. 2020 Dec 2;40(49):9533-9546.	Original Article	33127851
238	Jiang S, Baba K, Okuno T,	神経内科・脳卒中科	Go-sha-jinki-Gan Alleviates Inflammation in Neurological Disorders via p38-TNF Signaling in the Central Nervous System.	Neurotherapeutics. 2021 Jan;18(1):460-473.	Original Article	33083995

239	Beck G, Hori Y, Hayashi Y, et al	神経内科・脳卒中科	Detection of Phosphorylated Alpha-Synuclein in the Muscularis Propria of the Gastrointestinal Tract Is a Sensitive Predictor for Parkinson's Disease.	Parkinsons Disease. 2020 Sep 23;2020:4687530	Original Article	33029342
240	Kitano T, Sakaguchi M, Yamagami H, et al	神経内科・脳卒中科	Mechanical thrombectomy in acute ischemic stroke patients with left ventricular assist device.	Journal of Neurological Science. 2020 Nov 15;418:117142.	Original Article	32977225
241	Mochizuki H, Hattori N, Hasegawa K, et al	神経内科・脳卒中科	Long-term study of ropinirole patch in Parkinson's disease patients with/without basal l-dopa.	Parkinsonism and Related Disorders. 2021 Feb;83:105-109.	Original Article	33497892
242	Nakamori M, Mochizuki H.	神経内科・脳卒中科	Targeting Expanded Repeats by Small Molecules in Repeat Expansion Disorders.	Movement Disorders. 2021 Feb;36(2):298-305	Others	33284473
243	Kawabe Y, Mori K, Yamashita T. et al	神経科・精神科	The RNA exosome complex degrades expanded hexanucleotide repeat RNA in C9orf72 FTL/ALS.	EMBO J. 2020 Aug 24:e102700.	Original Article	32830871
244	Akamine S, Marutani N, Kanayama D. et al.	神経科・精神科	Renal Function is Associated with Blood Neurofilament Light Chain Level in Older Adults	Sci Rep . 2020 Nov 23;10(1):20350	Original Article	33230211
245	Hashimoto M, Suzuki M, Hotta M. et al.	神経科・精神科	The influence of the COVID-19 outbreak on the lifestyle of older patients with dementia or mild cognitive impairment.	Front Psychiatry . 2020 Oct 30;11:570580.	Original Article	33192695
246	Aoki Y, Kazui H, Bruña R. et al.	神経科・精神科	Normalized power variance of eLORETA at high-convexity area predicts shunt response in idiopathic normal pressure hydrocephalus.	Sci Rep. 2020 Aug 3;10(1):13054.	Original Article	32747671
247	Suzuki M, Hotta M, Nagase A. et al	神経科・精神科	The behavioral pattern of patients with frontotemporal dementia during the COVID-19 pandemic.	Int Psychogeriatr. 2020 Oct, 32:1231-1234	Original Article	32517839
248	Kanemoto H, Kazui H, Adachi H. et al.	神経科・精神科	Thalamic pulvinar metabolism, sleep disturbances, and hallucinations in dementia with Lewy bodies: Positron emission tomography and actigraphy study.	Int J Geriatr Psychiatry. 2020 Aug;35(8):934-943.	Original Article	32346907
249	Watanabe H, Ikeda M, Mori E.	神経科・精神科	Non-fluent/Agrammatic Variant of Primary Progressive Aphasia with Generalized Auditory Agnosia.	Front Neurol, Jun 26;11:519.	Case report	32676050
250	Adachi H, Yamamura A, Nakamura-Taira N	神経科・精神科	Factors that influence psychiatric help-seeking behavior in Japanese university students	Asian J Psychiatr 51: 102058, 2020	Original Article	32294584

251	Achiha T, Kijima N, Kodama Y, et al	脳神経外科	Activated leukocyte cell adhesion molecule expression correlates with the WNT subgroup in medulloblastoma and is involved in regulating tumor cell proliferation and invasion	PLoS One . 2020 Dec 3;15(12):e0243272	Original Article	33270750
252	Araki T, Watanabe Y, Hirata M, et al	脳神経外科	Left hemispheric α band cerebral oscillatory changes correlate with verbal memory.	Sci Rep . 2020 Sep 14;10(1):14993.	Original Article	32929146
253	Arita H, Matsushita Y, Machida R, et al	脳神経外科	TERT promoter mutation confers favorable prognosis regardless of 1p/19q status in adult diffuse gliomas with IDH1/2 mutations.	Acta Neuropathol Commun . 2020 Nov 23;8(1):201.	Original Article	33228806
254	Fujita Y, Kinoshita M, Ozaki T, et al	脳神経外科	The impact of EGFR mutation status and single brain metastasis on the survival of non-small-cell lung cancer patients with brain metastases.	Neurooncol Adv . 2020 May 28;2(1):vdaa064.	Original Article	32642715
255	Hashimoto H, Khoo H M, Yanagisawa T, et al	脳神経外科	Coupling between Infraslow activities and High-Frequency Oscillations precedes Seizure Onset	Epilepsia Open . 2020 Aug 8;5(3):501-506.	Original Article	32913958
256	Hashimoto H, Kameda S, Maezawa H, et al.	脳神経外科	A Swallowing Decoder Based on Deep Transfer Learning: AlexNet Classification of the Intracranial Electrooculogram.	Int J Neural Syst . 2020 Sep 16;2050056.	Original Article	32938263
257	Hosomi K, Sugiyama K, Nakamura Y, et al.	脳神経外科	A randomized controlled trial of 5 daily sessions and continuous trial of 4 weekly sessions of repetitive transcranial magnetic stimulation for neuropathic pain.	Pain . 2020 Feb;161(2):351-360.	Others	31593002
258	Kageyama Y, He X, Shimokawa T, Sawada J, et al.	脳神経外科	Nationwide survey of 780 Japanese patients with amyotrophic lateral sclerosis: their status and expectations from brain-machine interfaces.	J Neurol . 2020 Oct;267(10):2932-2940.	Original Article	32488296
259	Kawabata S, Nakamura H*, Nishida T, et al.	脳神経外科	Transnasal flow reduction in endovascular treatment for anterior cranial fossa dural arteriovenous fistula	J Surg Case Rep . 2020 Oct 20;2020(10):rjaa327.	Case report	33123340
260	Khoo Hui Ming, Gotman J, Hall J, et al.	脳神経外科	Treatment of epilepsy associated with periventricular nodular heterotopia.	Curr Neurol Neurosci Rep . 2020 Oct 30;20(12):59.	Review	33123826
261	Khoo Hui Ming, Francois Dubeau	脳神経外科	Stereo EEG in Epilepsy Associated With Nodular Heterotopia	A Practical Approach to Stereo EEG. 2020 Dec.	Original Article	不明
262	Khoo Hui Ming, Hall J, Dubeau F, et al.	脳神経外科	Technical Aspects of SEEG and its Interpretation in the Delineation of the Epileptogenic Zone.	Neurol Med Chir (Tokyo) . 2020 Dec 15;60(12):565-580.	Original Article	33162469

263	Kitano T, Sakaguchi M, Yamagami H,	脳神経外科	Mechanical thrombectomy in acute ischemic stroke patients with left ventricular assist device	J Neurol Sci . 2020 Nov 15;418:117142.	Original Article	32977225
264	Ohnishi YI, Nakajima N, Fujiwara S, et al.	脳神経外科	Surgical Window for Deep-Seated Extracranial Schwannomas in the Craniocervical Junction by the Anterolateral Approach.	Neurospine . 2020 Jun;17(2):453-460.	Original Article	31694358
265	Umehara T, Kinoshita M, Hayama M, et al.	脳神経外科	Efficacy of the Endoscopic Triportal Transmaxillary Approach for Treating Lateral Middle Skull Base Tumors: A Technical Note and Retrospective Case Series.	World Neurosurg . 2020 Oct;142:303-311.	Case report	32599180
266	Shiomi, M. Ueda, Y. Abe, H. et al.	産科婦人科	A survey of Japanese mothers on the effectiveness of the Ministry of Health, Labor and Welfare's revised HPV vaccine leaflet	Hum Vaccin Immunother 2020 Apr; 16:2555-2558	Original Article	32243236
267	Miyoshi, A. Takiuchi, T. Kimura, T.	産科婦人科	HPV vaccination in Japan: can educational intervention promote a father's intention to encourage his daughter's vaccination?	Int J Clin Oncol 2020 Apr; 25:746-754	Original Article	31720985
268	Sawada, M. Goto, K. Morimoto-Okazawa, A. et al.	産科婦人科	PD-1+ Tim3+ tumor-infiltrating CD8 T cells sustain the potential for IFN-gamma production, but lose cytotoxic activity in ovarian cancer	Int Immunol 2020 May; 32:397-405	Original Article	32009163
269	Kobayashi, M. Sawada, K. Miyamoto, M. et al.	産科婦人科	Exploring the potential of engineered exosomes as delivery systems for tumor-suppressor microRNA replacement therapy in ovarian cancer	Biochem Biophys Res Commun 2020 Jun; 527:153-161	Original Article	32446360
270	Nakagawa, S. Ueda, Y. Yagi, A. et al.	産科婦人科	Corrected human papillomavirus vaccination rates for each birth fiscal year in Japan	Cancer Sci 2020 Jun; 111:2156-2162	Original Article	32248632
271	Kobayashi, E. Mamoru Kakuda. Takiuchi, T. et al.	産科婦人科	Indocyanine green is superior to blue colorimetric method for identifying sentinel lymph nodes during laparoscopic surgery for uterine malignancies: a pilot study	Eur J Gynaecol Oncol 2020 Jul; 41:176-180	Original Article	不明
272	Mimura, K. Endo, M. Kakigano, A. et al.	産科婦人科	Sonographic findings after induced medical abortion at 12-21 weeks of gestation: Retrospective cohort study	Contraception 2020 Aug; 102:87-90	Original Article	32360145
273	Masuda, T. Ueda, Y. Kimura, T.	産科婦人科	Consideration on the study for safety of human papillomavirus(es) vaccine in Japan	J Obstet Gynaecol Res 2020 Aug; 46:1471-1472	Others	32585757
274	Komura, N. Mabuchi, S. Shimura, K. et al.	産科婦人科	Significance of pretreatment C-Reactive Protein, albumin, and C-Reactive Protein to albumin ratio in predicting poor prognosis in epithelial ovarian cancer patients	Nutr Cancer . 2021;73(8):1357-1364.	Original Article	32835520

275	Miyoshi, A. Ueda, Y. Kimura, T.	産科婦人科	Contemplating HPV vaccination in Japan during the time of COVID-19	Hum Vaccin Immunother . 2021 Mar 4;17(3):836-837.	Original Article	32961077
276	Yagi, A. Ueda, Y. Nakagawa, S. et al.	産科婦人科	Potential for cervical cancer incidence and death resulting from Japan's current policy of prolonged suspension of its governmental recommendation of the HPV vaccine	Sci Rep 2020 Sep; 10:15945	Original Article	32994516
277	Ueda, Y. Yagi, A. Abe, H. et al.	産科婦人科	The last strategy for re-dissemination of HPV vaccination in Japan while still under the suspension of the governmental recommendation	Sci Rep 2020 Sep; 10:16091	Original Article	32999408
278	Yagi, A. Ueda, Y. Masuda, T. et al.	産科婦人科	Japanese mothers' intention to HPV vaccinate their daughters: How has it changed over time because of the prolonged suspension of the governmental recommendation?	Vaccines (Basel) 2020 Sep; 8:502	Original Article	32899351
279	Yoshino, A. I. Kobayashi, E. Kodama, M. et al.	産科婦人科	Oncological and reproductive outcomes of abdominal radical trachelectomy	Anticancer Res 2020 Oct; 40:5939-5947	Original Article	32988926
280	Masuda, T. Ito, H. Hirata, J. et al.	産科婦人科	Fine mapping of the major histocompatibility complex region and association of the HLA-B*52:01 allele with cervical cancer in Japanese women	JAMA Netw Open 2020 Oct; 3:e2023248	Others	33119109
281	Miyamoto, M. Sawada, K. Nakamura, K. et al.	産科婦人科	Paclitaxel exposure downregulates miR-522 expression and its downregulation induces paclitaxel resistance in ovarian cancer cells	Sci Rep 2020 Oct; 10:16755	Original Article	33028939
282	Komura, N. Mabuchi, S. Shimura, K. et al.	産科婦人科	The role of myeloid-derived suppressor cells in increasing cancer stem-like cells and promoting PD-L1 expression in epithelial ovarian cancer	Cancer Immunol Immunother 2020 Dec; 69:2477-2499	Original Article	32561967
283	Masuda, T. Ogawa, K. Kamatani, Y. et al.	産科婦人科	A Mendelian randomization study identified obesity as a causal risk factor of uterine endometrial cancer in Japanese	Cancer Sci 2020 Dec; 111:4646-4651	Original Article	32981178
284	Nagase, Y. Matsuzaki, S. Mizuta-Odani, C. et al.	産科婦人科	In-vitro fertilisation-embryo-transfer complicates the antenatal diagnosis of placenta accreta spectrum using MRI: a retrospective analysis	Clin Radiol 2020 Dec; 75:927-933	Original Article	32838927
285	Nagase, Y. Kobayashi, E. Takiuchi, T. et al.	産科婦人科	Challenges of laparoscopic lymphadenectomy for cervical cancer in pregnant women: techniques and tips	Int J Gynecol Cancer 2020 Dec; 30:2017-2018	Original Article	32998857
286	Yagi, K. Mimura, K. Tomimatsu, T. et al.	産科婦人科	Potency of Tokishakuyakusan in treating preeclampsia: Drug repositioning method by in vitro screening of the Kampo library	PLoS One 2020 Dec; 15:e0244684	Original Article	33378412

287	Nagase, Y. Matsuzaki, S. Endo, M. et al.	産科婦人科	Placenta previa with posterior extrauterine adhesion: clinical features and management practice	BMC Surg . 2021 Jan 6;21(1):10.	Original Article	33407322
288	Kawanishi, Y. Kakigano, A. Kimura, T. et al.	産科婦人科	Hypertensive Disorders of Pregnancy in Relation to Coffee and Tea Consumption: The Japan Environment and Children's Study	Nutrients . 2021 Jan 24;13(2):343.	Original Article	33498916
289	Nakamura, H. Yagi, K. Aplin, J. D. et al.	産科婦人科	Effect of the 3'-sulfo-Lewis a and 3'-sulfo-Lewis x epitopes remodelling on mouse placentation	Placenta 2021 Jan;103:250	Original Article	不明
290	Shimura, K. Mabuchi, S. Komura, N. et al.	産科婦人科	Prognostic significance of bone marrow FDG uptake in patients with gynecological cancer	Sci Rep 2021 Jan; 11:2257	Original Article	33500424
291	Iwai, S. Okada, A. Sasano, K. et al.	産科婦人科	Controlled induction of immune tolerance by mesenchymal stem cells transferred by maternal microchimerism	Biochem Biophys Res Commun 2021 Feb; 539:83-88	Original Article	33461067
292	Kobayashi, E. Kanao, H. Takekuma, M. et al.	産科婦人科	A retrospective assessment of the safety and efficacy of laparoscopic radical hysterectomy in Japan during the early years following its introduction: a Japanese Gynecologic Oncology Group study (JGOG1081S)	Int J Clin Oncol 2021 Feb; 26:417-428	Original Article	33433752
293	K. Hirata, T. Nambara, K. Kawatani et al.	小児科	4-Phenylbutyrate ameliorates apoptotic neural cell death in Down syndrome by reducing protein aggregates	Sci Rep. 2020 Aug 20;10(1):14047.	Original Article	32820178
294	Takeyari S, Kubota T, Ohata Y, et al.	小児科	4-phenylbutyric acid enhances the mineralization of osteogenesis imperfecta iPSC-derived osteoblasts	J Biol Chem . Jan-Jun 2021;296:100027	Original Article	33154166
295	Kato T, Kiyotani K, Tomiyama E, et al.	泌尿器科	Peripheral T cell receptor repertoire features predict durable responses to anti-PD-1 inhibitor monotherapy in advanced renal cell carcinoma	Oncoimmunology. 2021 Jan 19;10(1):1862948	Original Article	33537170
296	Matsumura S, Nagahara A, Fukuhara S, et al.	泌尿器科	[AN ADULT MALE CASE OF CRYPTORCHIDISM CONCOMITANT WITH HYPOGONADOTROPIC HYPOGONADISM WHO UNDERWENT hCG THERAPY AND SHOWED A SPONTANEOUS DESCENT OF THE TESTIS]	Nihon Hinyokika Gakkai Zasshi. 2020;111(1):30-33.	Case report	33473092
297	Fukuhara S, Nonomura N.	泌尿器科	Editorial Comment to Relationship between serum zinc concentration and semen quality in newly-wed men	Int J Urol. 2021 Mar;28(3):293-294.	Others	33341966
298	Ueda N, Kondo M, Takezawa K, et al	泌尿器科	Bladder urothelium converts bacterial lipopolysaccharide information into neural signaling via an ATP-mediated pathway to enhance the micturition reflex for rapid defense	Sci Rep. 2020 Dec 3;10(1):21167	Original Article	33273625

299	Imamura R, Kawamura M, Taniguchi A, et al	泌尿器科	Efficacy of a Si-based agent against developing renal failure in a rat remnant kidney model	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Dec 17;533(4):698-703.	Original Article	33131768
300	Matsumura S, Kato T, Taniguchi A, et al	泌尿器科	Clinical Efficacy of Intravenous Immunoglobulin for BK Polyomavirus-Associated Nephropathy After Living Kidney Transplantation	Ther Clin Risk Manag. 2020 Oct 8;16:947-952.	Original Article	33116544
301	Nakano K, Yamamoto Y, Yamamichi G, et al	泌尿器科	Fragmentation of cell-free DNA is induced by upper-tract urothelial carcinoma-associated systemic inflammation	Cancer Sci. 2021 Jan;112(1):168-177.	Original Article	33027843
302	Maegawa Y, Kato T, Fukuhara S et al	泌尿器科	Resumption of anti-programmed cell death 1 monotherapy for severe immune-related adverse events experienced patient with renal cell carcinoma	IJU Case Rep. 2020 Jun 25;3(5):176-179.	Case report	32914066
303	Imamura R, Matsuda Y, Tsutahara K, et al	泌尿器科	Impact of Immunoglobulin M-Type Donor-Specific Human Leukocyte Antigen-Antibody Levels in Supernatants from Cultured Peripheral Blood Mononuclear Cells as Predictors of Antibody-Mediated Rejection	Pathogens. 2020 Sep 5;9(9):733	Original Article	32899542
304	Kato T, Tomiyama E, Koh Y, et al	泌尿器科	A Potential Mechanism of Anticancer Immune Response Coincident With Immune-related Adverse Events in Patients With Renal Cell Carcinoma	Anticancer Res. 2020 Sep;40(9):4875-4883	Original Article	32878775
305	Hayashi T, Fujita K, Hayashi Y, et al	泌尿器科	Mutational Landscape and Environmental Effects in Bladder Cancer	Int J Mol Sci. 2020 Aug 23;21(17):6072.	Review	32842545
306	Hatano K, Fujita K, Nonomura N.	泌尿器科	Application of Anti-Inflammatory Agents in Prostate Cancer	J Clin Med. 2020 Aug 18;9(8):2680.	Review	32824865
307	Koh Y, Kawashima A, Ujike T, et al	泌尿器科	Failure to achieve castrate level of serum testosterone during luteinizing hormone-releasing hormone agonist therapy in a patient with prostate cancer	Anticancer Drugs. 2020 Nov;31(10):1099-1102	Original Article	32804697
308	Inagaki Y, Fukuhara S, Imamura R, et al	泌尿器科	Novel hydrogen-producing Si-based agent reduces oxidative stress, and improves sperm motility and in vitro fertilization rate in varicocele	Andrology. 2021 Jan;9(1):376-383.	Original Article	32799427
309	Tomiyama E, Fujita K, Rodriguez Pena MDC, et al	泌尿器科	Expression of Nectin-4 and PD-L1 in Upper Tract Urothelial Carcinoma	Int J Mol Sci. 2020 Jul 29;21(15):5390.	Original Article	32751328
310	Hayashi Y, Fujita K, Nojima S, et al	泌尿器科	TERT C228T mutation in non-malignant bladder urothelium is associated with intravesical recurrence for patients with non-muscle invasive bladder cancer	Mol Oncol. 2020 Oct;14(10):2375-2383	Original Article	32533903

311	Hayashi Y, Fujita K, Matsuzaki K, et al	泌尿器科	Clinical Significance of Hotspot Mutation Analysis of Urinary Cell-Free DNA in Urothelial Bladder Cancer	Front Oncol. 2020 May 19;10:755.	Original Article	32509577
312	Kawashima A, Kanazawa T, Kidani Y, et al	泌尿器科	Tumour grade significantly correlates with total dysfunction of tumour tissue-infiltrating lymphocytes in renal cell carcinoma	Sci Rep. 2020 Apr 10;10(1):6220	Original Article	32277125
313	Fujita K, Kato T, Hatano K, Kawashima A, et al	泌尿器科	Intratumoral and s.c. injection of inactivated hemagglutinating virus of Japan envelope (GEN0101) in metastatic castration-resistant prostate cancer	Cancer Sci. 2020 May;111(5):1692-1698.	Original Article	32112659
314	Wang C, Uemura M, Tomiyama E, et al	泌尿器科	MicroRNA-92b-3p is a prognostic oncomiR that targets TSC1 in clear cell renal cell carcinoma	Cancer Sci. 2020 Apr;111(4):1146-1155.	Original Article	31975504
315	Kashiwagi N, Miyazaki K, Takahashi H, et al.	放射線診断・IVR科	Spontaneous closure of non-cavernous sinus dural arteriovenous fistulas: A case series and systematic review of the literature	J Neuroradiol. 2020 Sep 9:S0150-9861(20)30249-2	Original Article	32918945
316	Tokuda Y, Yanagawa M, Minamitani K, et al.	放射線診断・IVR科	Radiogenomics of magnetic resonance imaging and a new multi-gene classifier for predicting recurrence prognosis in estrogen receptor-positive breast cancer: A preliminary study	Medicine (Baltimore). 2020 Apr;99(16):e19664.	Original Article	32311939
317	Hata A, Yanagawa M, Yoshida Y, et al.	放射線診断・IVR科	Combination of Deep Learning-Based Denoising and Iterative Reconstruction for Ultra-Low-Dose CT of the Chest: Image Quality and Lung-RADS Evaluation.	AJR Am J Roentgenol. 2020 Dec;215(6):1321-1328.	Original Article	33052702
318	Kikuchi N, Yanagawa M, Enchi Y, et al.	放射線診断・IVR科	The effect of the reconstruction algorithm for the pulmonary nodule detection under the metal artifact caused by a pacemaker.	Medicine (Baltimore). 2020 Jun 12;99(24):e20579.	Original Article	32541487
319	Miyata T, Yanagawa M, Hata A, et al.	放射線診断・IVR科	Influence of field of view size on image quality: ultra-high-resolution CT vs. conventional high-resolution CT.	Eur Radiol. 2020 Jun;30(6):3324-3333.	Others	32072253
320	Tokuda Y, Yanagawa M, Minamitani K, et al.	放射線診断・IVR科	Radiogenomics of magnetic resonance imaging and a new multi-gene classifier for predicting recurrence prognosis in estrogen receptor-positive breast cancer: A preliminary study.	Medicine (Baltimore). 2020 Apr;99(16):e19664.	Original Article	32311939
321	Tomiyama N, Yamada K, Watanabe Y, et al.	放射線診断・IVR科	The Fourth Asian Radiology Summit: Current Projects of the Radiological Societies in Asia.	Jpn J Radiol. 2020 May;38(5):387-390.	Others	32180107
322	Tsubamoto M, Hata A, Yanagawa M, et al.	放射線診断・IVR科	Ultra high-resolution computed tomography with 1024-matrix: Comparison with 512-matrix for the evaluation of pulmonary nodules.	Eur J Radiol. 2020 Jul;128:109033.	Original Article	32416552

323	Yanagawa M, Tsubamoto M, Satoh Y, et al.	放射線診断・IVR科	Lung Adenocarcinoma at CT with 0.25-mm Section Thickness and a 2048 Matrix: High-Spatial-Resolution Imaging for Predicting Invasiveness.	Radiology. 2020 Nov;297(2):462-471.	Original Article	32897161
324	Nakamoto A, Hori M, Onishi H, Ota T, Fukui H, Ogawa K, Yano K, Tatsumi M, Tomiyama N.	放射線診断・IVR科	Ultra-high-resolution CT urography: Importance of matrix size and reconstruction technique on image quality.	Eur J Radiol. 2020 Sep;130:109148.	Original Article	32623268
325	Hongyo H, Higashihara H, Osuga K, Kashiwagi E, Kosai S, Nagai K, Tanaka K, Ono Y, Ujike T, Hasegawa M.	放射線診断・IVR科	Efficacy of prophylactic selective arterial embolization for renal angiomyolipomas: identifying predictors of 50% volume reduction.	CVIR Endovasc. 2020 Nov 21;3(1):84	Original Article	33219488
326	Soeda F, Watabe T, Kato H, et al.	核医学診療科	Duodenal adenocarcinoma mimicking metastasis of prostate cancer on 18F-PSMA-1007 PET/CT	Clinical nuclear medicine. 2021 Jan;46(1):49-51	Case report	33208620
327	Katayama D, Yanagawa M, Matsunaga K, et al.	核医学診療科	Greater reductions in blood flow after anti-angiogenic treatment in non-small cell lung cancer patients are associated with shorter progression-free survival	Scientific reports. 2021 Mar 24;11(1):6805	Original Article	33762653
328	Kato H, Okuno T	核医学診療科	Functional imaging of astrocyte activity	Neural Regen Res. 2021 Jun;16(6):1206-1207	Review	33269778
329	Watabe T, Shimamoto H, Naka S, et al.	核医学診療科	18F-FBPA PET in Sarcoidosis: Comparison to Inflammation-Related Uptake on FDG PET	Clin Nucl Med. 2020 Nov;45(11):863-864	Case report	32969900
330	Naka S, Watabe T, Kurimoto Ket, et al.	放射線部 (核医学診療科)	Automated [18F]PSMA-1007 production by a single use cassette-type synthesizer for clinical examination	EJNMMI Radiopharm Chem. 2020 Jul 29;5(1):18	Original Article	32728815
331	Watabe T, Kaneda-Nakashima K, Shirakami Y, et al.	核医学診療科	Targeted alpha therapy using astatine (211At)-labeled phenylalanine: A preclinical study in glioma bearing mice	Oncotarget. 2020 Apr 14;11(15):1388-1398	Original Article	32341757
332	Watabe T, Liu Y, Kaneda-Nakashima K, et al.	核医学診療科	Theranostics Targeting Fibroblast Activation Protein in the Tumor Stroma: 64Cu- and 225Ac-Labeled FAPI-04 in Pancreatic Cancer Xenograft Mouse Models	J Nucl Med. 2020 Apr;61(4):563-569	Original Article	31586001
333	Yoshioka N, Hagiya H, Deguchi M, et al.	医療技術部検査部門	Multiplex Real-Time PCR Assay for Six Major Carbapenemase Genes	Pathogens 2021 Mar 1;10(3):276	Original Article	33804402
334	Takashi Hashido, Shigeyoshi Saito, Takayuki Ishida	医療技術部 放射線部門	A radiomics-based comparative study on arterial spin labeling and dynamic susceptibility contrast perfusion-weighted imaging in gliomas	Sci Rep. 2020 Apr 9;10(1):6121.	Original Article	32273523

335	Higashihara H, Osuga K, Onishi H, et al.	放射線診断・IVR科	The diagnostic value of dual-phase cone-beam CT during hepatic arteriography in transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma	Medicine (Baltimore) . 2021 Mar 26;100(12):e24902.	Original Article	33761647
336	Ono Y, Osuga K, Nagai K, et al.	放射線診断・IVR科	Local Efficacy and Safety of Transarterial Chemoembolization for Hepatocellular Carcinoma: Epirubicin-Loaded DC Beads vs. Epirubicin-Lipiodol Emulsion with Gelatin Sponge (cTACE)	Interventional Radiology 2021; 6: 14-20	Original Article	不明
337	Masahiro Ojima, et al.	高度救命救急センター	Serial change of neutrophil extracellular traps in tracheal aspirate of patients with acute respiratory distress syndrome: report of three cases	J Intensive Care . 2020 Apr 10;8:25.	Original Article	32308985
338	Sanae Hosomi, et al.	高度救命救急センター	Traumatic brain injury-related inflammatory projection: beyond local inflammatory responses	Acute Med Surg . 2020 Jun 4;7(1):e520.	Original Article	32514363
339	Yasutaka Nakahori, et al.	高度救命救急センター	Impact of fecal short-chain fatty acids on prognosis in critically ill patients	Acute Med Surg . 2020 Aug 25;7(1):e558.	Original Article	32864147
340	Hiroshi Matsuura, et al.	高度救命救急センター	A follow-up report on the effect of a simplified basic life support training program for non-medical staff working at a university hospital: changes in attitude toward cardiopulmonary resuscitation and automated external defibrillator use through repeat training	Acute Med Surg . 2020 Aug 6;7(1):e548.	Original Article	32782811
341	Shunichiro Nakao, et al.	高度救命救急センター	Trends and outcomes of blunt renal trauma management: a nationwide cohort study in Japan	World J Emerg Surg . 2020 Aug 26;15(1):50.	Original Article	32847621
342	Kentaro Shimizu, et al.	高度救命救急センター	Fecal Gram staining of phagocytosed bacteria to differentiate methicillin-resistant Staphylococcus aureus: A case report	J Infect Chemother . 2020 Oct;26(10):1078-1081.	Case report	32611517
343	Sachiko Ezo, Nirianne Marie Q Palacpac, Kohhei Tetsutani, et al.	未来医療開発部	First-in-human randomised trial and follow-up study of Plasmodium falciparum blood-stage malaria vaccine BK-SE36 with CpG-ODN(K3)	Vaccine 2020. Oct 27 38(46):7246-7257	Others	33012605
344	Baden MY, Shan Z, Wang F, et al.	未来医療開発部	Quality of Plant-Based Diet and Risk of Total, Ischemic, and Hemorrhagic Stroke	Neurology. 96(15):e1940-53, 2021	Original Article	33692165
345	Takeda T, Manabe S, Hattori A, et al.	医療情報部	An Automatic Image Collection System for Multicenter Clinical Studies.	Stud Health Technol Inform. 2020;270:23-27.	Original Article	32570339

346	Sugimoto K, Takeda T, Wada S, et al.	医療情報部	End-to-End Approach for Structuring Radiology Reports.	Stud Health Technol Inform. 2020;270:203-207.	Original Article	32570375
347	Aiko Tanaka, Kate Hamilton, Glenn M. Eastwood, et al.	集中治療部	The epidemiology of overfeeding in mechanically ventilated intensive care patients	Clin Nutr ESPEN. 2020 Apr;36:139-145.	Others	32220357
348	Enokidani Yusuke, Uchiyama Akinori, Yoshida Takeshi, et al.	集中治療部	Effects of Ventilatory Settings on Pendelluft Phenomenon During Mechanical Ventilation	Respir Care. 2021 Jan;66(1):1-10	Others	32900913
349	Nishiura N, Kashiwagi H, Akuta K, et al.	輸血部	Reevaluation of platelet function in chronic immune thrombocytopenia: impacts of platelet size, platelet-associated anti- α IIb β 3 antibodies and thrombopoietin receptor agonists	Br J Haematol. 189(4):760-771, 2020	Original Article	32106338
350	Akira Mibu, Tomohiko Nishigami, Hironobu Uematsu, et al.	麻酔科	Validation of the Japanese version of the Bath CRPS Body Perception Disturbance Scale for CRPS.	J Anesth. 2021 Feb;35(1):20-26.	Original Article	32902731
351	Yukari Sato, Akira Iura, Yuko Kawamoto, et al.	麻酔科	Successful anesthetic management of separation surgery for pygopagus conjoined twins: a case report	JA Clin Rep. 2021 Jan 6;7(1):6.	Original Article	33404797
352	Naoya Iguchi, Junko Kosaka, Yoko Iguchi, et al.	麻酔科	Systemic haemodynamic, renal perfusion and renal oxygenation responses to changes in inspired oxygen fraction during total intravenous or volatile anaesthesia	Br J Anaesth. 2020 Aug;125(2):192-200.	Original Article	32563492
353	Takeshi Yoshida, Yuji Fujino	麻酔科	Monitoring the patient for a safe-assisted ventilation	Curr Opin Crit Care. 2021 Feb 1;27(1):1-5.	Review	33278124
354	Yusuke Enokidani, Akinori Uchiyama, Takeshi Yoshida, et al.	麻酔科	Effects of Ventilatory Settings on Pendelluft Phenomenon During Mechanical Ventilation.	Respir Care. 2021 Jan;66(1):1-10.	Others	32900913
355	Takeshi Yoshida	麻酔科	The Dark Side of Spontaneous Breathing during Noninvasive Ventilation. From Hypothesis to Theory	Am J Respir Crit Care Med. 2020 May 20;202(4):482-484.	Original Article	32432934

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

計355件

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Goto T, Miyagawa S, Tamai K, et al.	心臓血管外科	High-mobility group box 1 fragment suppresses adverse post- infarction remodeling by recruiting PDGFR α -positive bone marrow cells	PLoS One. 2020 Apr 10;15(4):e0230392. doi: 10.1371/journal.pone.0230 392. eCollection 2020.	Original Article
2	Yokoyama J, Miyagawa S, Akagi T, et al.	心臓血管外科	Human induced pluripotent stem cell-derived three-dimensional cardiomyocyte tissues ameliorate the rat ischemic myocardium by remodeling the extracellular matrix and cardiac protein	PLoS One. 2021 Mar 15;16(3):e0245571. doi: 10.1371/journal.pone.0245 571. eCollection 2021.	Original Article
3	Samura T, Miyagawa S, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Laminin-221 Enhances Therapeutic Effects of Human-Induced Pluripotent Stem Cell-Derived 3- Dimensional Engineered Cardiac Tissue Transplantation in a Rat Ischemic Cardiomyopathy Model	J Am Heart Assoc. 2020 Aug 18;9(16):e015841. doi: 10.1161/JAHA.119.015841. Epub 2020 Aug 12.	Original Article
4	Kainuma S, Miyagawa S, Toda K, et al.	心臓血管外科	Long-term outcomes of autologous skeletal myoblast cell-sheet transplantation for end-stage ischemic cardiomyopathy	Mol Ther. 2021 Apr 7;29(4):1425-1438. doi: 10.1016/j.ymthe.2021.01.0 04. Epub 2021 Jan 9.	Original Article
5	Araki K, Miyagawa S, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Autologous skeletal myoblast patch implantation prevents the deterioration of myocardial ischemia and right heart dysfunction in a pressure- overloaded right heart porcine	PLoS One. 2021 Feb 26;16(2):e0247381. doi: 10.1371/journal.pone.0247 381. eCollection 2021.	Original Article
6	Maeda S, Miyagawa S, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Notch signaling-modified mesenchymal stem cells improve tissue perfusion by induction of arteriogenesis in a rat hindlimb ischemia model	Sci Rep. 2021 Jan 28;11(1):2543. doi: 10.1038/s41598-021-82284- 3.	Original Article
7	Nakagawa T, Miyagawa S, Shibuya T, et al.	心臓血管外科	Administration of Slow-Release Synthetic Prostacyclin Agonist Promoted Angiogenesis and Skeletal Muscle Regeneration for Limb Ischemia	Mol Ther Methods Clin Dev. 2020 May 22;18:119- 130. doi: 10.1016/j.omtm.2020.05.02 2. eCollection 2020 Sep 11.	Original Article
8	Masada K, Miyagawa S, Sakai Y, et al.	心臓血管外科	Synthetic Prostacyclin Agonist Attenuates Pressure-Overloaded Cardiac Fibrosis by Inhibiting FMT	Mol Ther Methods Clin Dev. 2020 Sep 16;19:210- 219. doi: 10.1016/j.omtm.2020.09.00 5. eCollection 2020 Dec 11.	Original Article
9	Takeda M, Miyagawa S, Ito E, et al.	心臓血管外科	Development of a drug screening system using three-dimensional cardiac tissues containing multiple cell types	Sci Rep. 2021 Mar 11;11(1):5654. doi: 10.1038/s41598-021-85261- y.	Original Article
10	Yasufumi Sato, Masafumi Shimoda, Yoshiaki Sota, et al.	乳腺・内分泌外科	Enhanced humoral immunity in breast cancer patients with high serum concentration of anti-HER2 autoantibody	Cancer Medicine 2021 Feb 10;4:1418-1430	Original Article
11	Ando W, Sakai T, Fukushima W, Kaneuji A, Ueshima K, Yamasaki T, Yamamoto T	整形外科	Japanese Orthopaedic Association 2019 Guidelines for osteonecrosis of the femoral head.	J Orthop Sci. 2021 Jan;26(1):46-68.	Original Article
12	Hamada H, Ando W, Takao M, Sugano N.	整形外科	Gamma-Glutamyl Transferase: A Useful Marker of Habitual Drinking in Cases of Alcohol- Associated Osteonecrosis of the Femoral Head.	Alcohol Alcohol. 2021 Feb 24;56(2):175-180.	Original Article

13	Tonomura K, Kiyohara E, Nakanishi Y, et al.	皮膚科	Use of a combination of oral psoralen, ultraviolet A and interferon-gamma for the treatment of mycosis fungoides during pregnancy, which probably evoked CD8(+) CD30(+) lymphoproliferative disorder	J Dermatol. 2021 Jan;48(1):e17-e18	Letter
14	Tonomura K, Kotobuki Y, Funaki S	皮膚科	Achievement of remission with surgical resection of a lung adenocarcinoma without systemic treatment in a rare case of anti-TIF1- γ antibody-positive dermatomyositis	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy. 2020 Aug ; 3(5):117-119	Letter
15	Shiho Mori, Katsuto Tamai, Hiroo Amano	皮膚科	Extragenital lichen sclerosus successfully treated by topical maxacalcitol/betamethasone butyrate propionate.	Clinical and Experimental Dermatology. 2020 May: 629-30	Letter

計15件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会 標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続き等を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究） 年12回（観察研究） （参考：臨床研究法にもとづく大阪大学臨床研究審査委員会は年16回）

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 1 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容 1. 阪大臨床研究講習会 研修の主な内容：「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の説明、新指針の学内運用、監査等のフィードバック、AAHRPPの進捗 実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R3. 3. 1～R3. 3. 31）	

参加人数：1,379名（医師含む）

2. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

- 【講義1】 AI と医療を巡る法規制
- 【講義2】 AI の開発研究において懸念される倫理的な課題
- 【課題1】 企業と共同で行う音声入力システムの開発
- 【課題2】 眼科領域における自律型自動診断装置の有用性の検討
- 【講義3】 大阪大学医学部附属病院 AI ホスピタルの取り組み

ディスカッション、Q&A

実施回数：1回、420分

全プログラム参加人数：24名（院外21名、院内3名、医師含む）

聴講のみの参加人数：146名（院外142名、院内4名、医師含む）

3. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修【兵庫医科大学開催分】

研修の主な内容：

- 【トピック】 倫理指針統合に関して
- 【講義1】 「倫理審査における医療統計」
- 【課題1】 「倫理審査における医療統計関連」
- 【講義2】 「倫理審査における利益相反」
- 【課題2】 「倫理審査における利益相反関連」

総評

実施回数：1回、420分

参加人数：20名（院外、医師含む）

4. 臨床研究・治験従事者研修

研修の主な内容：

- 【講義1】 「臨床研究の立案から開始まで」 臨床研究を立案してから開始までに何をすべきかを解説する
- 【講義2】 「研究者が知っておくべき統計基礎知識」 統計家に相談する前に知っておくべきことを解説する
- 【演習】 ワークショップ「臨床研究を始めよう」 プロトコル（骨子）を作成して、研究を開始するまでの計画を体験してみよう

実施回数：1回、350分

全プログラム参加人数：13名（院外10名、院内3名、医師含む）

聴講のみの参加人数：17名（院外11名、院内6名、医師含む）

5. 臨床研究・治験従事者研修【大阪医科大学開催分】

研修の主な内容：

- 【講義1】 プロトコルコンセプト 臨床研究遂行のための最初の大事な1歩
- 【講義2】 臨床研究に必要な統計学の基礎知識 症例数設定
- 【講義3】 「患者発」の治験（仮）
- 【講義4】 バイオマーカーに基づくがん臨床試験のコンセプト
- 【講義】 臨床研究に必要な法律・指針を知ろう
- 【演習】 グループワーク 研究コンセプト（PICO）の作成・PICO 概要説明・PICO 作成
・発表・質疑応答

全体ディスカッション

実施回数：1回、420分

参加人数：20名（院外、医師含む）

6. 臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究計画立案に至るまでの教育

実施回数：2回～16回

（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：4名（学外）

7. 第2回 阪大臨床研究ワークショップ

研修の主な内容：

【講義1】臨床課題（CQ）を研究課題（RQ）に構造化するお作法

【演習】臨床課題（CQ）から研究課題（RQ）をつくってみよう！

【Q&A】日頃の臨床研究についての疑問にお答えします

実施回数：令和2年度実績 1回（240分）

参加人数：19名（医師含む）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

臨床研修を修了した専攻医を対象に、臨床医学系専門領域における専門医を取得し地域医療に貢献するとともに、幅広く活躍できる高度な医療人を育成することを目的に「阪大病院専門研修プログラム」を行っており、本院では全 19 の基本領域すべての基幹施設となっている。内科、外科領域では、内科専門医、外科専門医を取得したのち、継続してサブスペシャリティ専門医取得を目指すプログラムとなっている。同時に全領域とも、大阪・阪神間にある基幹病院を中心とする他プログラムの連携施設としても参加しており、阪大病院は強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして、教育病院の責任を果たしている。各領域のプログラムは様々なローテーションのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制を整えている。様々なローテーションの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を平行して行うこと、または専門医取得後に大学院に進学することを推奨しており、高い研究マインドを持った医師の養成を積極的に行っている。

また当院は高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を受けている。高度な先端医療技術や臨床研究、臨床治験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行っており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会が多く、関連するセミナーも日常的に開催されるなど、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通し、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	197 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂田 泰史	循環器内科	教授	26年	
猪阪 善隆	腎臓内科	教授	31年	
竹原 徹郎	消化器内科	教授	37年	
下村 伊一郎	内分泌・代謝内科	教授	32年	
武田 吉人	呼吸器内科	准教授	27年	
熊ノ郷 淳	免疫内科	教授	30年	感染症内科 アレルギー科 リウマチ科
保仙 直毅	血液・腫瘍内科	教授	23年	
望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	教授	34年	
樂木 宏実	老年・総合内科	教授	37年	
宮川 繁	心臓血管外科	教授	27年	
新谷 康	呼吸器外科	教授	25年	
土岐 祐一郎	消化器外科	教授	36年	
江口 英利	消化器外科	教授	29年	
島津 研三	乳腺・内分泌外科	教授	27年	

奥山 宏臣	小児外科	教 授	35年
西田 幸二	眼科	教 授	33年
猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教 授	31年
岡田 誠司	整形外科	教 授	23年
藤本 学	皮膚科	教 授	29年
久保 盾貴	形成外科	教 授	25年
池田 学	神経科・精神科	教 授	33年
貴島 晴彦	脳神経外科	教 授	30年
藤野 裕士	麻酔科・集中治療	教 授	36年
木村 正	産科・婦人科	教 授	36年
大藪 恵一	小児科	教 授	37年
野々村 祝夫	泌尿器科	教 授	35年
富山 憲幸	放射線診断・IVR科	教 授	34年
森井 英一	病理部	教 授	29年
小倉 裕士	高度救命救急センター	准教授	41年
日高 洋	臨床検査部	准教授	34年
菅本 一臣	リハビリテーション部	教 授	39年
中神 太志	総合診療科	助 教	20年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【医療技術部】

・研修の主な内容

医療技術部職員を対象に患者動作介助、特定の疾患をテーマにした複数医療職からの発表、講師を招いてのスキルアップ講習会、各医療職領域におけるトピックス紹介、個人目標の達成度報告など

・研修の期間・実施回数

毎月1回の開催を原則とし、令和2年度は8回開催。

・研修の参加人数 令和2年度の年間延べ参加人数は317名

【栄養マネジメント部】

(1) 栄養マネジメント部研修会（食事・栄養に関するテーマ）

重症患者の栄養療法（2020/5/28）9名

栄養指導における肥満改善アプローチ・個別研修（DVD）（2020/6/25）11名

がん治療と栄養学を考える・個別研修（配信）（2020/8/14）11名

第1回インスリンポンプ勉強会（2020/10/30）11名

第2回インスリンポンプ勉強会（2021/12/4）10名

第3回インスリンポンプ勉強会（2021/1/22）11名

新たな食嗜好質問票の作成とその評価（2021/2/12）10名

高度肥満患者の食行動と外科手術後体重減少との関連性（2021/2/12）10名

経腸栄養管理不耐症対策（2021/3/26）11名

(2) 国立私立大学研修関連（栄養士）

国立私立大学医療技術関係職員研修（2020/10/14～16）1回/年 1名

(3) その他研修会、学会（日本糖尿病学会、日本病態栄養学会など）

年数回、各数名

【未来医療開発部】

1. プロトコライティングセミナー

期間・回数：令和2年度実績 全6回 zoom

17：30～18：30（講演と質疑応答）

① 臨床研究をプロファイリングし、戦略を立てて、プロトコルを作成しよう！

② クリニカルクエスチョン（CQ）を構造化して、リサーチクエスチョン（RQ）を明らかにして、プロトコル骨子を作ろう！

③ プロトコルの書き方（1） 臨床試験の背景と目的を書いてみよう！

④ プロトコルの書き方（2） 対象集団を明らかにして、試験デザインを決め、スタディカレンダーを作ってみよう！

⑤ プロトコルの書き方（3） 臨床試験のお決まり事をマスターして、質を確保するための実施体制を構築しよう！

⑥ プロトコルの書き方（4） 臨床試験のお決まり事をマスターして、プロトコルを仕上げましょう

！
参加人数：延べ 1,360人（院内 院外（医師含む））

2. 阪大臨床研究講習会

研修の主な内容：「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の説明、新指針の学内運用、監査等のフィードバック、AAHRPPの進捗

実施方法：臨床研究教育 e-learning システム CROCO

公開期間：R3.3.1～R3.3.31

参加人数：1379名（医師含む）

3. 阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本 モニタリングの基本・実施時のポイント・阪大モニタリングツールの紹介

専門 RBMの基本・阪大モニタリング手順書等の解説・事例集からみるモニタリングの留意点

更新 臨床試験の「質」とモニタリング・同意書の確認ポイント及びモニタリング報告書の点検について

実施回数：令和2年度実績 座学1回、e-learning

参加人数：656名（院内 院外、医師含む）

4. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】AIと医療を巡る法規制

【講義2】AIの開発研究において懸念される倫理的な課題

【課題1】企業と共同で行う音声入力システムの開発

【課題2】眼科領域における自律型自動診断装置の有用性の検討

【講義3】大阪大学医学部附属病院AIホスピタルの取り組み

ディスカッション、Q&A

実施回数：1回、420分

全プログラム参加人数：24名（院外21名、院内3名、医師含む）

聴講のみの参加人数：146名（院外142名、院内4名、医師含む）

5. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修【兵庫医科大学開催分】

研修の主な内容：

【トピック】倫理指針統合に関して

【講義1】「倫理審査における医療統計」

【課題1】「倫理審査における医療統計関連」

【講義2】「倫理審査における利益相反」

【課題2】「倫理審査における利益相反関連」

総評

実施回数：1回、420分

参加人数：20名（院外、医師含む）

6. 上級者臨床研究コーディネーター養成研修

研修の主な内容：

【講義1】世界の医薬開発トレンド ～過去・現在・未来～

【講義2】治験に関わるCRCとしてのプロジェクトマネジメント

【講義3】世界と日本の比較 韓国視察からの報告

【講義4】プロトコルを設計しよう～適格症例の見極め方～

【講義5】漫画をちょこっと描いてみよう！

マンガ表現から学ぶ人を動かす表現とコミュニケーション力

【演習1】プレゼンテーション～表現力を磨く～

①インフォームドアセントを考える。

②人を動かしてみよう（医師やスタッフ）

【講義6】トピックス 先進医療Bについて

【講義7】CRCが知っておきたいデータマネジメントの極意

- 【講義8】 被験者の心理を考える
 - 【講義9】 リスク ベースド アプローチ (RBA) の実践
 - 【講義10】 日本神話に学ぶ和のマネジメントとリーダーシップ 武田 光司
 - 【演習2】 組織力アップのために取り組めること
 - ①後輩の教育はどうしてる？
 - ②チームビルディングについて考えよう
- 実施回数：1回、840分
 全プログラム参加人数：22名（院外）
 聴講のみの参加人数：15名（院外13名、院内2名）

【看護部】

- ・研修の主な内容：看護実践（スキンケア、ストマケア、感染対策、糖尿病看護、がん看護、老年看護、認知症ケア、家族支援、患者指導、退院支援）（キャリア開発研修）教育・研究（新人指導、文献検索、資料の作成方法）（キャリア開発研修）
- ・研修の期間・実施回数：2020年9月～2021年2月 19回
- ・研修の参加人数：のべ433名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【医療技術部】

- ・研修の主な内容
 新規導入機器、特定機能病院に必須の医療機器（①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置）、特に熟練を要する医療機器、OpenME、MRI研修などである。
- ・研修の期間・実施回数
 2020年度（4月～3月末）
 新規導入機器（61回）、特定機能病院に必須の医療機器（38回）、特に熟練を要する医療機器（267回）、OpenME（39回）、MRI研修（e-learning）、合計405回 & e-learning
- ・研修の参加人数
 新規導入機器（707名）、特定機能病院に必須の医療機器（224名）、
 特に熟練を要する医療機器（1100名）、OpenME（131名）、MRI研修（238名）、合計2400名

【看護部】

- ・研修の主な内容：リーダーシップ、看護管理、人材育成、コスト管理、組織分析、レジリエンス（キャリア開発研修）
- ・研修の期間・実施回数：2020年9月～2021年2月 11回
- ・研修の参加人数：のべ172名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
 (注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 土岐 祐一郎	
管理担当者氏名	総務課長 脇元 直彦 薬剤部長 奥田 真弘	医事課長 岩谷 好和 放射線部長 富山 憲幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第三十二條第三項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課

カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。
エックス線写真は、PACS（画像サーバ）で集中保管。
処方せんは、プリントアウトして保存。
◆診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い
開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。
電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と当院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。
パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
調剤数は薬剤部システムで管理。

		閲覧実績	総務課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部	

パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	総務課長 脇元 直彦		
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 井内 章恵		
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係		
閲覧の手続の概要			
閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 医療安全情報の共有 9. 職員に対する教育研修 10. 医療安全文化の構築 11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 12. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年29回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 2. リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回 3. 医療クオリティ審議委員会：医療の質の向上を図る 年12回 4. 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>心肺蘇生法（BLS） 画像診断レポート確認の重要性</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>問題点の把握状況（方法）</p> <p>【各部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントをイントラネット（インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書）から報告（原則として当事者）するとともに、各部署リスクマネージャーに報告する。 <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントレポートのモニタリング（毎日・当番制、要IDとパスワード、問題点等をメーリングリストで共有） ・ 年1回以上の院内ラウンドで現場の課題を把握 <p>【医療クオリティ審議委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療クオリティ審議依頼書への報告内容の把握 	

【中央クオリティマネジメント部】

- ・インシデントレポート、モニター報告や提出された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、専任リスクマネジャー等から情報収集、現場確認等を行う

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等で事例の背景要因を分析

【リスクマネジメント委員会】

- ・当番委員によりインシデントの背景要因、予防可能性等を組織横断的に分析

【医療クオリティ審議委員会】

- ・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告書及び関係者からのヒアリング、多職種からなる委員の意見をもとに、インシデントの背景因子を多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによりインシデント発生状況を把握し、背景因子を多職種で分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等でリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じて専任リスクマネジャーが介入

【リスクマネジメント委員会】

- ・インシデントの要旨と解説すべき問題、部門への再発防止策の検討や改善を指示
- ・インシデントを未然に防ぐための先行的対策について検討
- ・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】

- ・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示
- ・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】

- ・多職種の専任リスクマネジャーを含めたカンファレンスでの改善策の検討
- ・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力
- ・リスクマネジャーメーリングリストを通じた情報提供
- ・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画
- ・リスクマネジャー会議（運営部会）で改善策や注意点について院内周知
- ・医療安全の教材作成・教育の実施
- ・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）
- ・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>わが国の医学における診療、教育及び研究の発展に貢献するとともに、特定機能病院としての高度先進医療・未来医療の開発・実践を担い、同時に安全な医療を実現する使命を負っている。安全な医療の実現のためには医療関連感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員の一人ひとりが、また各部局それぞれが、医療関連感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に医療関連感染対策を行っていくものとする。このような医療関連感染対策を通して、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することのできる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献する</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告 2. 院内感染対策についての審議 (感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設区順に関すること、等) 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>4月1日 新採用者オリエンテーション 対象者：看護師、医師、研修医、医療技術職員 内容：医療関連感染対策概要、隔離予防策に準じた標準予防策の知識</p> <p>4月3日 研修医イントロコース 対象者：研修医 内容：感染対策の手技、演習</p> <p>4月6.7日 段階別研修Ⅰ 対象者：新採用看護職員 内容：隔離予防策に準じた標準予防策の知識と実践</p> <p>4月27日、5月1日、5月11日” アシスタントナース研修 対象者：看護助手 内容：Covid-19に備えた「標準予防策」「体液曝露発生時の対応」「自己の健康管理」について</p> <p>5月1日 外部委託業者研修 対象者：外部委託業者 内容：Covid-19蔓延期の今だから実践すべき感染対策</p> <p>5月18.20.21.24日.6月1日 西4 SP研修 対象者：看護師 内容：標準予防策</p> <p>7月日 令和3年度第1回院内感染対策講習会 対象：全職員 内容：with コロナ時代の感染対策</p> <p>9月2.3.4.7日 アシスタントナース研修 対象者：看護助手 内相：手指衛生、手指衛生のタイミング</p>	

11月2日 第2回院内感染対策講習会

対象：全職員

内容：当院における新型コロナウイルス感染症対策の振り返り

11月11日他 外部委託業者研修

対象者：外部委託業者

内容：医療関連感染対策概要、隔離予防策に準じた標準予防策の知識

11月12日 医療技術部研修

対象者：放射線技師、理学療法士、言語療法士、作業療法士臨床検査技師

内容：Covid-19について「感染症の現状」「当院の現状」「感染対策の実際」

11月20日 手術部勉強会

対象者：看護師

内容：Covid-19について「感染症の現状」「当院の現状」「感染対策の実際」

12月2日 理学療法部研修

対象者：理学療法士、言語療法士、作業療法士

内容：「理学療法部における感染対策の実際」

3月17日 リネン交換担当者研修

対象者：外部委託リネン

内容：Covid-19感染対策

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ICTラウンド（週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド）
感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施
 - 耐性菌検出システム（ICTWeb®）を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニングを実施
 - サーベイランス
耐性菌サーベイランスを元にした介入（MRSA、MDRP、ESBL産生株など）
デバイスサーベイランス実施部署：救命救急センター：（UTI）、手術部位感染サーベイランス 実施部署：消化器外科
 - 抗菌薬適正使用に向けての活動
 - ・投薬開始4日目を目途に適正使用について検討する
 - ・8日以上継続使用には、抗菌薬継続使用届の追加届出を必要とする
 - ・対象患者のリストアップは専任薬剤師によって行う
 - 感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施
 - 手指衛生啓発の強化（医療者、患者家族への啓発）
 - COVID-19診療における感染対策の強化

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 令和2年7月 第1回医薬品安全管理講習会（阪大フォーラム） E-ランニングシステム上に「院内講習会」として公開「せん妄対策について」 受講者数：324名</p> <p>2. 令和2年11月2日医薬品安全管理講習会（ライブ講習会） 「医薬品安全管理の考え方と当院における運用」 E-ランニングシステム上に「院内講習会」として公開、全員受講必須</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>▶ 医薬品安全業務手順書の策定・見直し 令和3年3月16日 令和2年度第3回医薬品安全管理委員会にて改訂案が審議され、主として以下の改訂が承認された。 業務手順書の内容を大幅に見直し、特に第VI章「未承認新規医薬品等の適正使用手順」に関する項目の記載を充実させた。また、既存のマニュアル類との整合性を高めることで、病院職員が理解し共有しやすいものとした。</p> <p>▶ 従業者に対する医薬品安全使用のための研修企画・実施 年2回、上記の通り実施。</p> <p>▶ 業務手順書に基づく業務実施の確認・記録 毎年6月に、各部署の医薬品安全管理者（リスクマネジャー）に対して、手順書に基づいて業務が実施されているかについて、手順書の各章の項目別に、アンケート調査方式にて遵守状況確認を実施。</p> <p>▶ 医薬品の安全使用のための情報収集その他改善方策 下記④の通り実施。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 未承認医薬品：1件 適応外：48件（新型コロナウイルス感染症に対するイベルメクチンの使用等） 禁忌：10件</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1. 未承認等の医薬品を使用する場合は、その使用条件を定め、未承認新規医薬品等診療審査部にて審査・評価を行い、診療の提供の適否を決めている。</p> <p>2. Drug information Newsを月1回程度発行し、用法/用量・効能/効果の変更、医薬品・医療機器等安全情報、各種医薬品の適正使用に関するお知らせを全部署に配布して周知している。</p> <p>3. 医薬品に関する通知を発行し、採用情報、新規採用薬の添付文書等について、月1回全部署に配布して周知している。</p> <p>4. 免疫抑制・化学療法によるB型肝炎再活性化予防のためのチェックシステム」を運用している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年401回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 機器の有用性、機器の安全性、機器の動作、機器の操作、機器の故障対策、機器の点検説明、使用に関する法令順守など <p>研修の内訳</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規導入医療機器の安全使用研修（59回） 20回開催、受講者数210名（令和2年4月1日～令和2年9月30日） 39回開催、受講者数497名（令和2年10月1日～令和3年3月31日） 2. 特定機能病院に必須の医療機器の安全使用研修（36回） 23回開催、受講者数129名（令和2年4月1日～令和2年9月30日） 13回開催、受講者数95名（令和2年10月1日～令和3年3月31日） 3. 特に熟練を要する医療機器の安全使用研修とOpenME <ol style="list-style-type: none"> ①医療機器の安全使用研修（267回） 205回、996名受講（令和2年4月1日～令和2年9月30日） 62回、104名受講（令和2年10月1日～令和3年3月31日） ②OpenMEの実施状況（39回） 17回、65名受講（令和2年4月1日～令和2年9月30日） 22回、66名受講（令和2年10月1日～令和3年3月31日） 4. 新規採用者対象のMR装置の安全管理講習会（e-ラーニング） 受講者238名（令和2年8月4日～令和2年12月31日） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定（有・無） <p>①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器については、臨床工学部で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびにメーカーによる保守点検を実施している。</p> <p>⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置、⑨その他保守点検が必要と考えられる医療機器については、放射線部ならびに関係部署で計画を立てて、それに則って臨床工学士ならびに委託業者による保守点検を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 放射線医療機器は全てメーカーとの定期点検契約。 臨床工学部が担う医療機器の一部が院内点検に該当する。 <p>【点検内容】 安全点検、電氣的安全点検、器械的安全点検、予防保全、予防保全の部品交換、予防保全の調整、予防保全の動作点検、動作値の確認、品質点検、イメージオリティの点検、装置全般の機能点検、ソフトウェア点検など</p> <p>【点検台数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器156台、補助循環装置50台、除細動装置40台、閉鎖式保育器10台、血液浄化装置46台）について、点検計画に則って適切に実施した。（令和2年4月1日～令和2年9月30日） ・ 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器168台（内廃棄17台）、補助循環装置50台（内廃棄1台）、除細動装置40台、閉鎖式保育器10台、血液浄化装置48台（内廃棄4台））について、点検計画に則って適切に実施した。（令和2年10月1日～令和3年3月31日） ・ 放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置129台について、点検計 	

<p>画に則って適切に実施した。(令和2年4月1日～令和2年9月30日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置129台について、点検計画に則って適切に実施した。(令和2年10月1日～令和3年3月31日)
<p>④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) <p>医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者やPMDAから提供される医療安全情報、厚生労働省が発行する「医薬・医療機器安全情報」などから一元的に収集する。病院運営会議と医療機器安全委員会で報告、阪大フォーラムやリスクマネージャー会議での啓発やリスクマネージャーのメーリングリストを通じて周知を図っている。年6回の会議にて、保守点検および医療機器安全使用研修の進捗状況の把握ならびに医療機器安全情報の共有を図り常に連携をとっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 「大阪大学医学部附属病院における医療機器安全のための指針」の策定 定期安全使用研修のためのe-learningの作成

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副病院長（医療安全管理責任者）が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会（医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管）、医薬品安全管理委員会（医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長）、医療機器安全管理委員会（医療技術部長が委員長（医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長））を置き、統括医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（9名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医薬品使用状況の確認し、必要に応じて、院内会議で報告。 ➤ 医薬品情報室にて添付文書、IF等の各種情報について、ファイリングして管理、書籍等の管理。 ➤ 添付文書情報について、電子カルテ端末から閲覧できるように整理。 ➤ 緊急安全情報等、各種情報についてイントラネットにて情報提供 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 病棟薬剤師による処方監査、調剤時に処方した医薬品が未承認等に該当するか否か情報収集し、必要性等検討し、処方変更等も提案。 ➤ 薬剤師が把握したものは、適宜処方医、主治医等に文献等の提出を依頼。必要に応じて、未承認新規医薬品等診療審査部への申請を依頼し、審査部でリスク検討、処方の妥当性等を確認。 ➤ 医薬品情報室にて、未承認新規医薬品等審査部の事務局も担当し、医薬品に関する情報収集を行う。 <p>未承認医薬品である院内製剤を減らしている。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有)・無)</p> <p>・担当者の所属・職種、職種 :</p> <p>(所属：薬剤部（医薬品情報室）、職種 室長・薬剤主任1名)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有 無

- ・医療の担い手が説明を行う際（ 有 無）の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：定期的に各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有 無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療情報管理士が毎日、退院時サマリを確認し、不備当の修正依頼を適時実施している。毎月、手術記録、カウンターサインを確認し、作成状況や未承認の催促を各診療科の病歴管理委員宛に通知している。ピアレビューは、2ヶ月一度、3診療科の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、診療情報管理士を招集し、多職種でカルテ監査をしている。ピアレビュー後に各自3症例を持ち帰り、監査を行い、後日結果を報告する。年間の全診療科の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を行っている。インフォームドコンセントについても、診療情報管理士がカルテ記載内容を確認し、一年で全診療科一巡。結果はインフォームドコンセント委員会で報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員：専従（8）名、専任（0）名、兼任（4）名 うち医師：専従（4）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（2）名 うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントの調査・分析・レポート管理及びカンファレンスの開催 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネジャー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施および、理解度テストの実施と評価 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネジャーの支援、連絡調整、院内ラウンドの実施 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 患者相談窓口等の担当者との連携、医療安全に係る患者及び家族等への対応支援 10. 全死亡症例の把握・検証 11. 医療の質・安全に関するモニタリング 12. 高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p> <p>令和3年10月1日現在の医療安全に資するモニタリング項目は以下の7つであり、リスクマネジメント委員会及び病院運営会議、リスクマネジャー会議で報告を行っている。1. 手術安全チェックリスト使用率 2. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率 3. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率 4. 2週間以内の退院サマリ作成率 5. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施 6. 病理検査および画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率 7. 輸血投与時の認証システムによる照合実施率</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有 無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）</p> <p>・活動の主な内容：</p>	

診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (22 件)、及び許可件数 (22 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 無)

・ 活動の主な内容 :

診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 193 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 50 件

- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

【院内死亡症例】

院内死亡・死産症例は、退院転帰が「死亡(あるいは死産)」と入力されることで全例漏れなく医療安全部門が把握することができるシステムを構築しており、医療安全部門では、毎週、多職種で全死亡症例の診療経過について検証している。

さらに診療科では全死亡・死産症例について、診療科内で医療プロセスについて検証し、その結果を院内死亡症例報告書に入力する。医療クオリティ審議委員会での検討が必要と判断された際は、医療クオリティ審議依頼書を提出する。

診療科長及び及び中央クオリティマネジメント部部長が全症例の検証結果を確認し、医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は、病院運営会議において管理者に報告する。平成 28 年 9 月 20 日より運用を開始している。

【管理者が定める水準以上の事象】

平成 14 年から全国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうち、レベル 3b 以上は管理者が定める水準以上の事象として、月一回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が医療事故か否かを判断する。また、日本医療機能評価機構及び医療事故調査制度に伴う報告事例が審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

医療事故と判断された場合は、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げ、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：琉球大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：京都府立医科大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況

令和 2 年度は COVID-19 の感染状況に鑑み、相互訪問は行わず書面での調査のみとした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況：医事課に患者サポート体制に係る相談窓口を設置している。医師、看護師、社会福祉士、事務職員が関連部署と連携してサポートに当たる。相談内容については相談対応記録簿に記録する。相談窓口の運営に関するカンファレンスを週 1 回程度開催し、医療安全と連携して運用しており、記録も取っている。相談の実績は定期的に報告書を作成し病院長に報告する。相談内容は秘密を厳守して患者又は家族が不利益を受けないよう適切な配慮を行っている。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った。
これまでの監査委員会では、研修対象に該当する事項について指摘されていない。

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況

【管理者】

令和 2 年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和 2 年 1 月 2 日受講

令和 3 年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和 3 年 1 月 2 日受講予定

【医療安全管理責任者】

令和 2 年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和 2 年 1 月 1 日受講

令和 3 年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和3年11月22日受講予定

【医薬品安全管理責任者】

令和2年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和2年11月25日受講予定

令和3年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和3年11月22日受講予定

【医療機器安全管理責任者】

令和2年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和2年12月10日受講

令和3年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和3年12月8日受講予定

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和2年度に公益財団法人日本医療機能評価機構による「一般病院3」の認証受審予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い受審延期となり、本年10月13日から10月15日に認証受審となったため評価は認証結果後となる予定。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

10月13日から15日の認証受審結果後、本院ホームページにおいて公表予定。

・評価を踏まえ講じた措置

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> 基準の主な内容 下記のとおり定めました。 (1)医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 (2)大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 (3)医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 (4)大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>)・無) 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> ・無			
<ul style="list-style-type: none"> 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/>)・無) 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>)・無) 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>)・無) 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
金田 安史	大阪大学理事 (共創、病院担当)	○	病院運営を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> ・無
奈良 哲	大阪大学理事 (人事労務、事務組織担当)		人事労務を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> ・無
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院 医学系研究科長		医学系研究科長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> ・無
土岐 祐一郎	大阪大学医学部 附属病院長		医学部附属病院長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> ・無
茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会会長		医学又は医療に関し識見を有する者 一般社団法人大阪府医師会会長として、マネジメントはもとより、医学・医療全般について、高い識見を有して	有・ <input checked="" type="radio"/>

			いる者として選定するもの。	
平田 一人	大阪市立大学 医学部附属病院 長		医学又は医療に関し識見を有する者 公立大学法人大阪市立大学医学部附属 病院長として、マネジメントはもとよ り医学・地域医療全般について、高い 識見を有する者として選定するもの。	有・ 無
藤井 睦子	大阪府 健康医療部長		医学又は医療に関し識見を有する者 大阪府における健康医療の行政責任者 として、豊富な知見を有している者と して選定するもの。	有・ 無

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）

- ・公表の方法 本学のHPに掲載

- ・規程の主な内容

大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。

大阪大学医学部附属病院規程

第4条 本院に副病院長若干名を置き、病院長が指名する。

国立大学法人大阪大学会計規則・同予算決算規則に管理者（病院長）が医学部附属病院の予算責任者として、予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有すると規定している。

国立大学法人大阪大学会計規則

第12条 各予算単位に、それぞれ予算責任者を置くものとする。

2 予算責任者は、予算単位内の諸活動に関する計画を実現するための予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有する。

国立大学法人大阪大学予算決算規則

第5条 会計規則第11条に定める予算単位は、別表2のとおりとする。

2 会計規則第12条に定める予算責任者は、予算単位の長とする。（略）

- ・管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

別紙2のとおり

- ・病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサ

ポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

（参考）

平成28年度 「病院長塾」参加者：副病院長2名・事務部長・総務課長

平成29年度 「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：副病院長・副看護部長

平成30年度 「病院長塾」参加者：病院長・病院長補佐・看護部長・副看護部長・総務課長

令和元年度 「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：病院長・副看護部長

令和2年度 「医師の働き方改革に関する緊急セミナー」

参加者：病院長、副病院長、副看護部長、事務部長、総務課長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）に規定する医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について大阪大学医学部附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。 (2) 委員会は、必要に応じ、大阪大学総長（以下「総長」という。）又は大阪大学医学部附属病院長に対し、医療に係る安全管理については是正措置を講ずるよう意見を表明すること。 (3) (1) (2)に掲げる業務について、その結果を公表すること。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（(有)・無） ・ 委員名簿の公表の有無（(有)・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（(有)・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（(有)・無） ・ 公表の方法：本学のHPに掲載 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	有 (無)	1
橋本 重厚	福島県立医科大学津医療センター教授 同大学附属病院 医療安全管理部長		医療安全管理の専門家として選定	有 (無)	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所所長		医療に精通している法律の専門家として選定	有・(無)	1
山口 育子	認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長		患者目線で医療について助言できる者として選定	有・(無)	2
奈良 哲	大阪大学理事		本学におけるリスク管理担当理事として選定	(有)・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。
また、下記のとおり具体的な取組みを行っている。

- ・大阪大学行動規範の制定
- ・コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）
- ・コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施

- ・ 専門部署の設置の有無（有・無）
- ・ 内部規程の整備の有無（有・無）
- ・ 内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和3年8月20日に第2回管理運営専門委員会を開催した。
 専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。

1. 新型コロナウイルスに関する対策について
2. 令和2年度決算及び令和3年度予算について
3. 令和2年度重点課題の取組状況について
4. 令和3年度重点課題について
5. 再開発計画について

なお、上記専門委員会の議事については、親委員会である附属病院戦略会議を通じ総長に報告する。

- ・ 会議体の実施状況（年1回）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年1回）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有無）
- ・ 公表の方法

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
川西 克幸	吹田市医師会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
塩崎 均	近畿大学名誉学長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
林 紀夫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
御前 治	大阪ガス株式会社顧問		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
・ 通報件数 (年0件)
・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための 方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
・ 周知の方法 院内各会議にて附議・周知するとともに、本院HPの職員専用ページ及び院内ホームページ・イン トラネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>平成24年度に本院公式ホームページをリニューアルして以降、内容の充実を図るとともに、見やすくわかりやすい情報提供を行っている。また、平成27年4月には、より見やすく伝わりやすい紙面をめざし、年4回発行する広報紙『阪大病院ニュース』をリニューアルし、大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうよう努めている。今後も引き続き適切な情報発信を行う。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・脳卒中センター・前立腺センター・睡眠医療センター・疼痛医療センター・生殖医療センター・ハートセンター・小児医療センター・オンコロジーセンター・呼吸器センター・てんかんセンター・消化器センター・I V Rセンター・胎児診断治療センター・難病医療推進センター・子どものこころの診療センター・糖尿病センター・がんゲノム医療センター・緩和医療センター・腸管不全治療センター	

副病院長・病院長補佐の所掌業務及び主な課題(令和3年度)

	担当区分	氏名	所掌業務及び主な課題	
副病院長	人事労務・医療安全	竹原徹郎	人事労務	①人事労務に関すること ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善
			医療安全	①医療安全管理体制担当校としての業務 (医療安全・質向上のための相互チェック及びピアレビュー等) ②院内の医療の質・安全に関すること
	財務・がん診療	野々村祝夫	財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓
	教育・診療体制	藤野裕士	教育	①研修医・新専門医制度に関すること ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を生かしたキャリアパス開発
			診療体制	①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的継続 ②手術・ICU運用
ホスピタリティ	岩崎朋之	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 (ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、職員教育など) ②ボランティア活動の充実	
病院長補佐	小児・周産期・再開発	木村 正	小児医療	①小児医療に関すること
			周産期	①周産期医療に関すること
			再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討
	研究・救急医療	坂田泰史	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部の強化発展 ②臨床研究中核病院に関すること
			救急医療	①救急医療に関すること
			病院機能評価	①病院機能評価に関すること
	中央診療施設	小川和彦	中央診療施設	①中央診療施設に関すること
	広報・中期目標・計画	奥山宏臣	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画
			中期目標・計画	①中期目標・計画の策定と評価
	医療情報・地域医療・外部評価	—	医療情報担当	①医療情報に関すること
			地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実
			外部評価	①外部評価(特定共同指導・JCI受審)に対する院内準備
	女性支援・ダイバーシティ	池田 学	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援
			ダイバーシティ	①男女教職員の多様な働き方の確立
	経営・組織改革	山腰俊昭	経営	①経営戦略の検討
組織改革			①事務組織の改革	

※「医療情報・地域医療・外部評価」の病院長補佐については空席とし、検討事項等がある場合は病院長マターとする。